

6. 身体活動・運動について

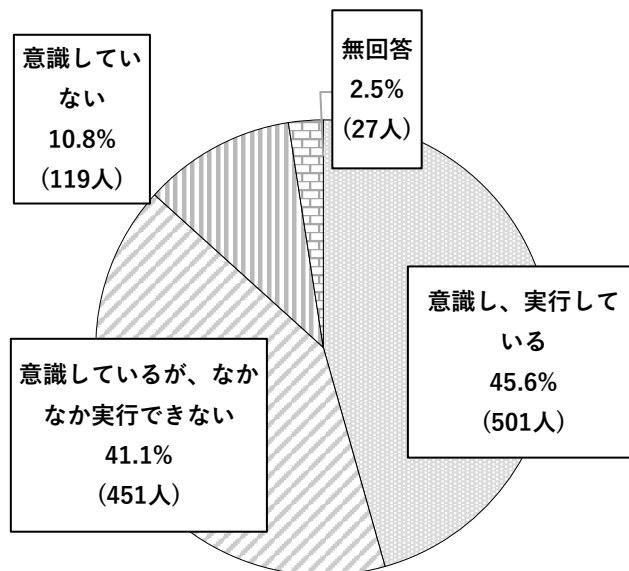
(1) 身体活動の意識と実行（単一回答）

問 46. 健康のためできるだけ歩くことやエレベーターなどを使わないよう意識し、実行していますか。

「意識し、実行している」が45.6%

身体活動の意識と実行については、「意識し、実行している」が45.6%と最も高く、次に「意識しているが、なかなか実行できない」が41.1%、「意識していない」が10.8%となります。

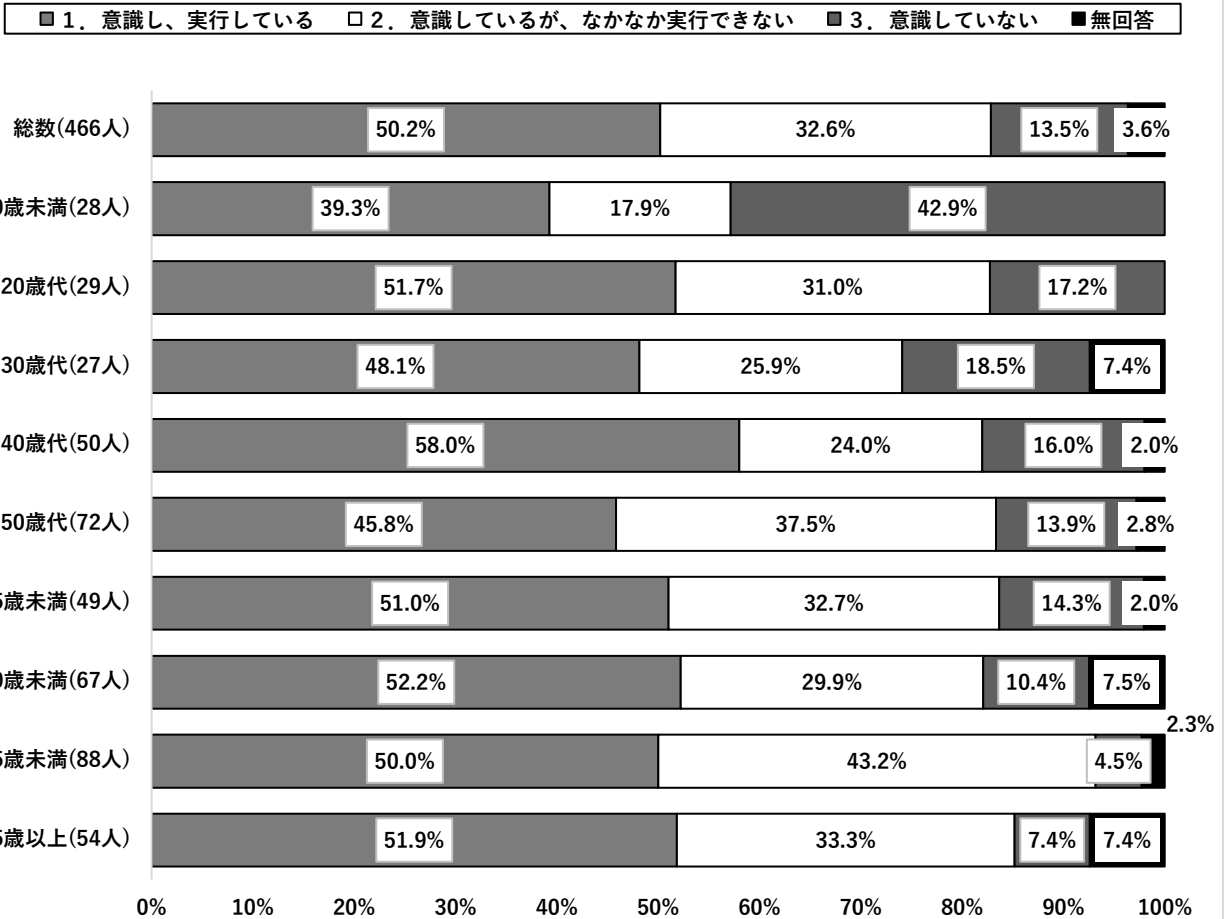
身体活動・意識と実行（1,098人）



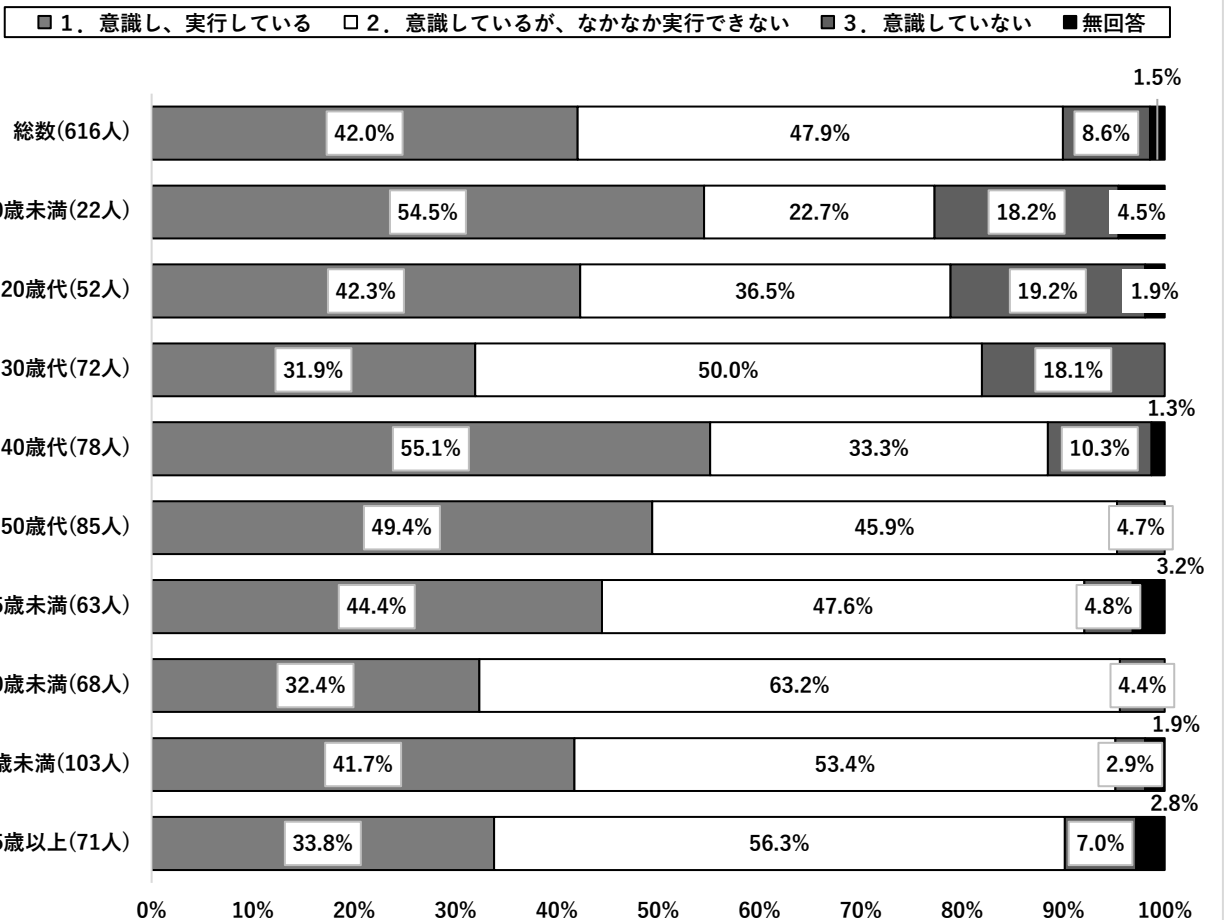
性別年齢層別の分析結果では、20歳代以上の年代の男性、20歳未満・40歳代・50歳代の女性は約5割が「意識し、実行している」と回答していますが、30歳代・65歳以上70歳未満・75歳以上の女性で「意識し、実行している」と回答した人の割合は約3割と、他の年代や男性に比べ顕著に低い割合となっています。

身体活動・意識と実行（性別年齢層別）

男性

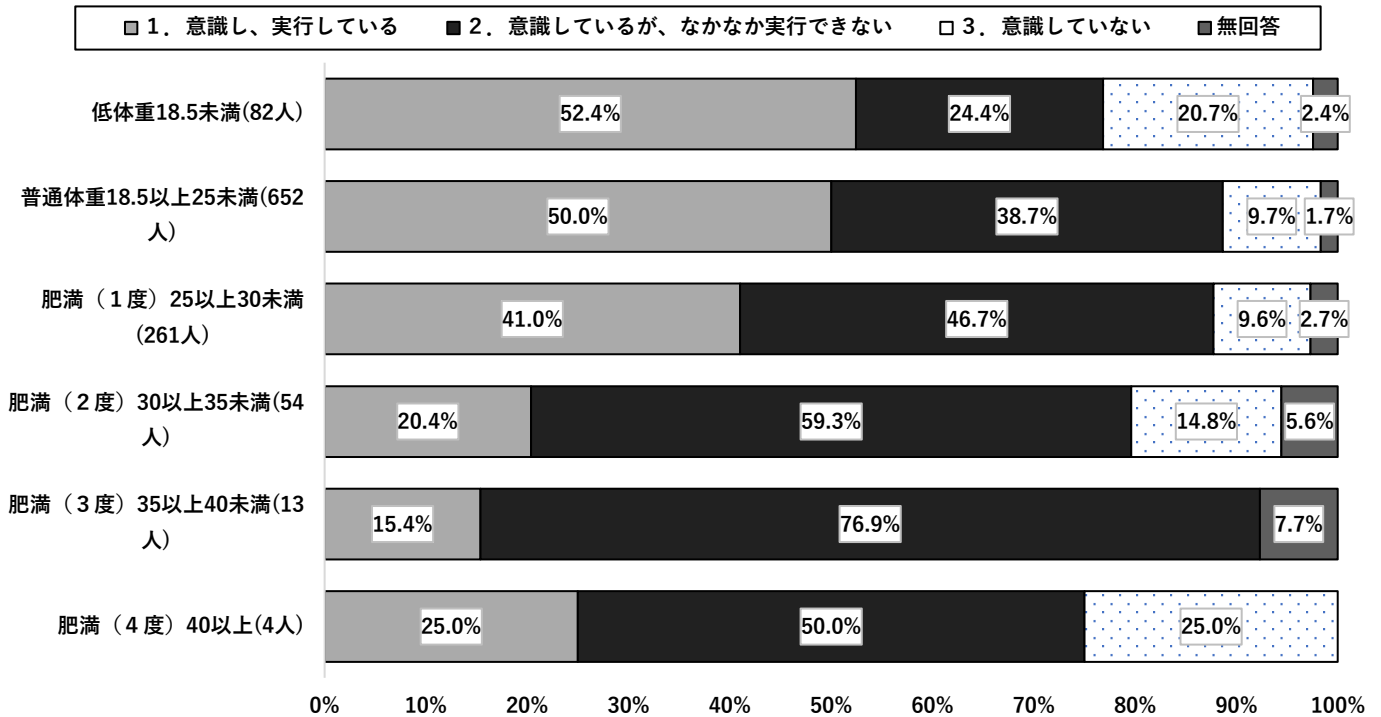


女性



BMI 別では、「肥満（4度）40 以上」を除くと、BMI が高くなるにつれて、身体活動について「意識し、実行している」割合が低くなり、逆に「意識しているが、なかなか実行できない」割合が高くなる傾向にあります。

身体活動・意識と実行（BMI 別）



(2) 適度な運動の有無（単一回答）

問 47. 適度な運動（30 分以上継続し、汗ばむ程度）をしていますか。

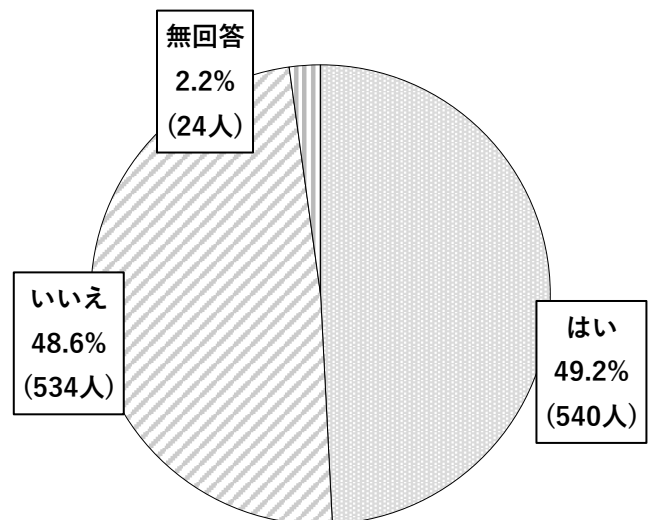
「はい」が 49.2%

適度な運動をしているかについては、「はい」が 49.2%、「いいえ」が 48.6%となります。

性別年齢層別の分析結果では、男性・女性ともに 20 歳未満が、「はい」と回答した人の割合が最も高くなっています。

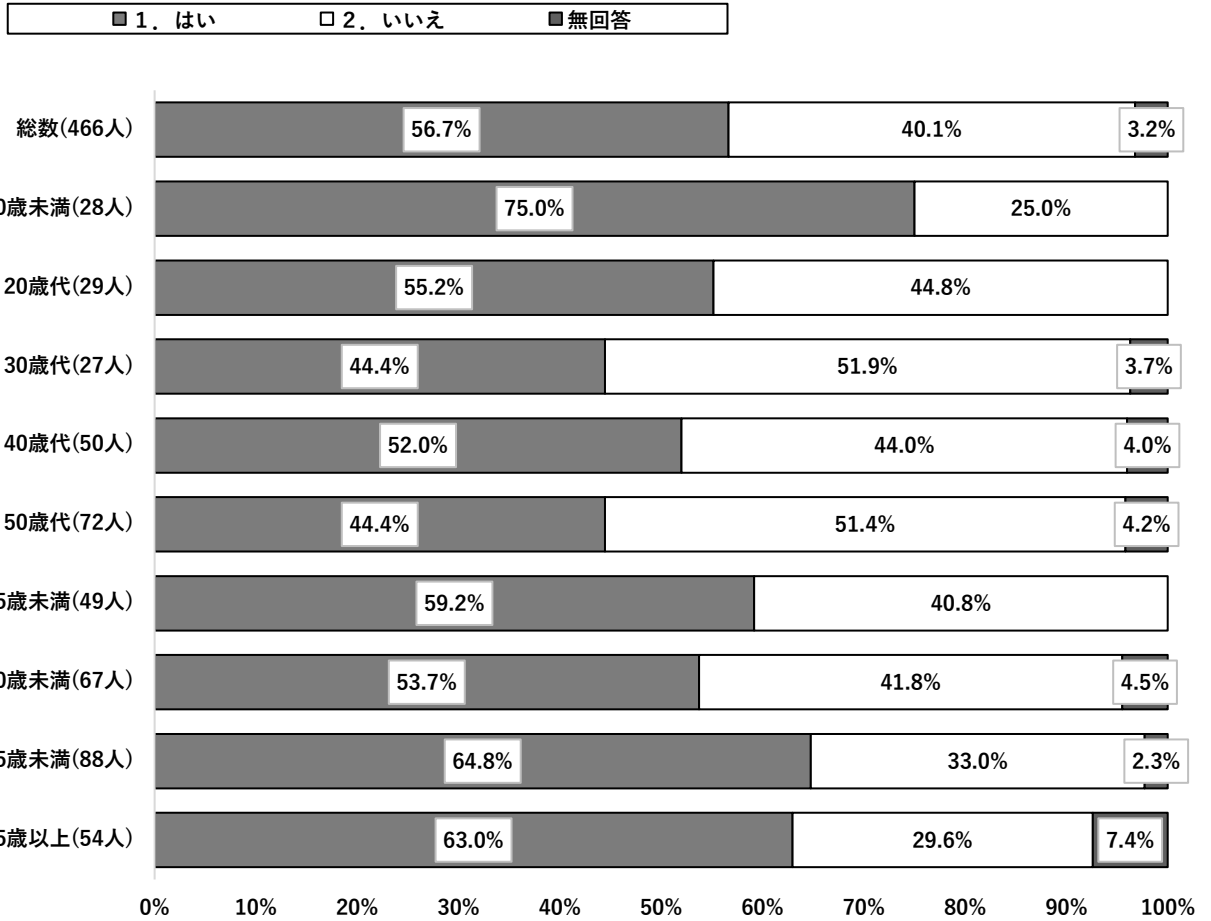
また、高齢者に注目すると、70 歳以上の男性、70 歳～75 歳未満の女性において、「はい」と回答した人の割合が他の 20 歳以上の他の年代に比べ高くなっています。一方で、30 歳代の女性は「はい」と回答した人が 20.8%と、他の年代や男性に比べ顕著に低い割合となっています。

適度な運動の有無（1,098人）

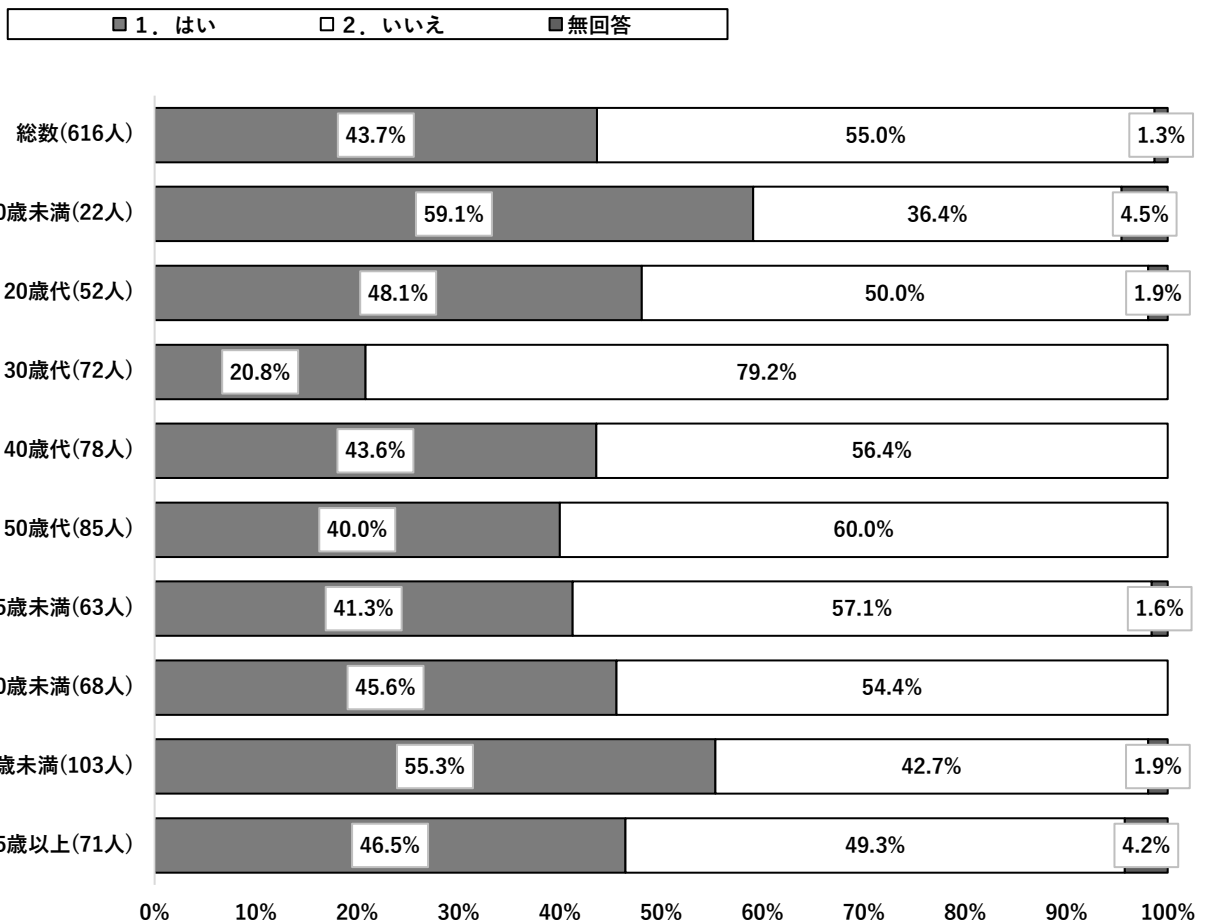


適度な運動の有無（性別年齢層別）

男性

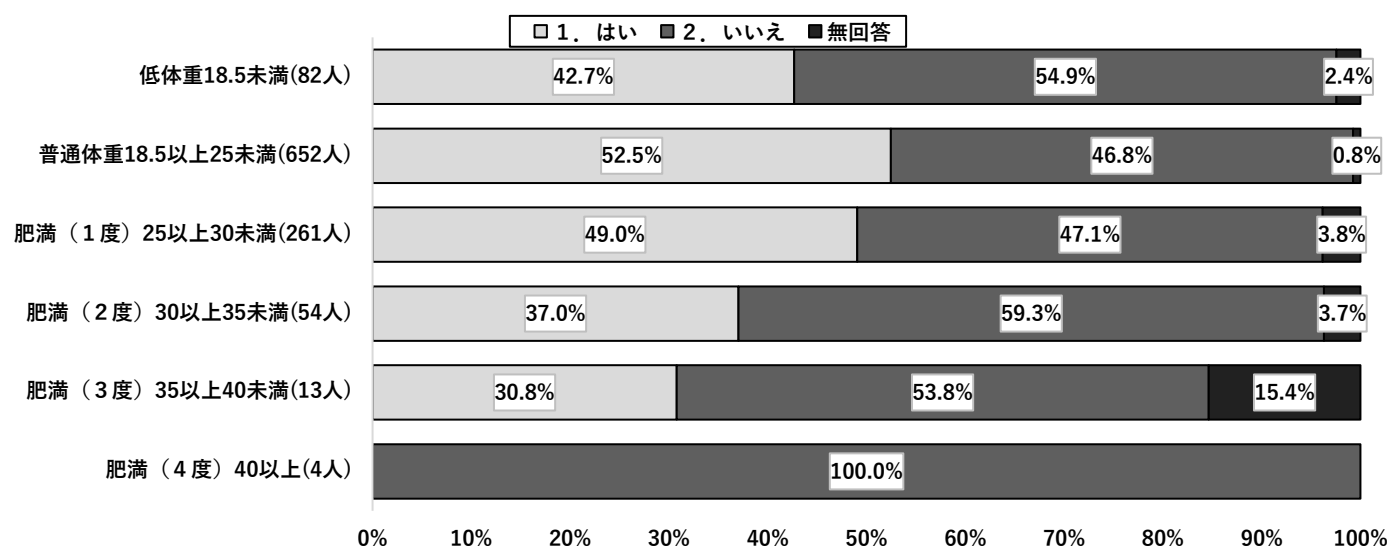


女性



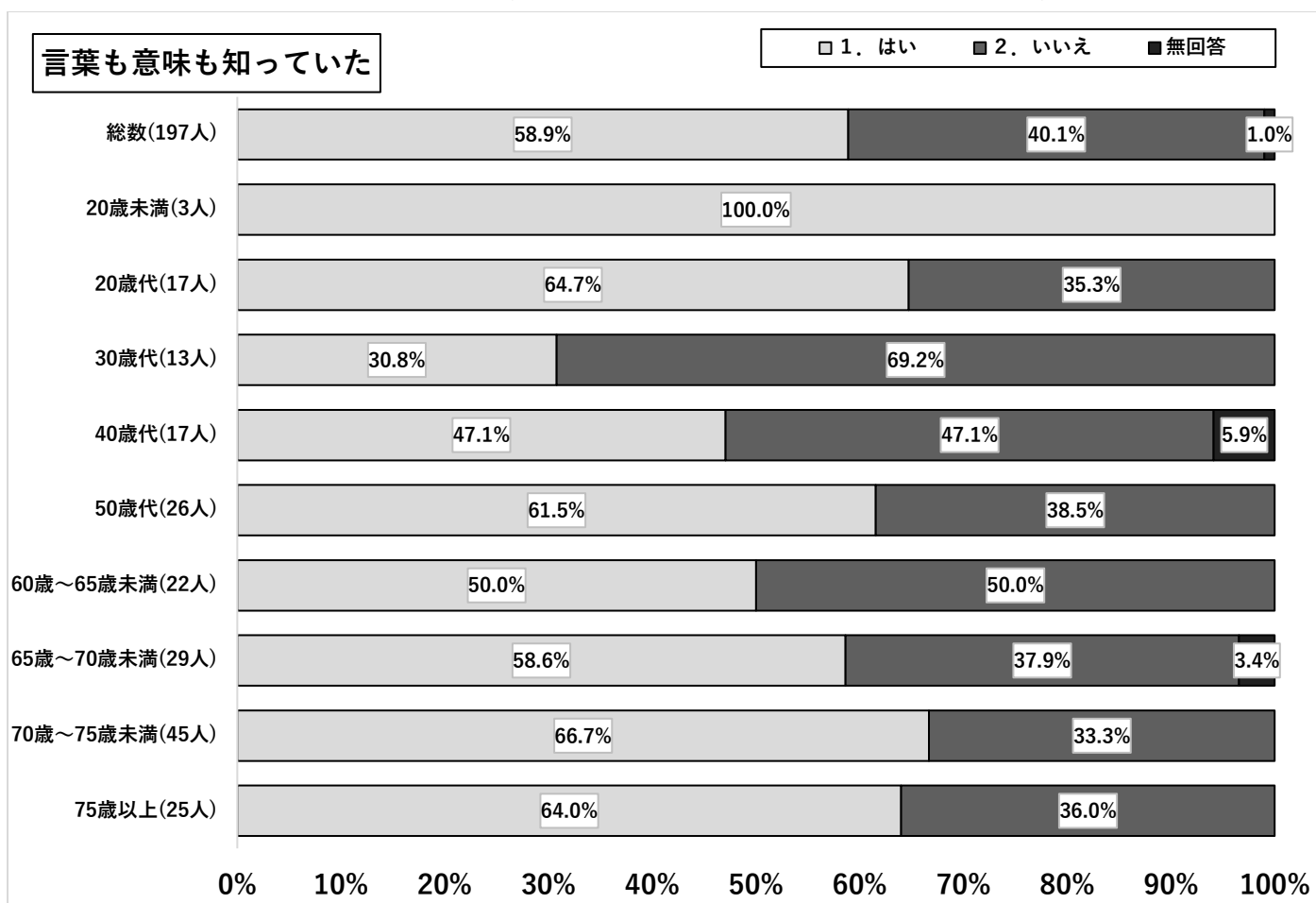
BMI 別の分析では、特に肥満の人について、BMI が高くなればなるほど「いいえ」の回答の割合が高く、肥満(4度)の人では「実施している」と回答した人はいませんでした。

適度な運動の有無 (BMI 別)



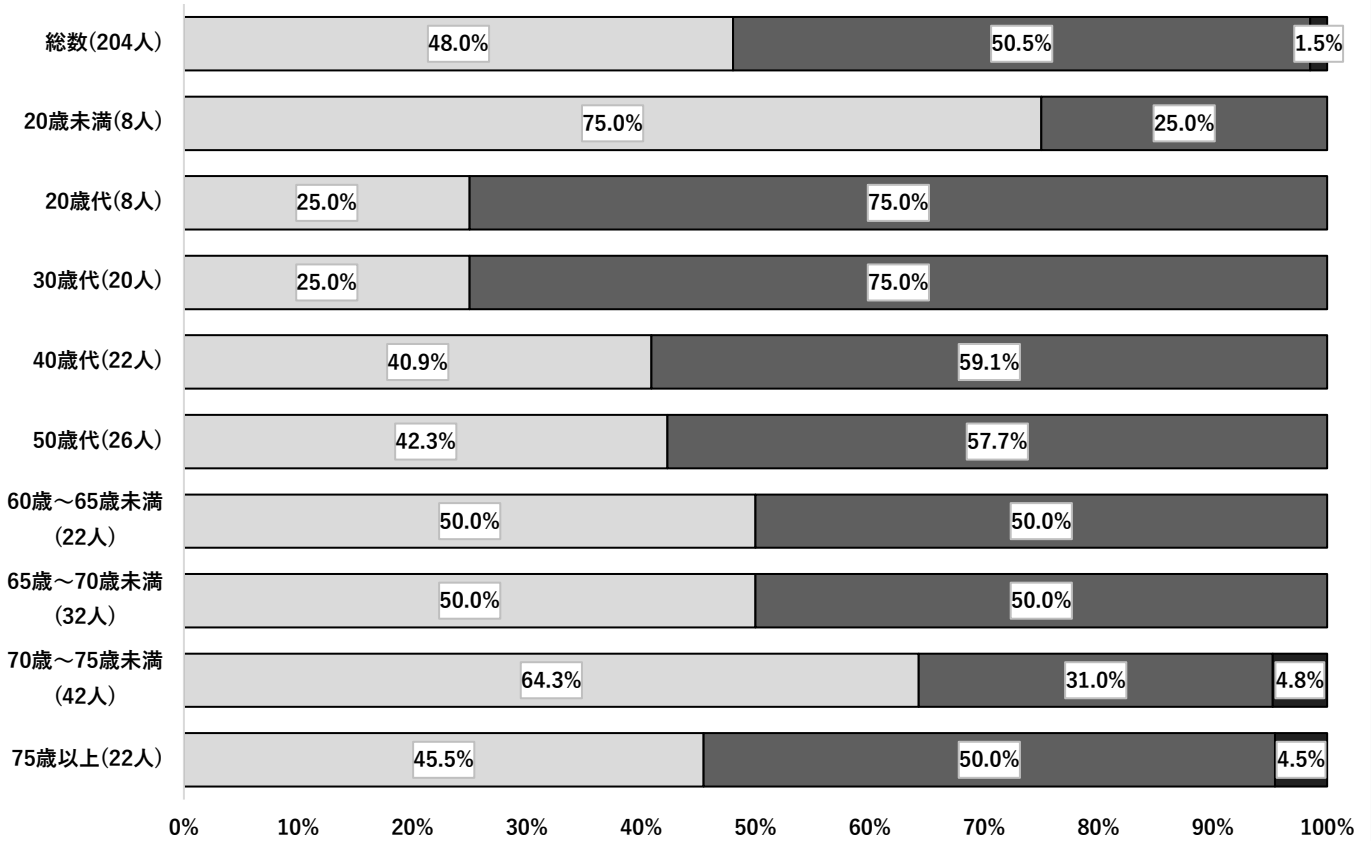
ロコモティブシンドロームの認知度と年齢層の観点から分析すると、ロコモティブシンドロームについて「言葉も意味も知っている」と回答した人は、その他の回答をした人に比べて「はい」 (=適度な運動を実施している) と回答する割合が高くなります。

適度な運動の有無 (年齢別ロコモティブシンドローム認知度別)



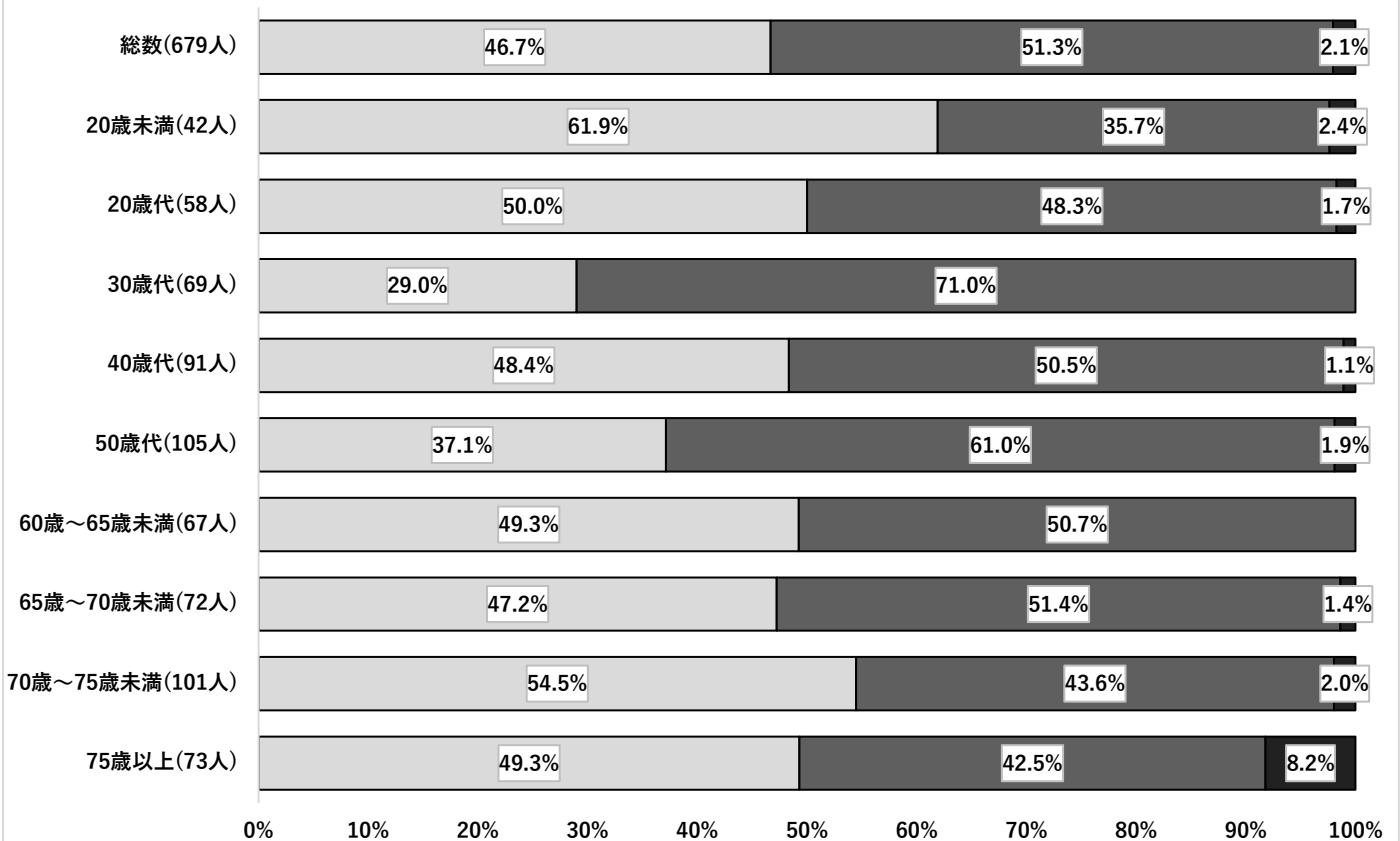
言葉は知っていたが意味は知らなかった

□ 1. はい ■ 2. いいえ ■ 無回答



言葉も意味も知らなかった

□ 1. はい ■ 2. いいえ ■ 無回答

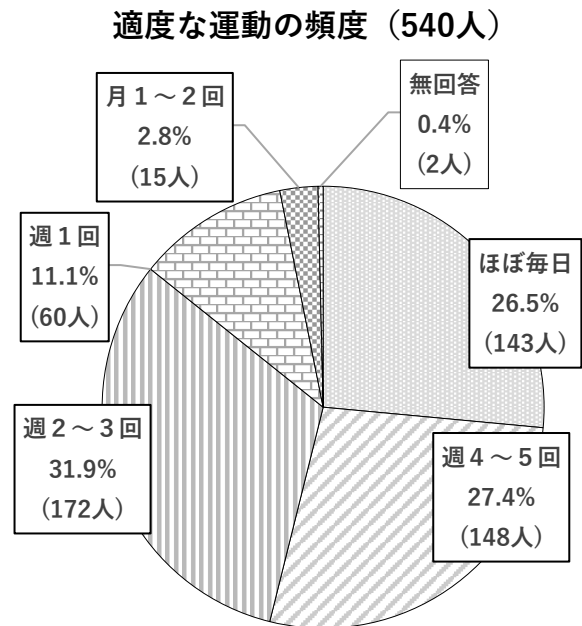


(3) 適度な運動の頻度（単一回答）

問 47-1. どのくらいの頻度で運動していますか。（問 47 で「1.」と答えた人）

「週 2～3 回」が 31.9%

適度な運動の頻度については、「週 2～3 回」が 31.9%と最も高く、次に「週 4～5 回」が 27.4%、「ほぼ毎日」が 26.5%となります。

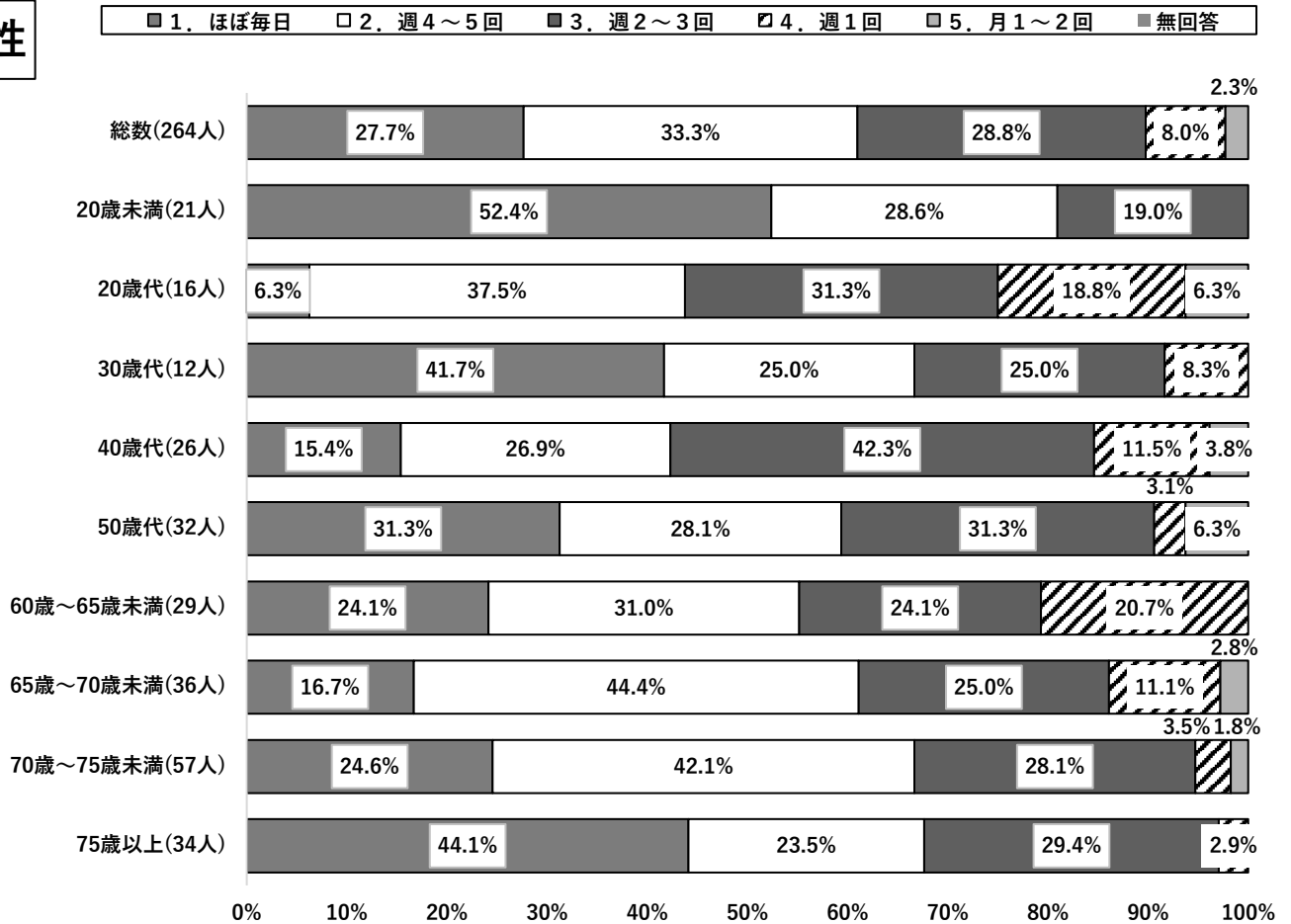


性別年齢層別の分析結果では、「ほぼ毎日」または「週 4～5 回」と回答した人を合わせると、40 歳代を除くすべての年代において男性の方が女性よりも割合が高くなっています。

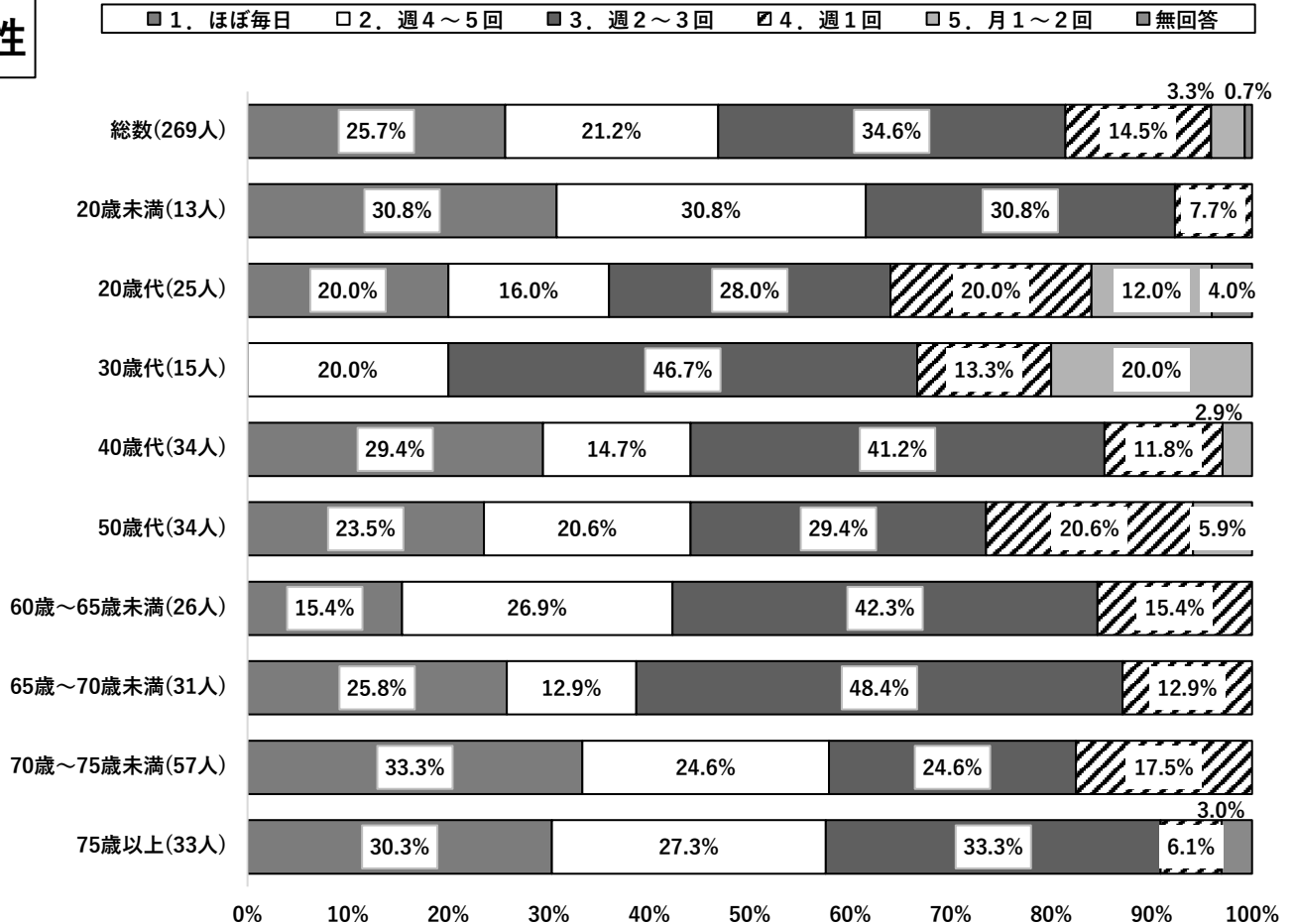
年代別の傾向は男女で異なり、「ほぼ毎日」または「週 4～5 回」と回答した人の割合は、男性においては 20 歳未満、30 歳代、50 歳代、75 歳以上で高く、女性においては 20 歳未満と 70 歳以上で高くなっています。

適度な運動の頻度（性別年齢層別）

男性

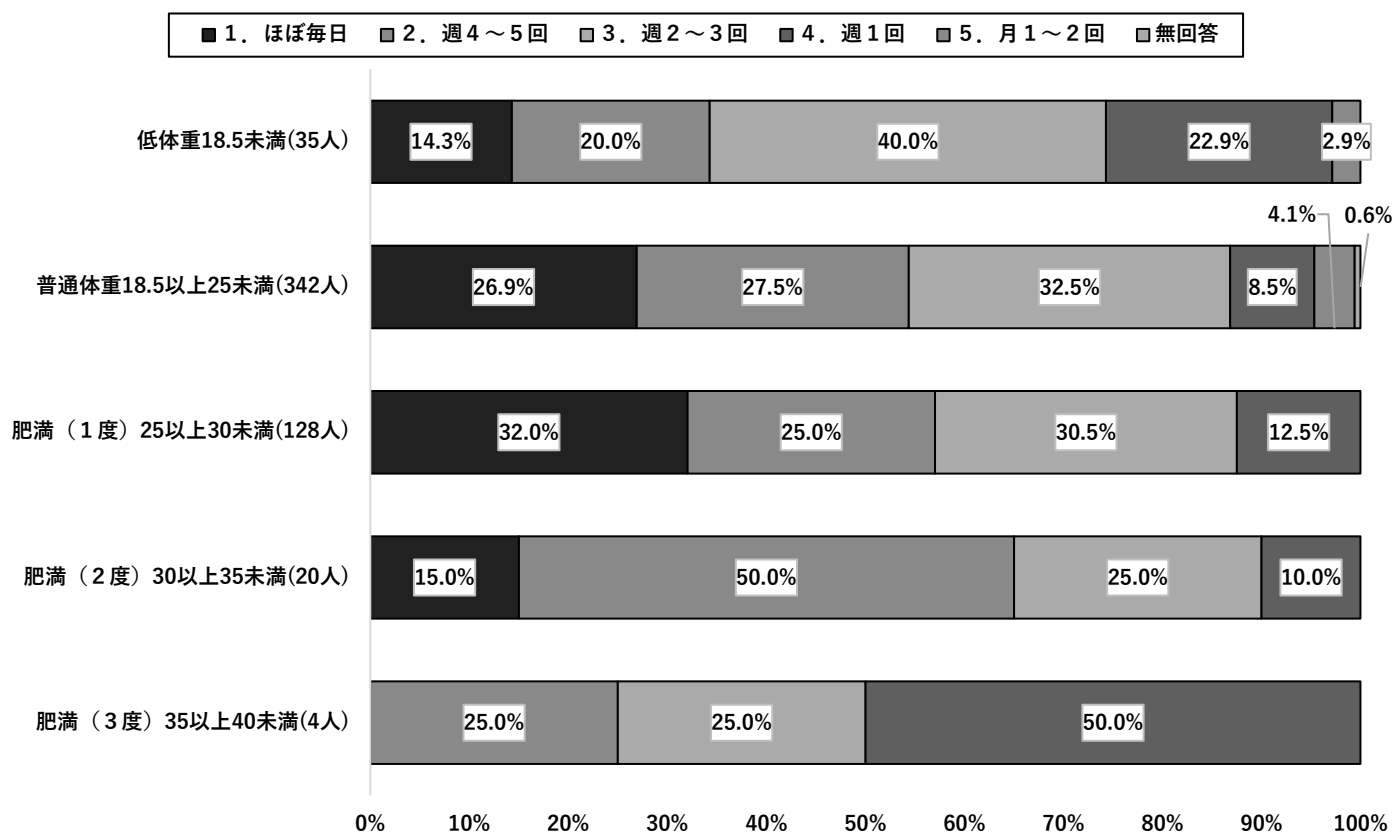


女性



BMI 別の分析では、「肥満（1 度）」の人は「ほぼ毎日」、「肥満（2 度）」の人は「週4～5回」、「肥満（3 度）」の人は「週2～3回」がそれぞれ最も多くなっており、BMI が上がるほど運動頻度が下がる傾向にあります。

適度な運動頻度（BMI 別）



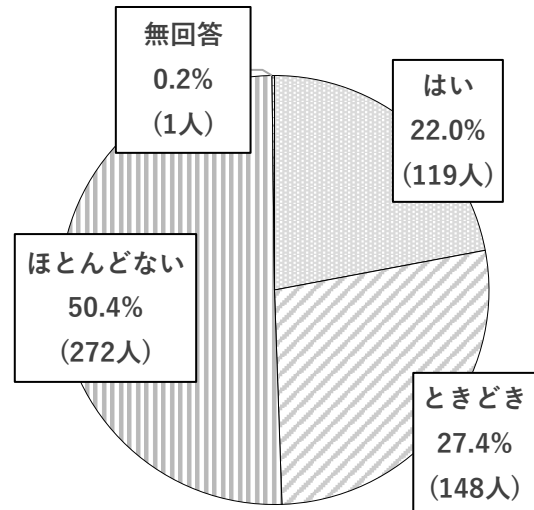
(4) 町の運動施設の利用状況（単一回答）

問 47-2. 嘉手納町の運動施設（体育館、グラウンド、公園など）をよく利用しますか。（問 47 で「1.」と答えた人）

「ほとんどない」が 50.4%

町の運動施設の利用については、「ほとんどない」が 50.4%と最も高く、次に「ときどき」が 27.4%となります。

町の運動施設の利用状況（540人）



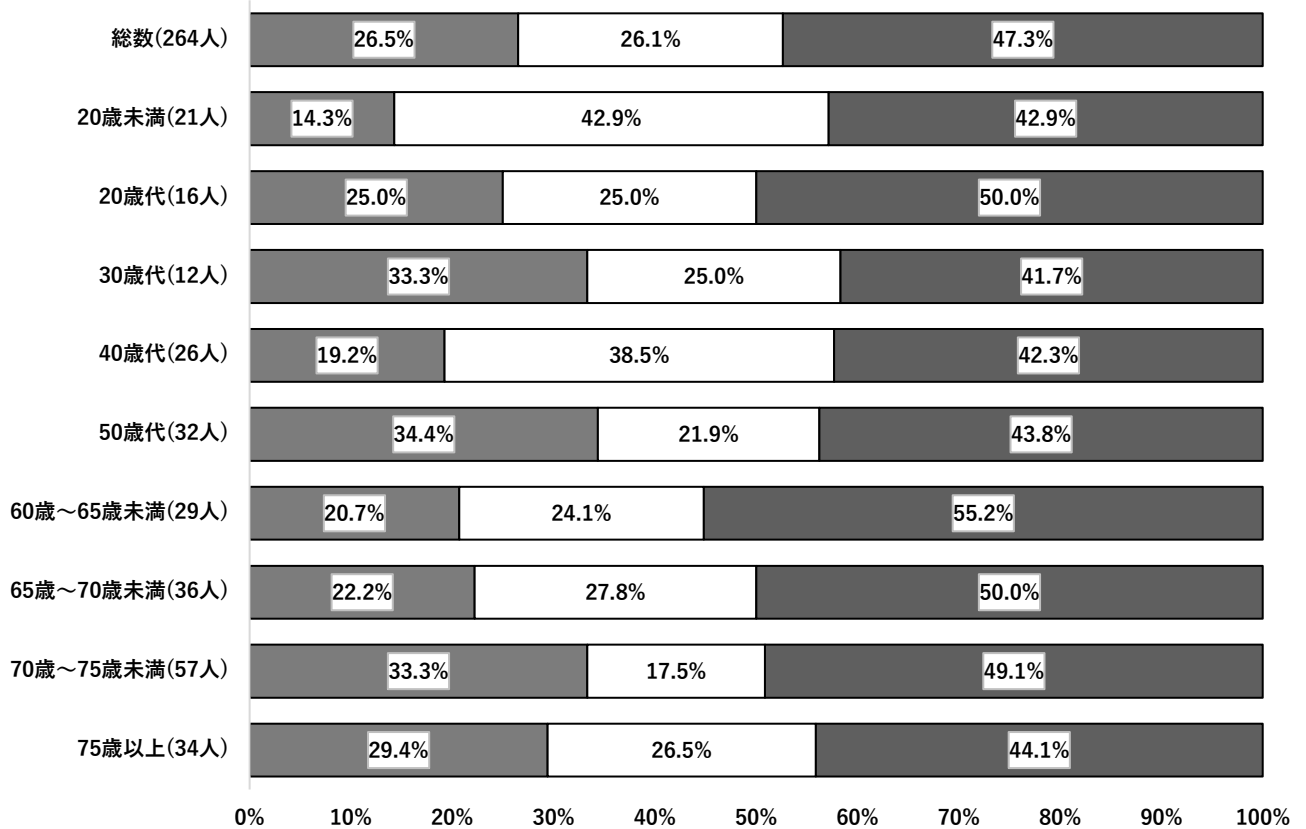
性別年齢層別の分析結果では、「はい」または「ときどき」と回答した人を合わせた運動施設を利用する人の割合は、男性では 60 歳～65 歳未満を除いた年代で約 5～6 割となっています。

一方で、女性においては、20 歳未満および 50 歳以上の年代では約 3～4 割程度にとどまり、20 歳代から 40 歳代の年代では約 6～8 割と高い割合となっています。

町の運動施設の利用状況（性別年齢層別）

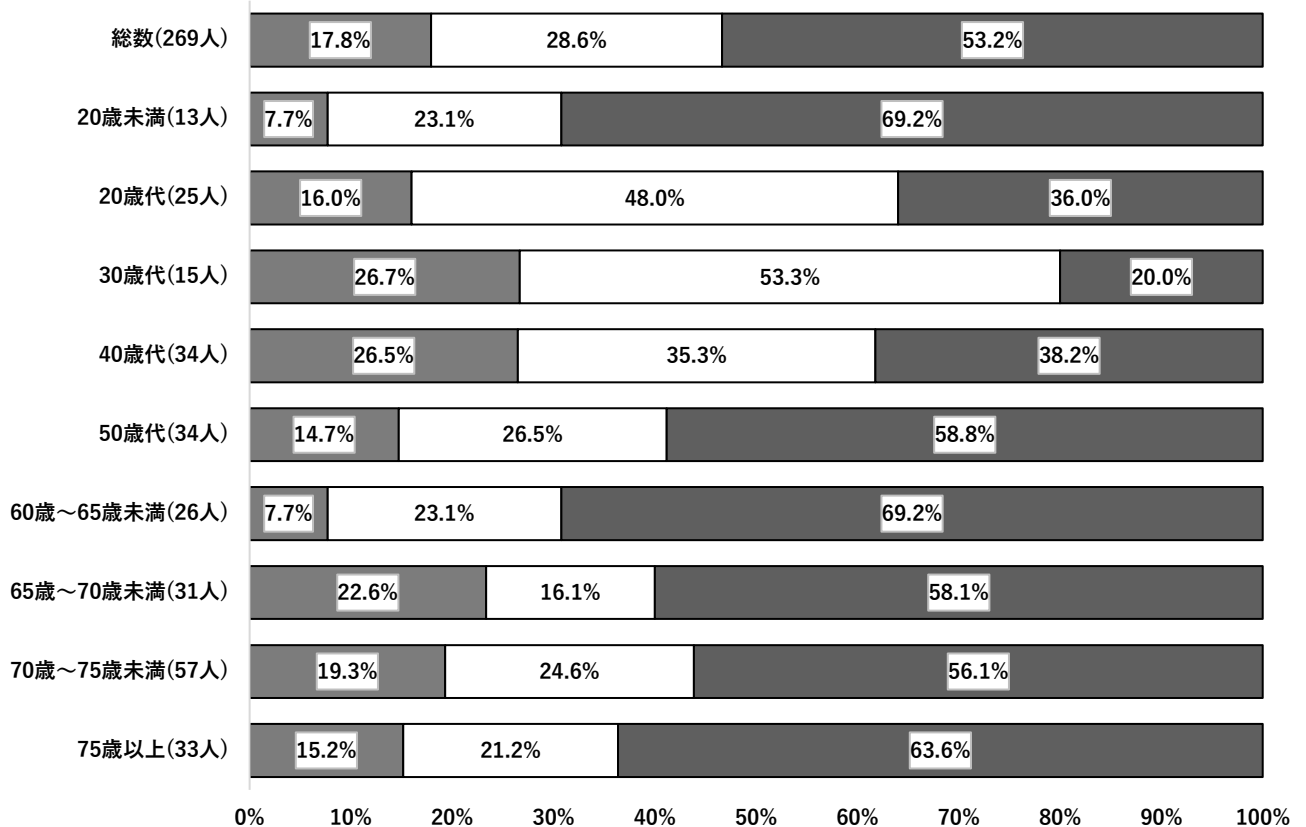
男性

■ 1. はい □ 2. ときどき ■ 3. ほとんどない



女性

■ 1. はい □ 2. ときどき ■ 3. ほとんどない



(5) 運動を始めたきっかけ（複数回答）

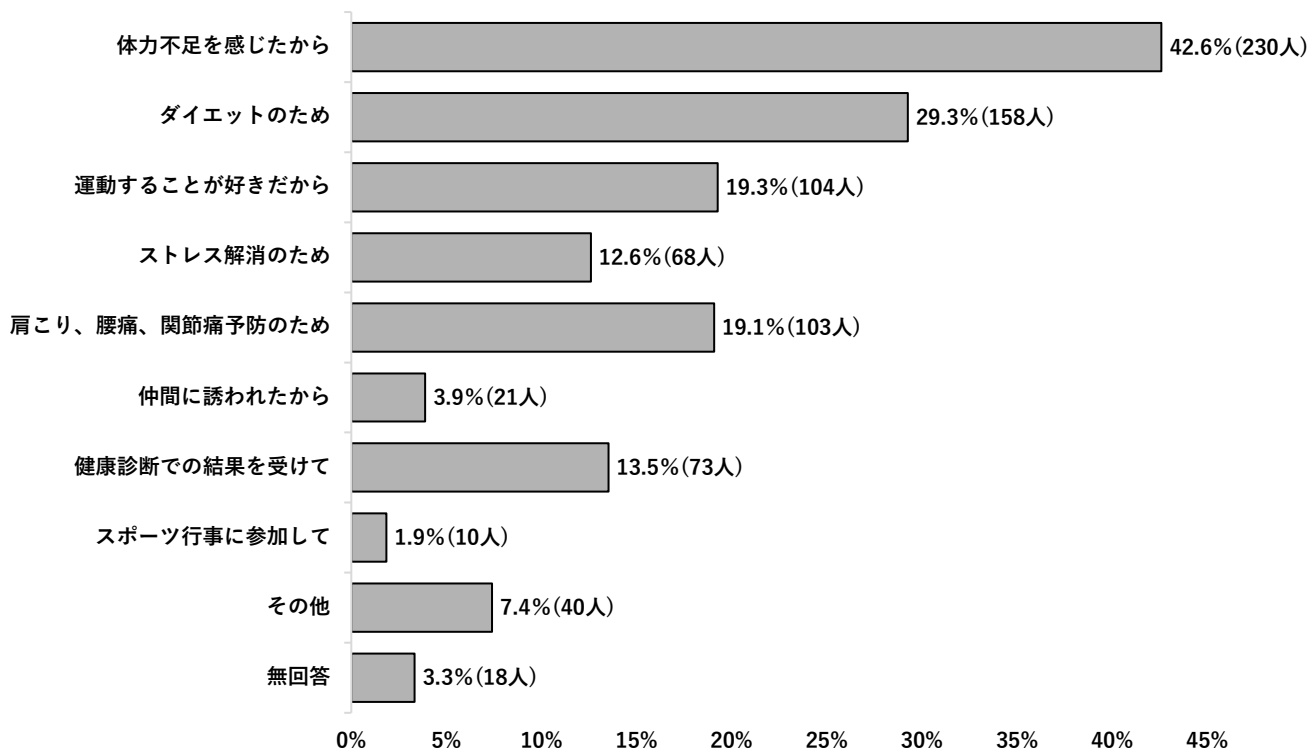
問 47-3. 運動を始めたきっかけは何ですか。（問 47 で「1.」と答えた人）

「体力不足を感じたから」が 42.6%

運動を始めたきっかけについては、「体力不足を感じたから」が 42.6%と最も高く、次に「ダイエットのため」が 29.3%となります。

※複数回答につき、割合の合計が 100%を超える場合があります。

運動を始めたきっかけ（540人）



性別年齢層別の分析結果では、20歳未満の男女において「運動することが好きだから」と回答した割合が他年代より高いという特徴があります。また、比較的高年齢の年代に注目すると、60歳以上の男性、50歳代以上の女性では「体力不足を感じたから」と回答した人の割合が最も高くなっています。

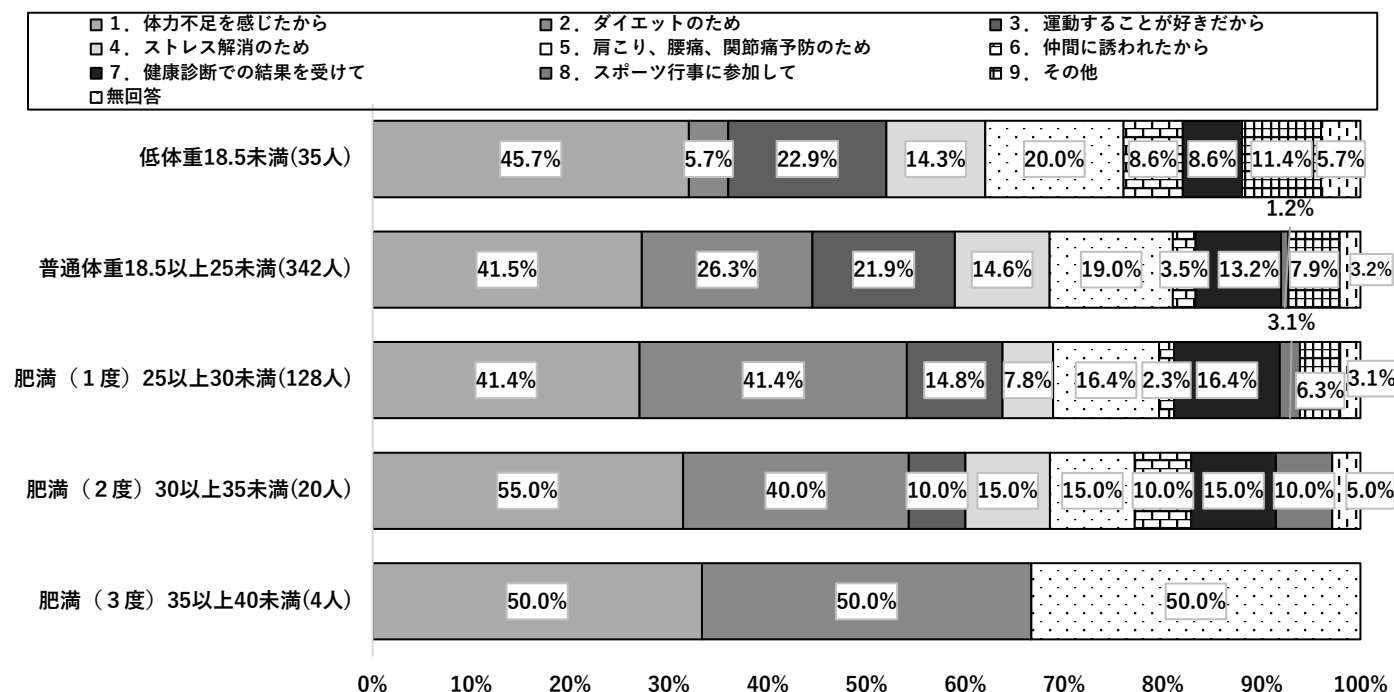
運動を始めたきっかけ（性別年齢層別）

【男性】	総数	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳～65歳未満	65歳～70歳未満	70歳～75歳未満	75歳以上
総回答数	264	21	16	12	26	32	29	36	57	34
体力不足を感じたから	37.5%	4.8%	25.0%	41.7%	26.9%	31.3%	55.2%	33.3%	50.9%	44.1%
ダイエットのため	26.9%	9.5%	31.3%	41.7%	61.5%	31.3%	24.1%	22.2%	19.3%	20.6%
運動することが好きだから	26.5%	47.6%	37.5%	33.3%	30.8%	34.4%	24.1%	13.9%	19.3%	23.5%
ストレス解消のため	8.7%	4.8%	6.3%	0.0%	7.7%	21.9%	6.9%	5.6%	10.5%	5.9%
肩こり、腰痛、関節痛予防のため	15.2%	0.0%	0.0%	16.7%	7.7%	12.5%	6.9%	25.0%	24.6%	17.6%
仲間に誘われたから	4.5%	14.3%	37.5%	8.3%	3.8%	3.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
健康診断での結果を受けて	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	23.1%	9.4%	17.2%	33.3%	14.0%	29.4%
スポーツ行事に参加して	3.0%	14.3%	6.3%	0.0%	3.8%	0.0%	3.4%	0.0%	1.8%	2.9%
その他	10.2%	33.3%	18.8%	8.3%	7.7%	12.5%	3.4%	5.6%	10.5%	2.9%
無回答	1.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.1%	3.4%	5.6%	1.8%	0.0%

【女性】	総数	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳～65歳未満	65歳～70歳未満	70歳～75歳未満	75歳以上
総回答数	269	13	25	15	34	34	26	31	57	33
体力不足を感じたから	48.7%	0.0%	40.0%	46.7%	44.1%	50.0%	53.8%	41.9%	61.4%	45.5%
ダイエットのため	32.3%	30.8%	48.0%	40.0%	47.1%	35.3%	42.3%	32.3%	19.3%	6.1%
運動することが好きだから	12.6%	30.8%	20.0%	20.0%	11.8%	11.8%	11.5%	6.5%	5.3%	12.1%
ストレス解消のため	16.7%	23.1%	20.0%	26.7%	20.6%	11.8%	23.1%	6.5%	15.8%	15.2%
肩こり、腰痛、関節痛予防のため	23.4%	0.0%	12.0%	0.0%	14.7%	26.5%	7.7%	38.7%	29.8%	36.4%
仲間に誘われたから	3.3%	0.0%	8.0%	6.7%	5.9%	0.0%	0.0%	0.0%	5.3%	3.0%
健康診断での結果を受けて	10.8%	0.0%	0.0%	6.7%	11.8%	17.6%	15.4%	12.9%	10.5%	12.1%
スポーツ行事に参加して	0.7%	0.0%	4.0%	6.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他	4.8%	23.1%	4.0%	13.3%	8.8%	0.0%	0.0%	3.2%	3.5%	3.0%
無回答	4.8%	15.4%	4.0%	0.0%	2.9%	8.8%	3.8%	6.5%	3.5%	3.0%

BMI別の分析結果では、BMIが高くなるほど運動のきっかけとして「ダイエットのため」と回答する割合が高くなります。代わりに、BMIが高くなるほど「運動することが好きだから」「肩こり、腰痛、関節痛予防のため」といった回答割合は低くなる傾向にあります。

運動のきっかけ（BMI別）



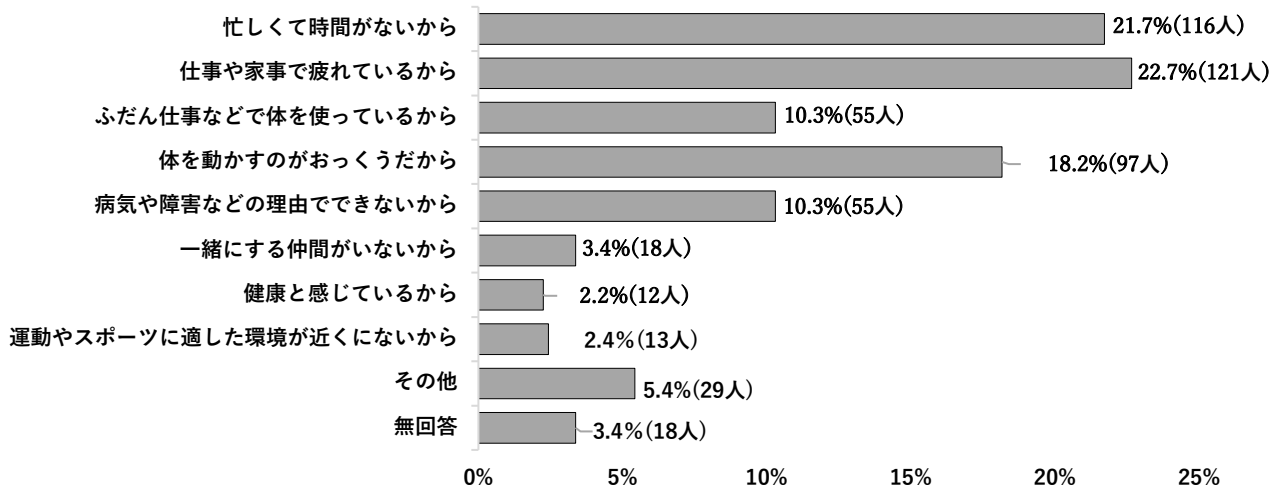
(6) 運動しない理由（単一回答）

問 47-4. 運動しない理由は何ですか。（問 47 で「2.」と答えた人）

「仕事や家事で疲れているから」が 22.7%

運動しない理由については、「仕事や家事で疲れているから」が 22.7% と最も高く、次に「忙しくて時間がないから」が 21.7% となります。

運動しない理由（534 人）



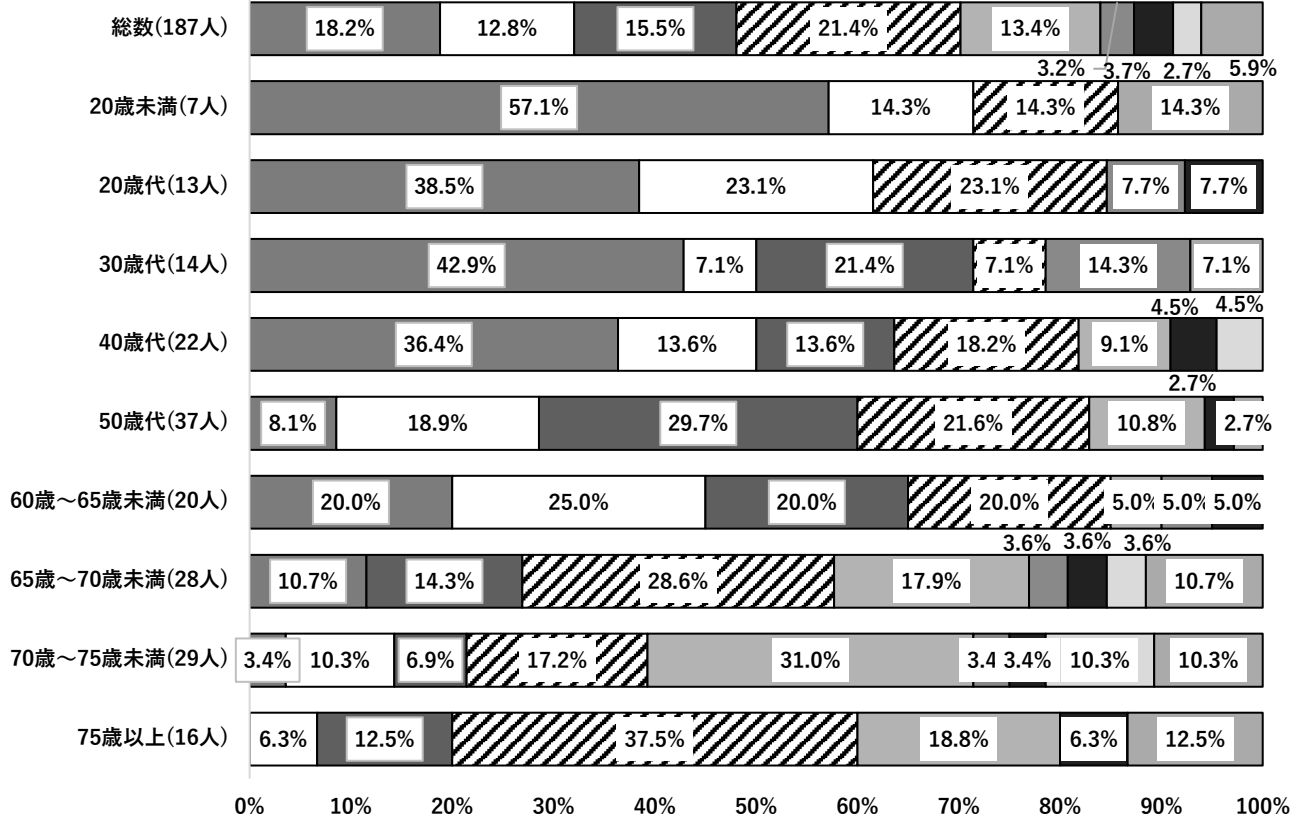
性別年齢層別の分析結果では、40 歳代以下の男性・50 歳代以下の女性において「忙しくて時間がないから」と回答した人の割合が、他世代に比べ高くなっています。

また、30 歳代から 70 歳未満、75 歳以上の男性において「ふだん仕事などで体を使っているから」と回答した人の割合が同年代の女性より高く、20 歳代以上のすべての年代の女性において「仕事や家事で疲れているから」と回答した人の割合が同年代の男性より多くなっています。

運動しない理由（性別年齢層別）

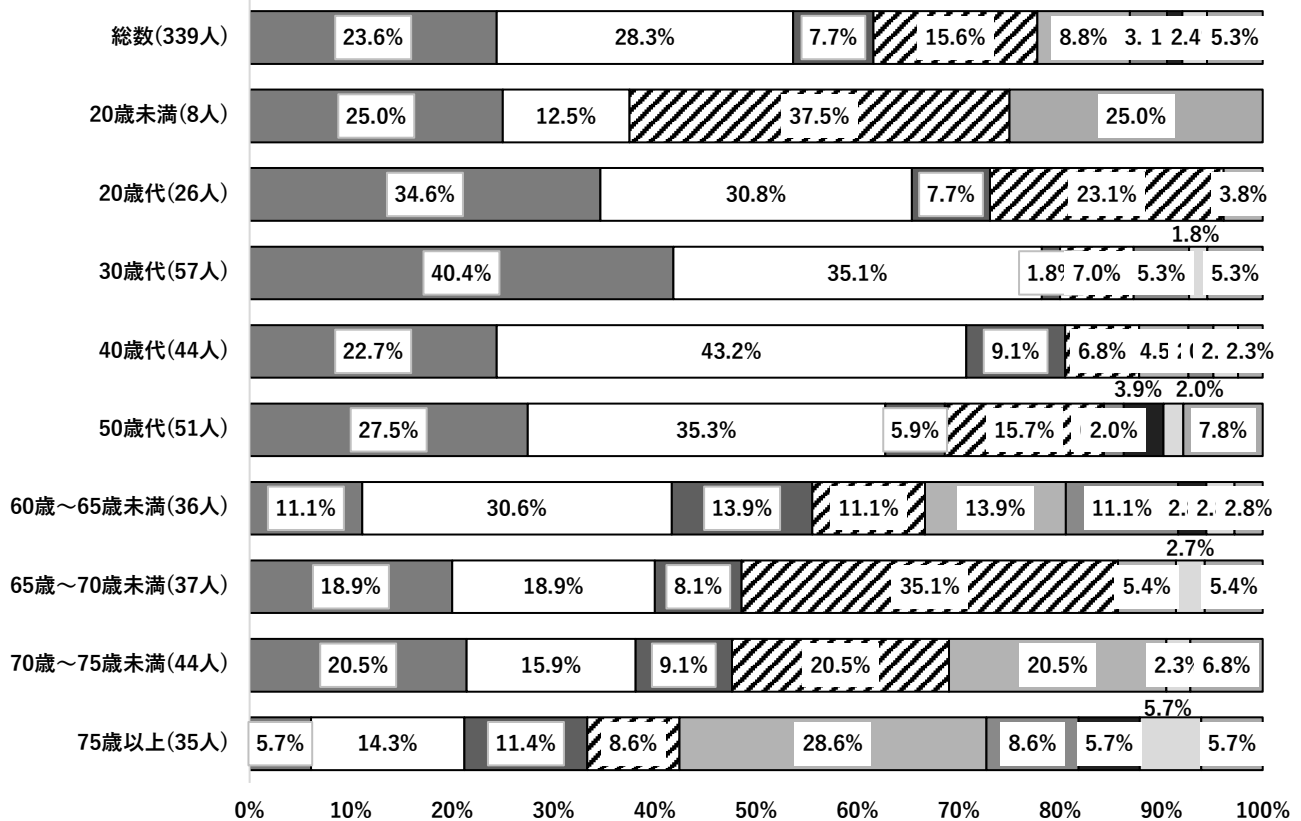
男性

- 1. 忙しくて時間がないから
- 2. 仕事や家事で疲れているから
- 3. ふだん仕事などで体を使っているから
- 4. 体を動かすのがおっくうだから
- 5. 病気や障害などの理由でできないから
- 6. 一緒にする仲間がないから
- 7. 健康と感じているから
- 8. 運動やスポーツに適した環境が近くにないから
- 9. その他



女性

- 1. 忙しくて時間がないから
- 2. 仕事や家事で疲れているから
- 3. ふだん仕事などで体を使っているから
- 4. 体を動かすのがおっくうだから
- 5. 病気や障害などの理由でできないから
- 6. 一緒にする仲間がないから
- 7. 健康と感じているから
- 8. 運動やスポーツに適した環境が近くにないから
- 9. その他

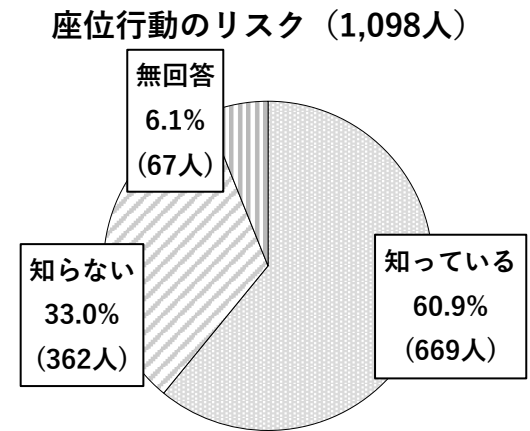


(7) 座位行動のリスク（単一回答）

問 48. 近年、座位行動（座ったり寝転んだりして過ごすこと）の時間が長くなると、生活習慣病発症や死亡リスクが高まる等の健康問題が発生することが報告されていますが、ご存じですか。

「知っている」が 60.9%

座位行動のリスクについては、「知っている」が 60.9%、「知らない」が 33.0%となります。

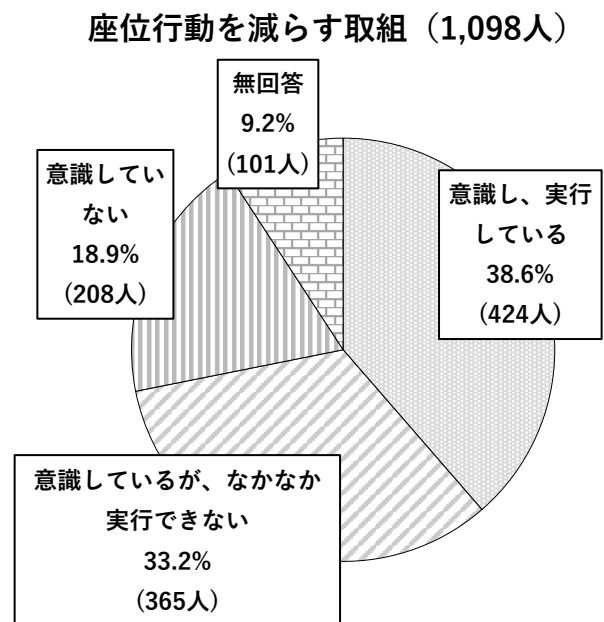


(8) 座位行動を減らす取組（単一回答）

問 49. 座位行動の時間が長くなりすぎないように意識し、実行していますか。（立位が困難な方は、じっとしている時間が長くないように少しでも体を動かすように意識し、実行していますか）

「意識し、実行している」が 38.6%

座位行動を減らす取組については、「意識し、実行している」が 38.6%と最も高く、次に「意識しているが、なかなか実行できない」が 33.2%となります。

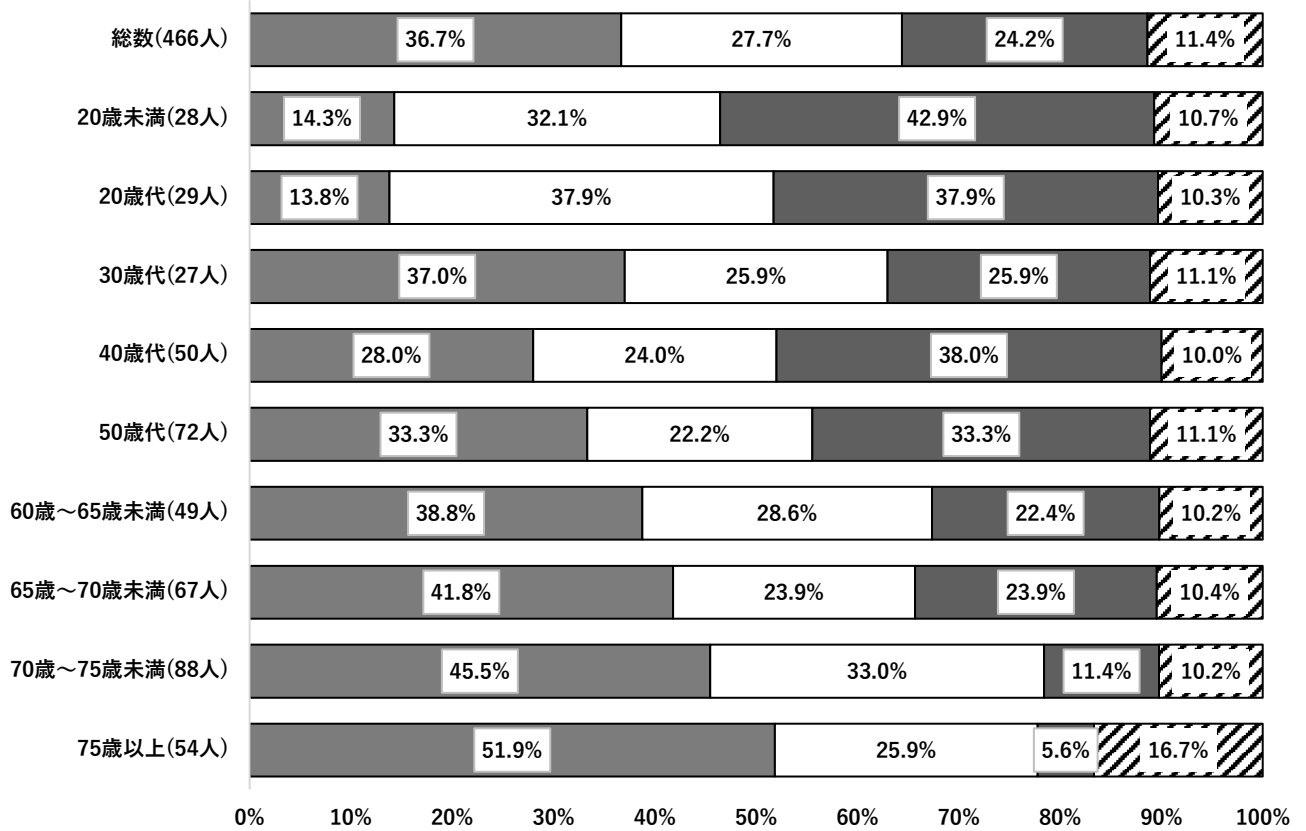


性別年齢層別の分析結果では、男性・女性ともに年齢層が高くなるほど「意識し、実行している」と回答した人の割合が高い傾向にあり、特に男性では増加傾向が顕著です。「意識していない」と回答した人の割合は、男性のほうが高い傾向にあり、女性においては 40 歳代以下で高い傾向にあります。

座位行動を減らす取組（性別年齢層別）

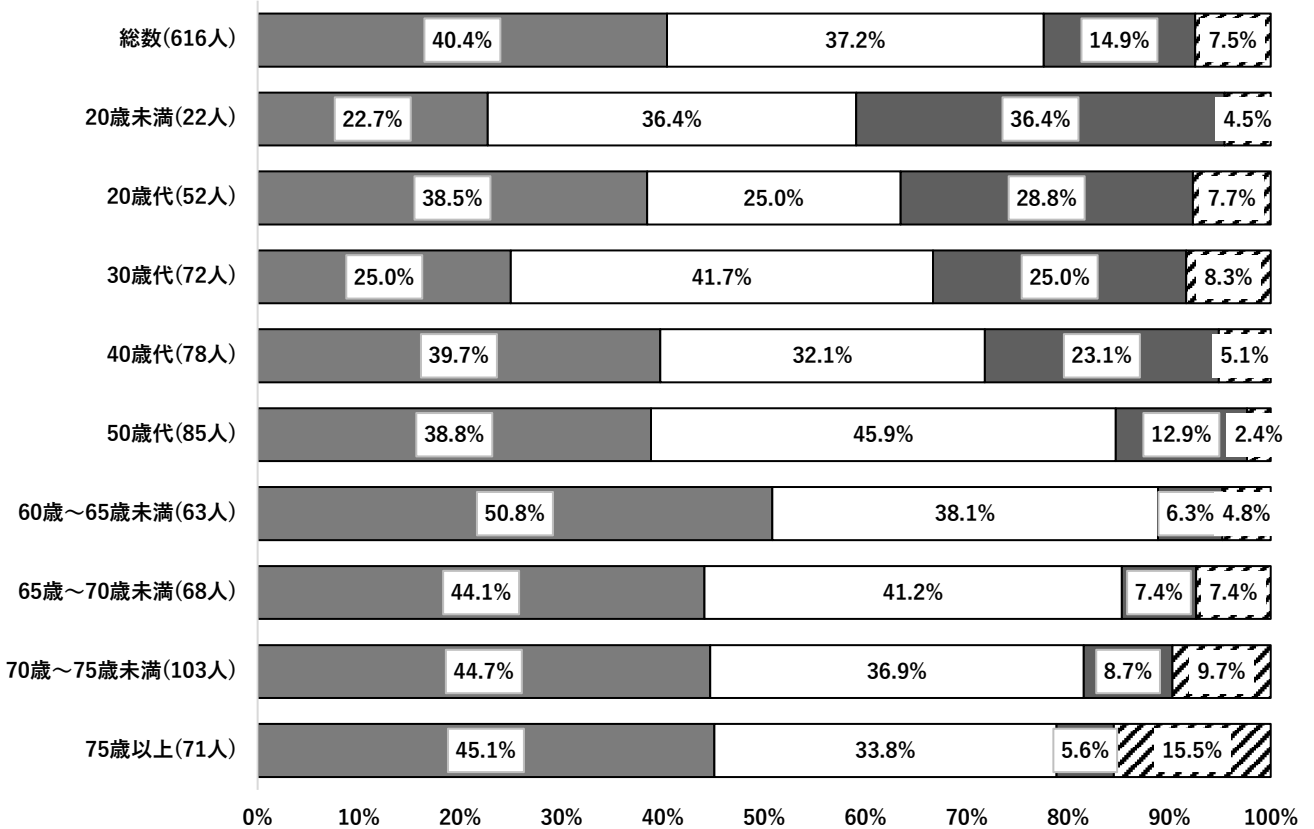
男性

■ 1. 意識し、実行している □ 2. 意識しているが、なかなか実行できない ■ 3. 意識していない ▨ 無回答



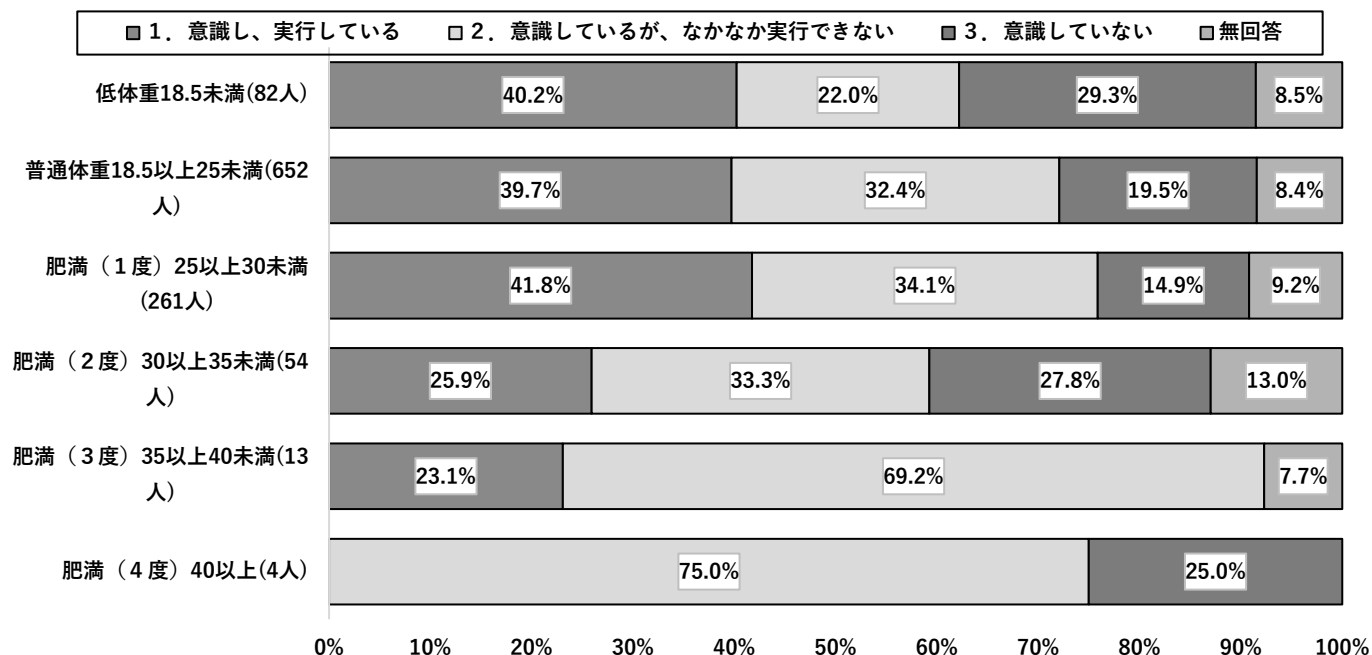
女性

■ 1. 意識し、実行している □ 2. 意識しているが、なかなか実行できない ■ 3. 意識していない ▨ 無回答



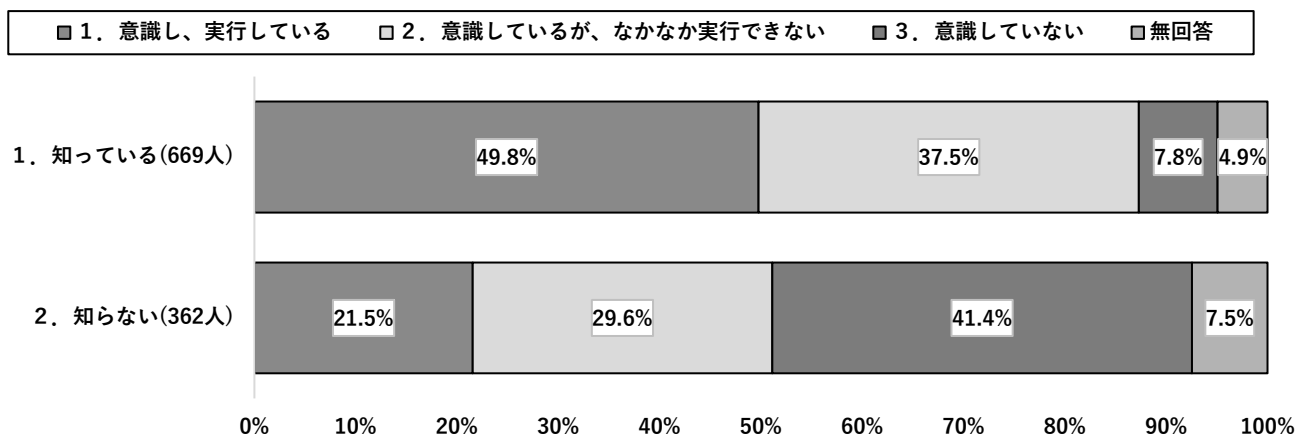
BMI 別の分析結果では、特に肥満の人について、BMI が高くなるほど「意識し、実行している」割合が低くなり、「意識しているが、なかなか実行できない」の割合が高くなる傾向にあります。

座位行動を減らす取組（BMI 別）



また、座位行動のリスク別に見ると、座位行動のリスクを「知っている」人は「知らない」人に比べて、座位行動を減らす取組を「意識し、実行している」割合が高く、「意識していない」割合が低くなる傾向にあります。

座位行動を減らす取組（座位行動のリスク別）



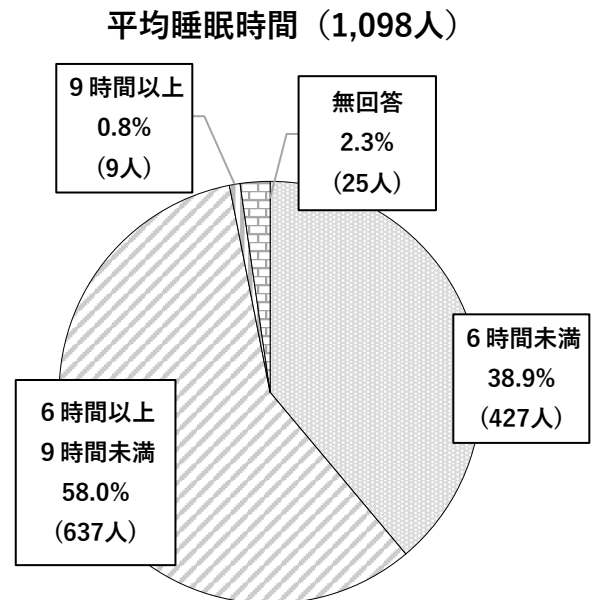
7. 休養・こころの健康づくり

(1) 睡眠時間（単一回答）

問 50. 平均睡眠時間はどの程度ですか。

「6 時間以上 9 時間未満」が 58.0%

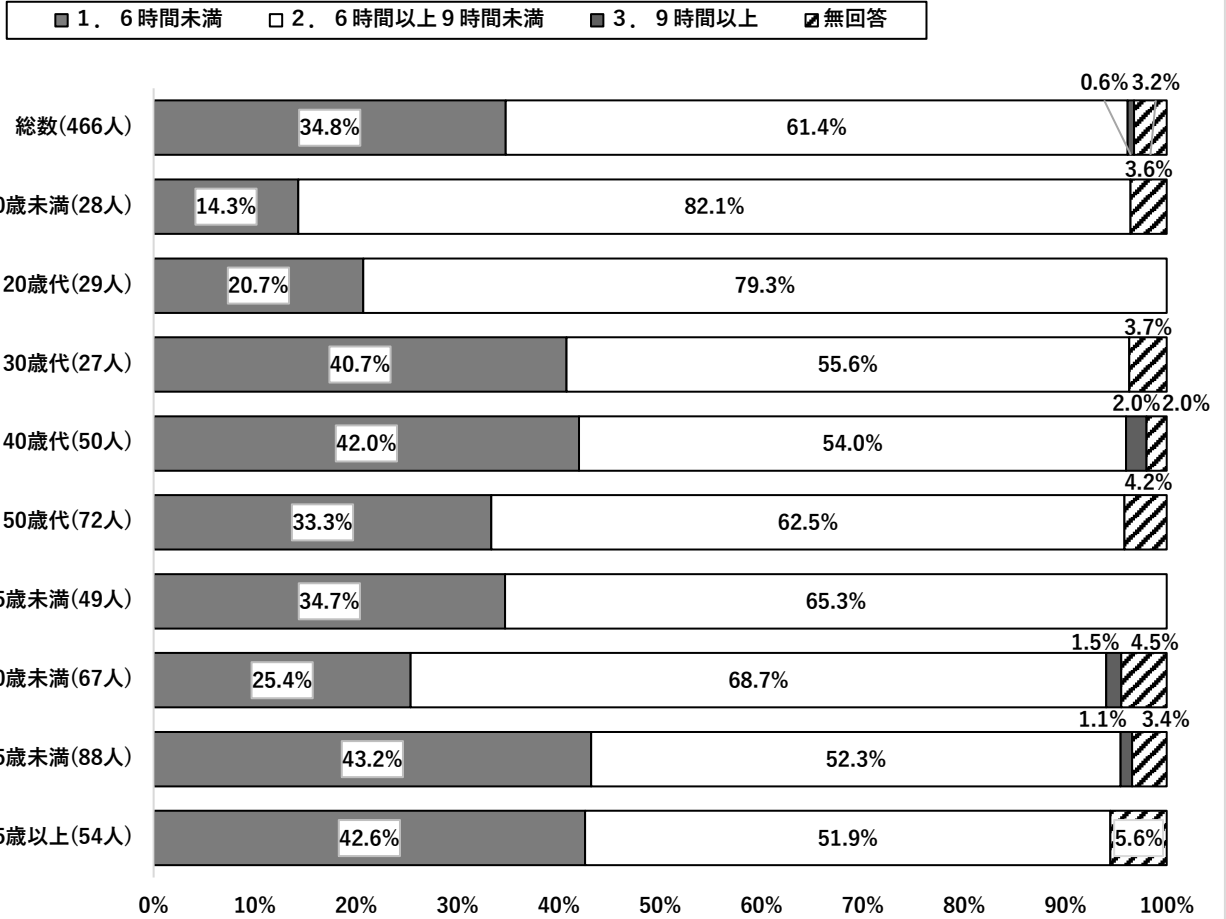
平均睡眠時間については、「6 時間以上 9 時間未満」が 58.0%と最も高く、次に「6 時間未満」が 38.9%となります。



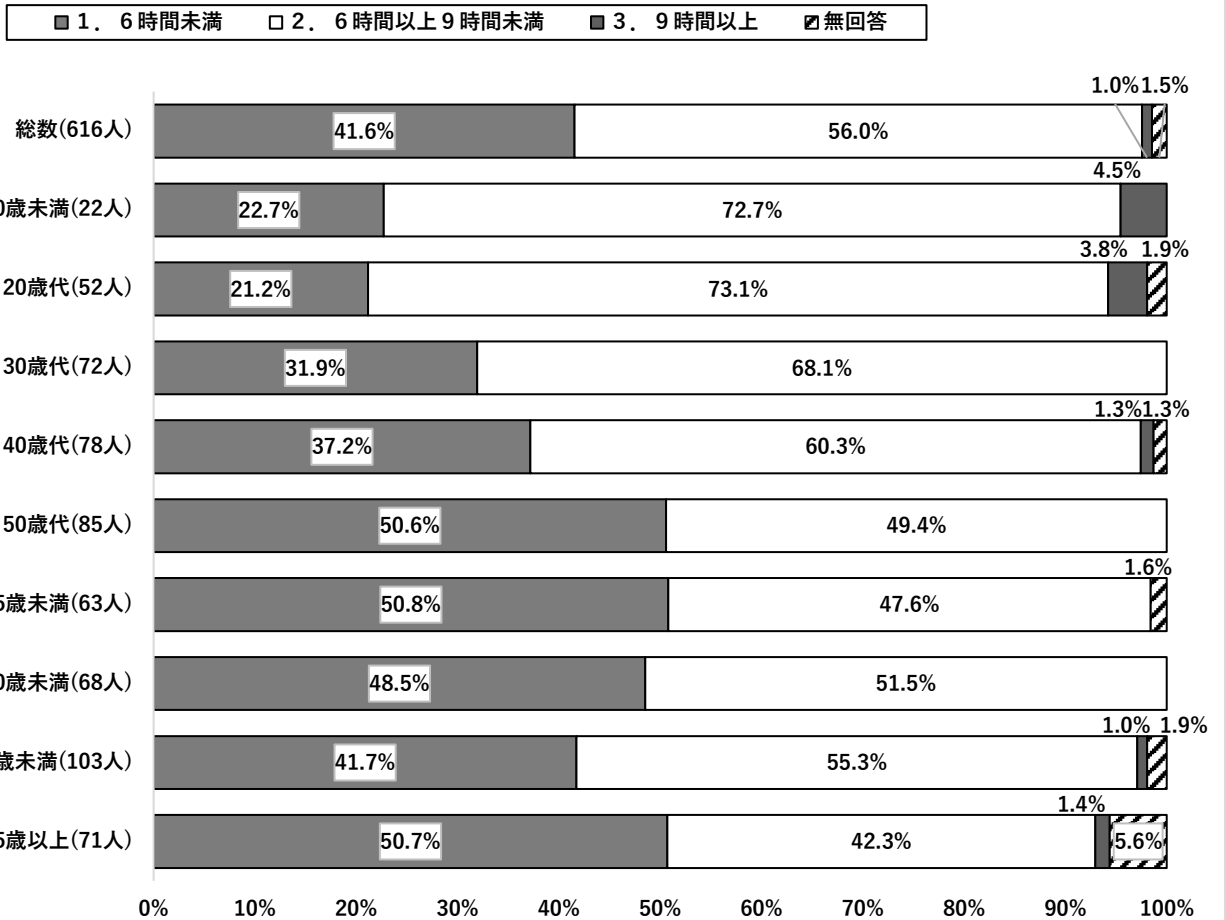
性別年齢層別の分析結果では、20 歳未満及び 20 歳代の男性・女性は約 7～8 割が「6 時間以上 9 時間未満」と回答しているのに対し、70 歳以上の男性及び 50 歳代以上の女性においては「6 時間以上 9 時間未満」と回答した人の割合は約 5 割にとどまっています。

睡眠時間（性別年齢層別）

男性



女性



また、沖縄県のデータと比較すると、男性はどの年齢層でも「6時間以上9時間未満」と回答している割合が沖縄県のデータを上回っています。女性も30歳代まで同様の傾向がありますが、40歳代以降は「6時間未満」と回答する割合が沖縄県を上回っています。

睡眠時間（沖縄県との比較）

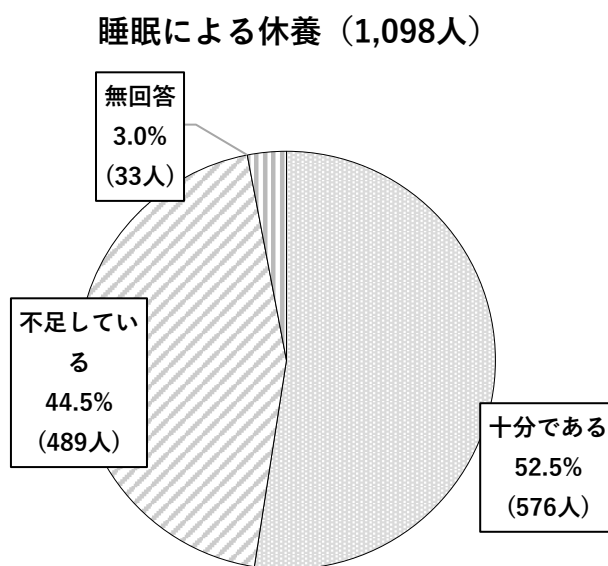
	20歳代未満		20歳代		30歳代		40歳代		50歳代		60歳代		
	嘉手納町	沖縄県	嘉手納町	沖縄県	嘉手納町	沖縄県	嘉手納町	沖縄県	嘉手納町	沖縄県	嘉手納町	沖縄県	
男性	総回答実数	27人		29人		26人		49人		69人		113人	
	6時間未満	14.8%	23.5%	20.7%	36.7%	42.3%	46.9%	42.9%	48.2%	34.8%	39.6%	30.1%	42.2%
	6時間以上9時間未満	85.2%	76.5%	79.3%	60.0%	57.7%	53.1%	55.1%	51.8%	65.2%	60.4%	69.0%	55.6%
	9時間以上	0.0%	0.0%	0.0%	3.3%	0.0%	0.0%	2.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.9%	2.2%
女性	総回答実数	22人		51人		72人		77人		85人		130人	
	6時間未満	22.7%	33.3%	21.6%	28.9%	31.9%	33.9%	37.7%	37.3%	50.6%	37.3%	50.0%	41.4%
	6時間以上9時間未満	72.7%	66.7%	74.5%	63.2%	68.1%	61.3%	61.0%	62.7%	49.4%	62.7%	50.0%	58.6%
	9時間以上	4.5%	0.0%	3.9%	7.9%	0.0%	4.8%	1.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

(2) 睡眠による休養（単一回答）

問 50. 睡眠によって十分な休養がとれていますか。

「十分である」が 52.5%

睡眠による休養については、「十分である」が 52.5%、「不足している」が 44.5%となります。

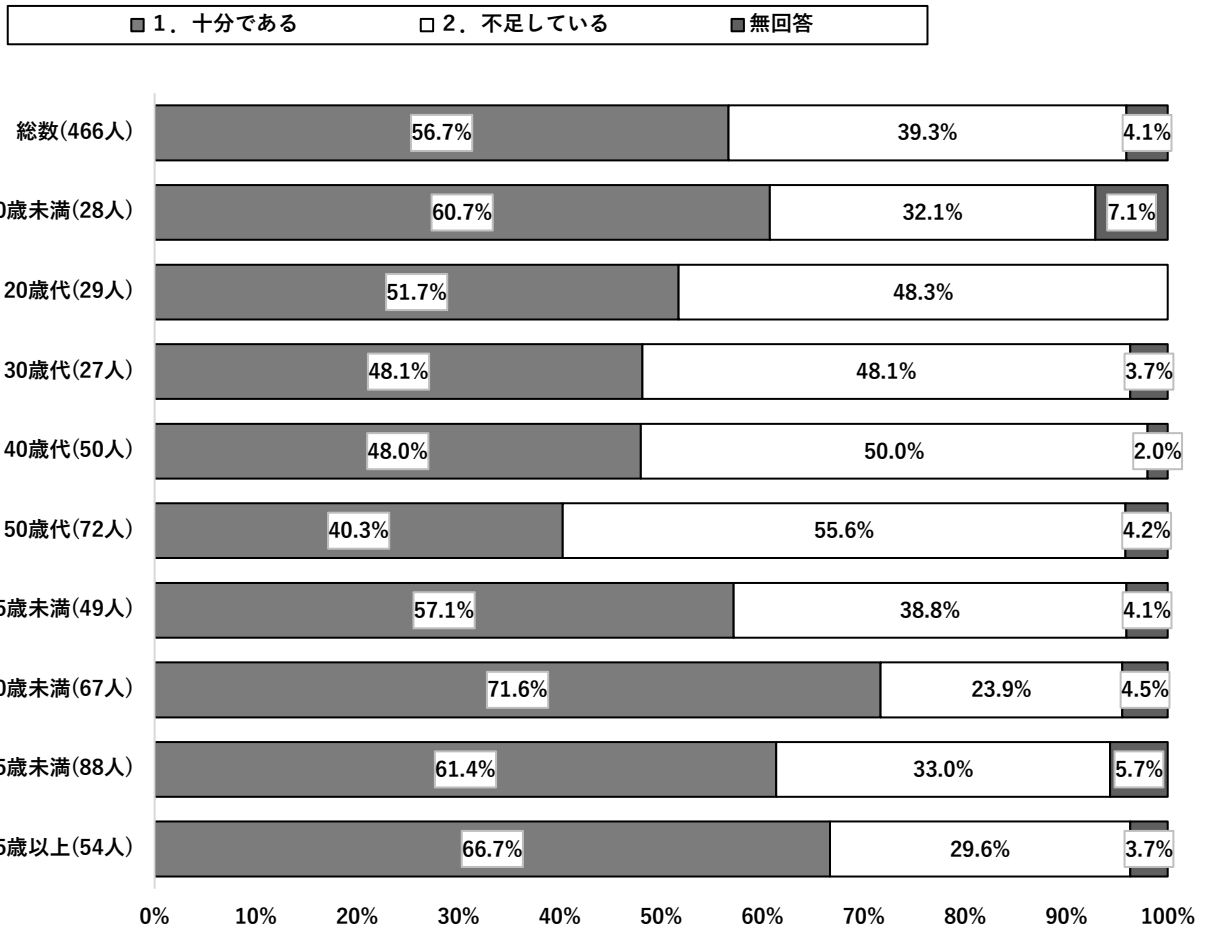


性別年齢層別の分析結果では、50歳代を除くすべての年代において、女性よりも男性の方が「十分である」と回答した人の割合が高くなっています。

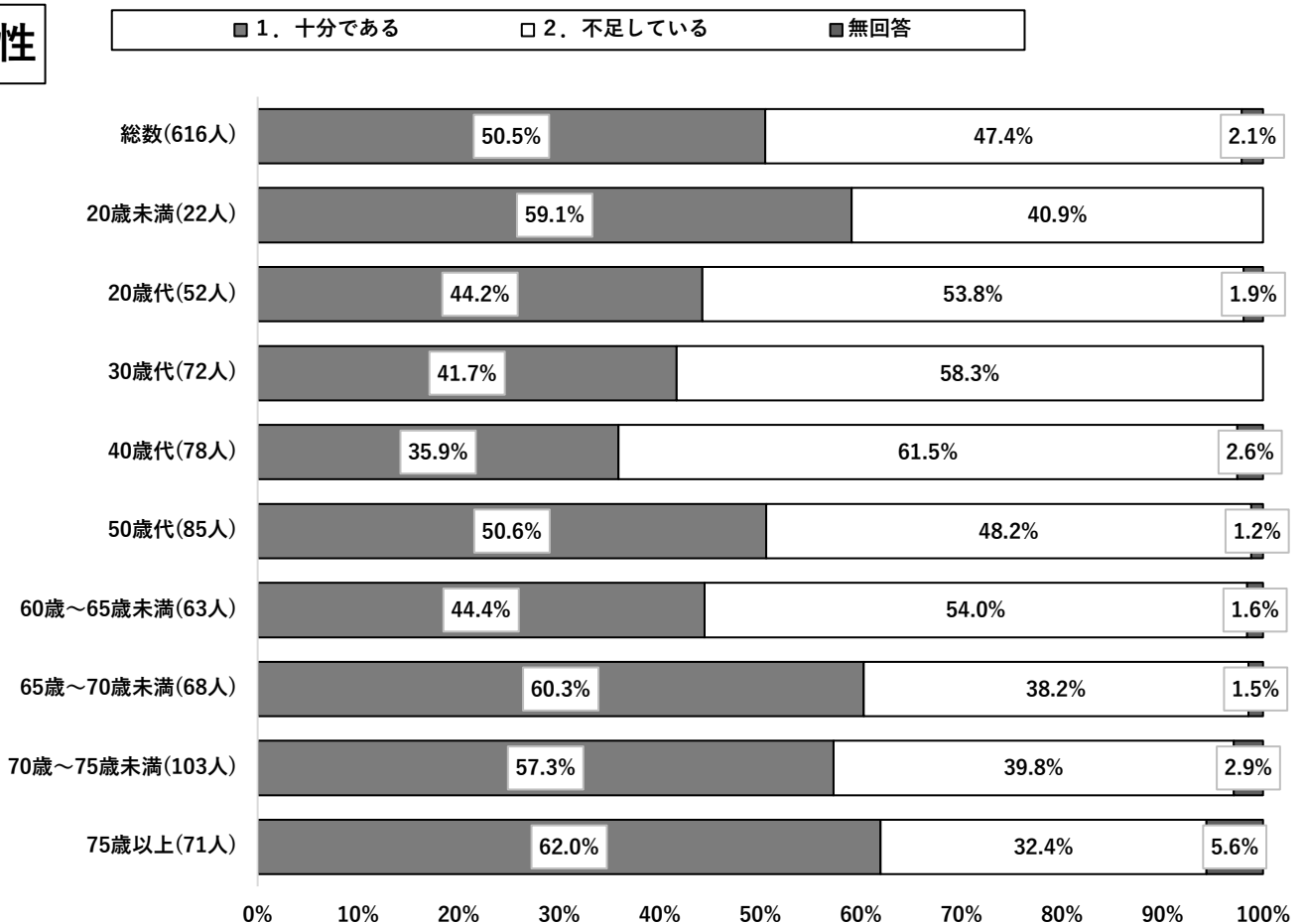
また、男性では20歳代から50歳代において、女性では20歳代及び30歳代、40歳代、60歳～65歳未満において、「十分である」と回答した割合が他の年代に比べ低い傾向にありました。

睡眠による休養（性別年齢層別）

男性

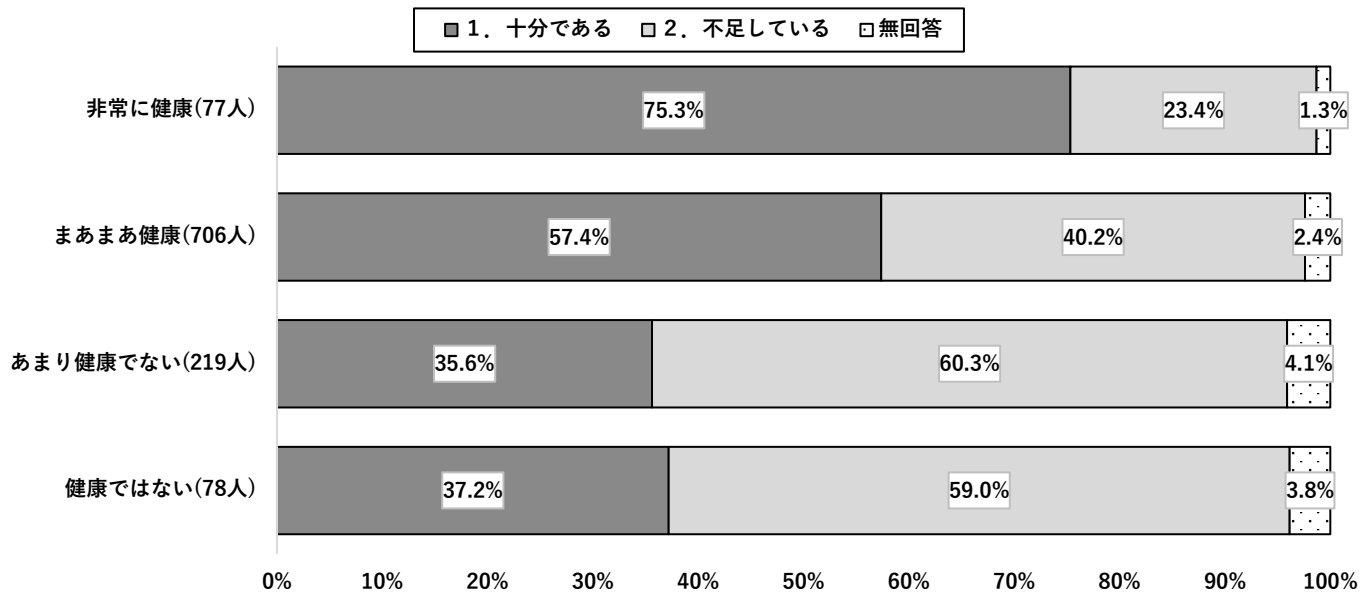


女性



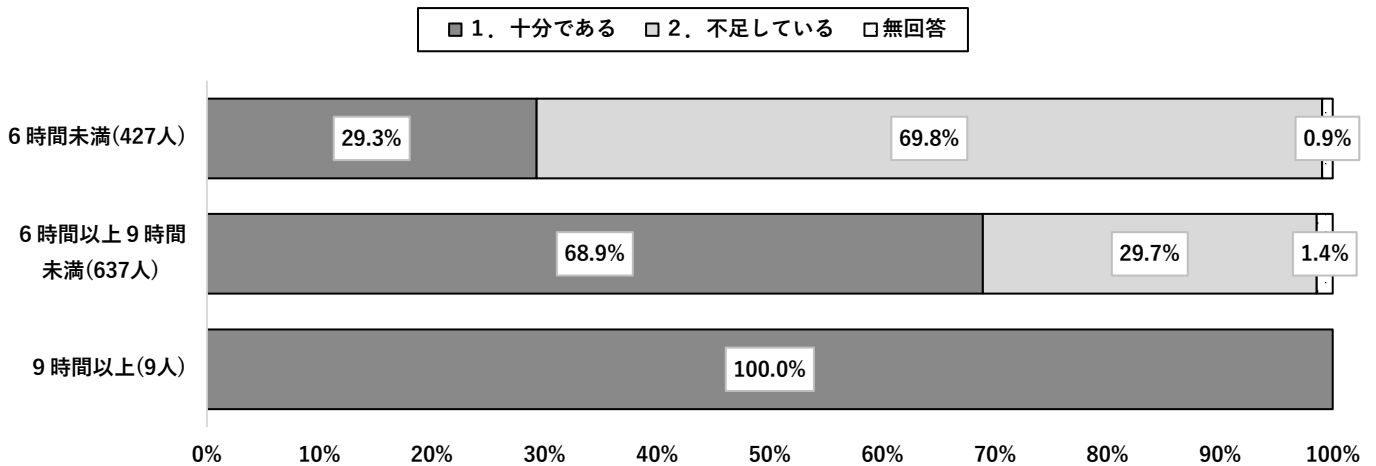
自身の健康判断別にみると、睡眠による休養が「十分である」と回答した人は自身の健康度を高く評価している層ほど多い傾向にあり、「非常に健康」と回答した人では75.3%が「十分である」と回答しています。

睡眠による休養（自身の健康観別）



睡眠時間別にみると、睡眠時間が長い層ほど睡眠による休養が「十分である」と回答した人の割合が高く、「9時間以上」睡眠している人では100.0%となっています。

睡眠による休養（睡眠時間別）



(3) 普段の疲れの感じ方（単一回答）

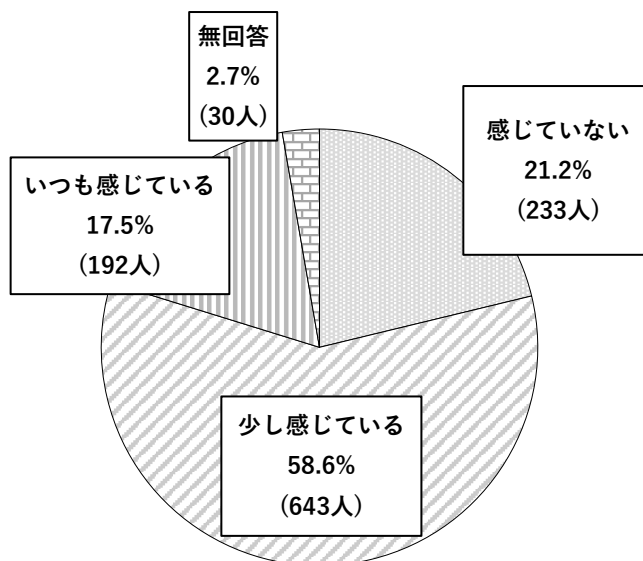
問 50. 普段疲れを感じていますか。

「少し感じている」が 58.6%

普段の疲れの感じ方については、「少し感じている」が 58.6%と最も高く、次に「感じていない」が 21.2%、「いつも感じている」が 17.5%となります。

「少し感じている」と「いつも感じている」とを合わせると、疲れを感じていると答えた人の合計は、76.1%となります。

普段の疲れの感じ方（1,098人）

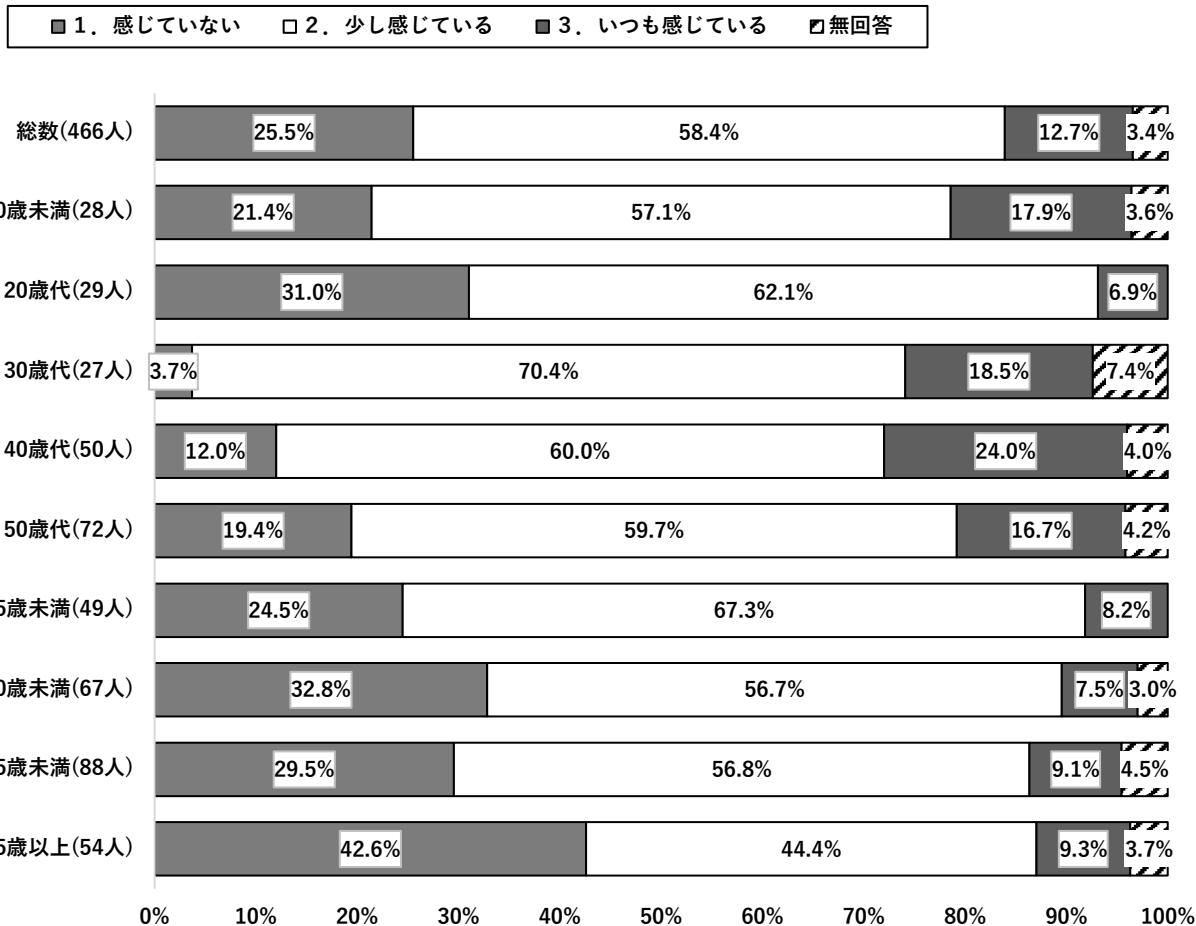


性別年齢層別の分析結果では、「少し感じている」または「いつも感じている」と回答した割合は男性・女性ともに 30 代が最も高くなります。男女別の観点では、「いつも疲れている」と回答した割合は男性よりも女性に多くみられました。

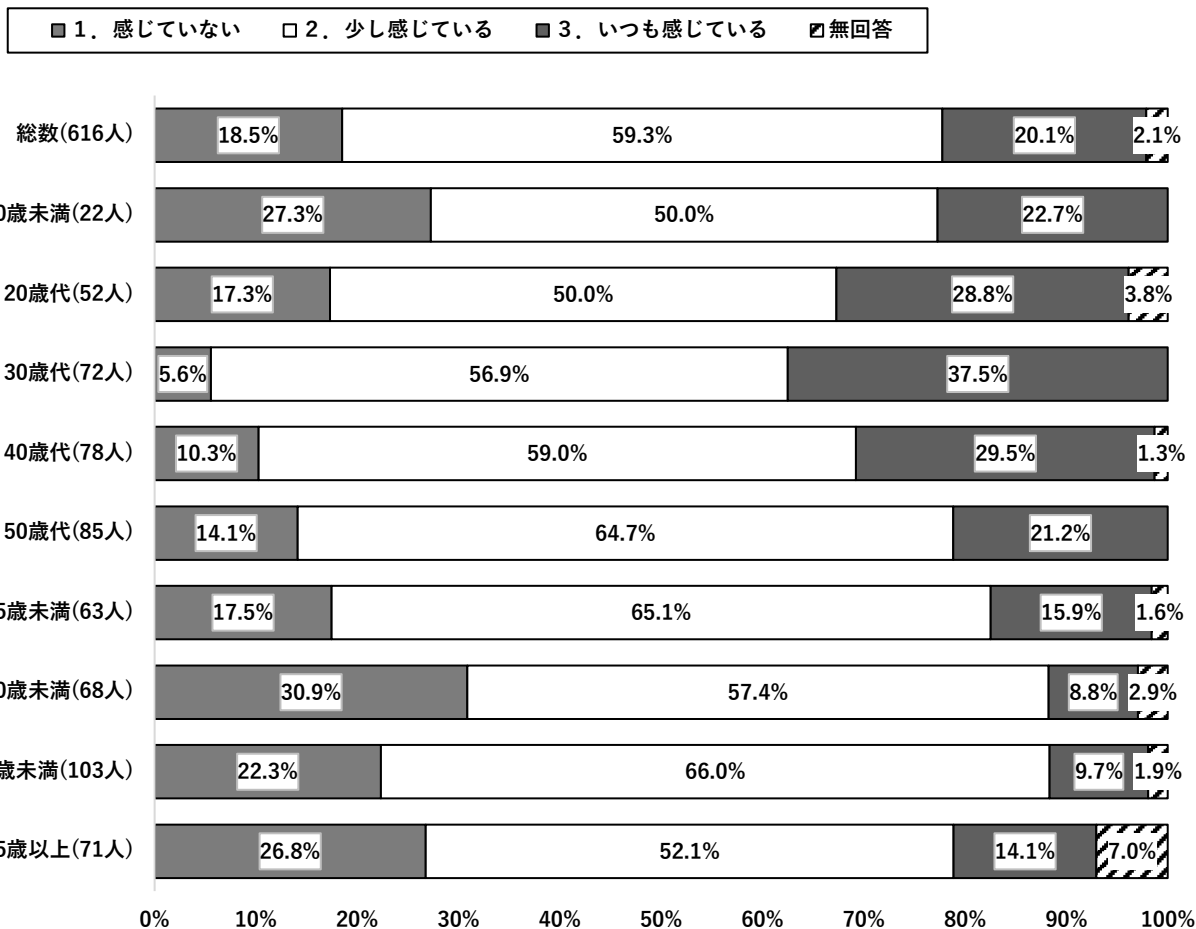
また、70歳～75歳未満を除いた男性・女性の各年代で、上の年代になるにつれてその割合は減少傾向にあります。

普段の疲れの感じ方（性別年齢層別）

男性



女性

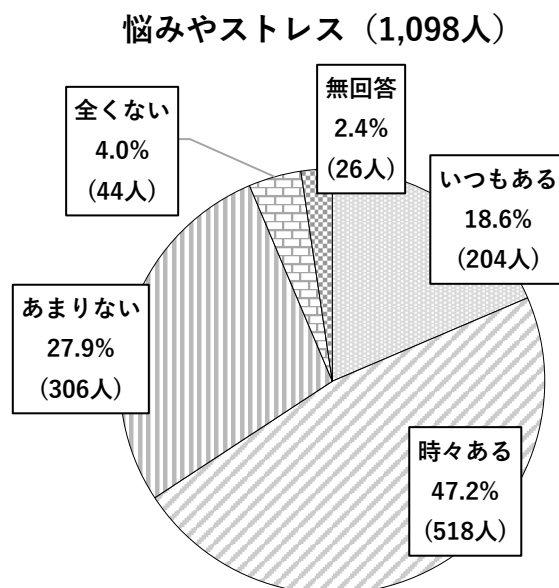


(4) 悩みやストレス（単一回答）

問 51. ふだんの生活で悩み、ストレスを感じることがありますか。

「時々ある」が47.2%

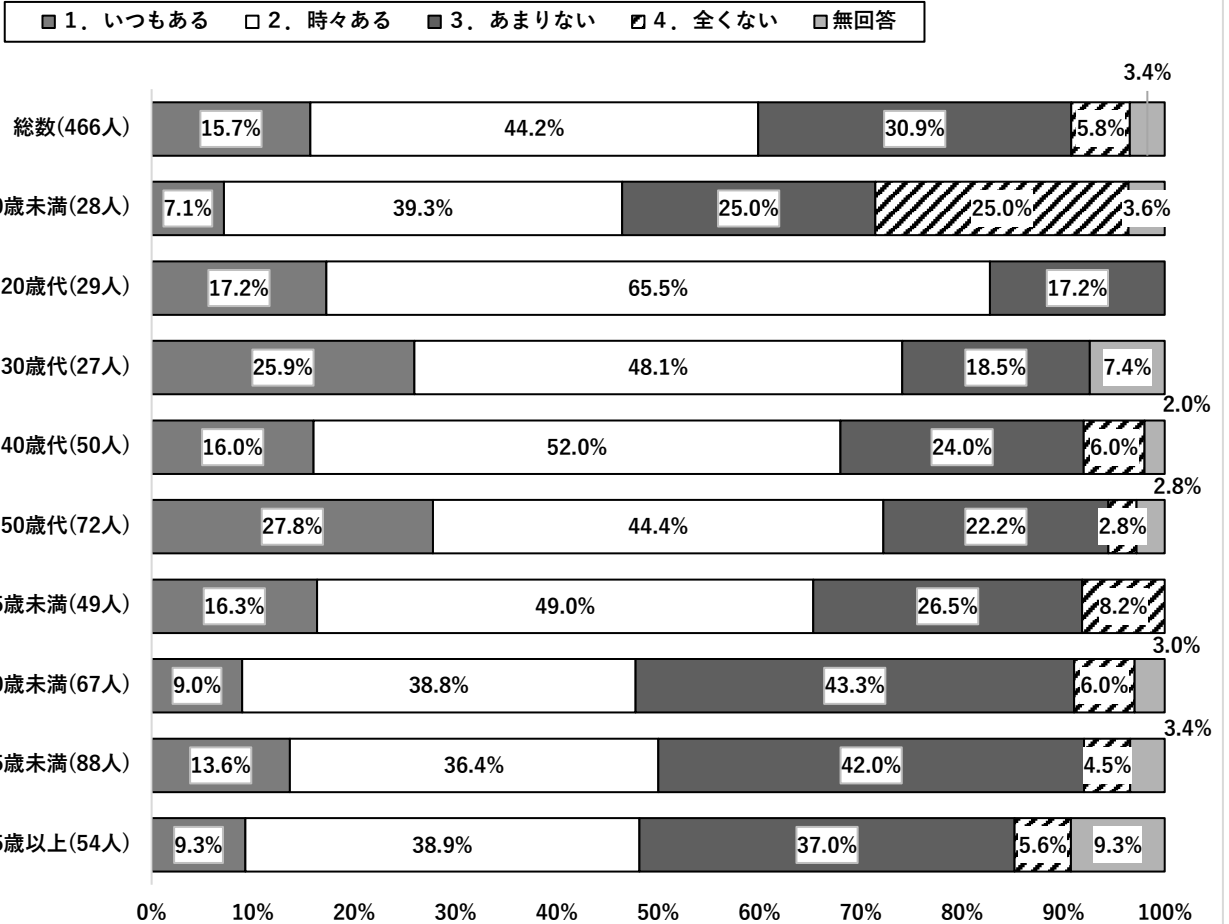
普段の生活で悩み、ストレスを感じることは、「時々ある」が47.2%と最も高く、次に「あまりない」が27.9%、「いつもある」が18.6%となります。



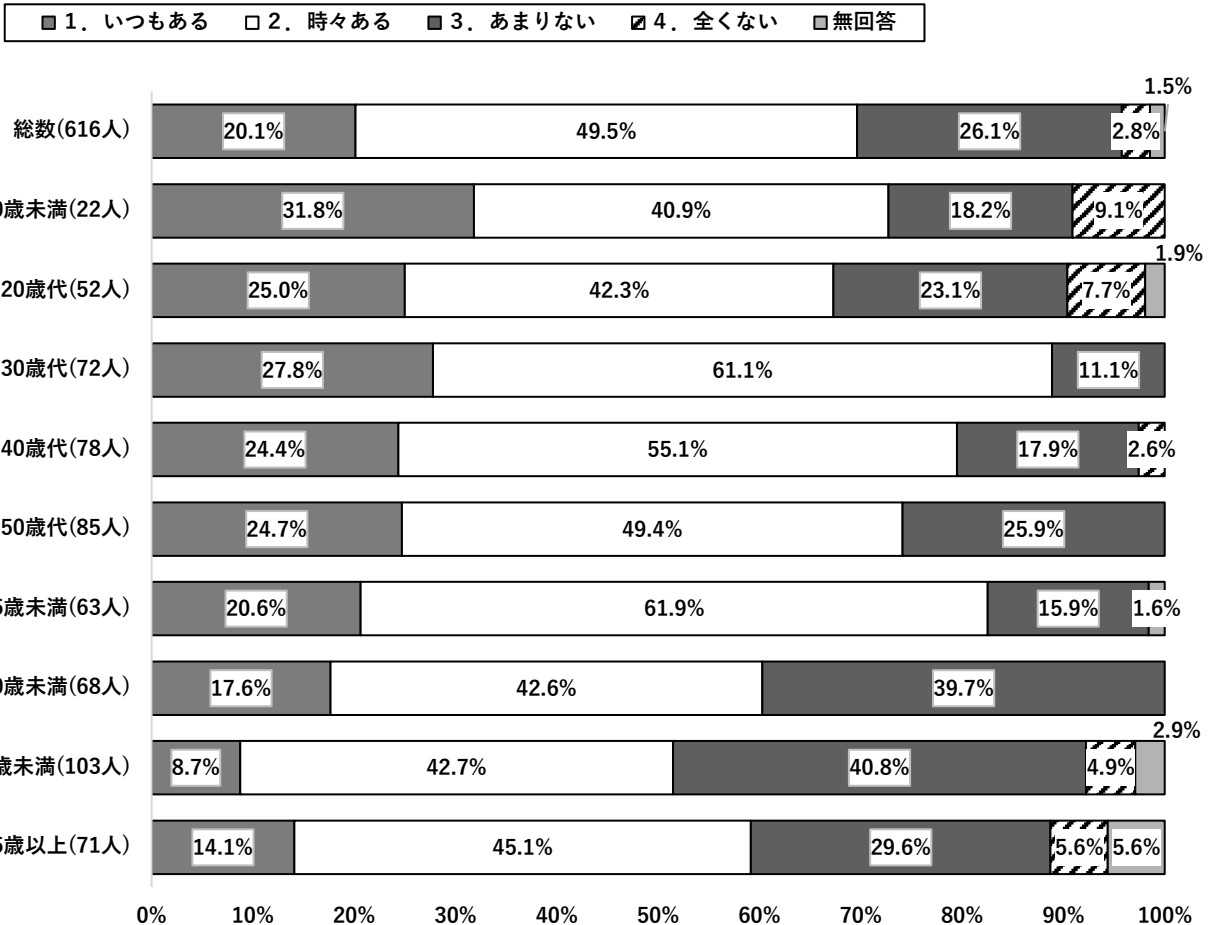
性別年齢層別の分析結果では、20歳代を除く各年代において、男性より女性の方が「いつもある」または「時々ある」と回答した割合が高くなっています。また、「いつもある」または「時々ある」と回答した割合は、男性では20歳代、女性では30歳代が最も多くなっています。それ以降年齢層が高くなるにつれ、「いつもある」または「時々ある」と回答した割合が減少する傾向にあります。

悩みやストレス（性別年齢層別）

男性



女性



沖縄県のデータと比較すると、男女ともに概ねどの年齢層でも「いつもある」と回答する割合が沖縄県のデータを上回っています。特に 20 歳代未満に関しては、「いつもある」と回答している割合について、男性は沖縄県のデータを下回っている一方で、女性は沖縄県のデータを大きく上回っています。

悩みやストレス（沖縄県との比較）

		20 歳代未満		20 歳代		30 歳代		40 歳代		50 歳代		60 歳代	
		嘉手納町	沖縄県	嘉手納町	沖縄県	嘉手納町	沖縄県	嘉手納町	沖縄県	嘉手納町	沖縄県	嘉手納町	沖縄県
男性	総回答実数	27 人		29 人		25 人		49 人		70 人		114 人	
	いつもある	7.4%	11.8%	17.2%	13.8%	28.0%	18.8%	16.3%	12.7%	28.6%	17.0%	12.3%	5.7%
	時々ある	40.7%	41.2%	65.5%	69.0%	52.0%	40.6%	53.1%	54.5%	45.7%	45.3%	43.9%	33.0%
	あまりない	25.9%	29.4%	17.2%	13.8%	20.0%	37.5%	24.5%	25.5%	22.9%	32.1%	36.8%	45.5%
	全くない	25.9%	17.6%	0.0%	3.4%	0.0%	3.1%	6.1%	7.3%	2.9%	5.7%	7.0%	15.9%
女性	総回答実数	22 人		51 人		72 人		78 人		85 人		130 人	
	いつもある	31.8%	8.3%	25.5%	21.1%	27.8%	24.6%	24.4%	25.4%	24.7%	19.2%	19.2%	11.6%
	時々ある	40.9%	66.7%	43.1%	44.7%	61.1%	44.3%	55.1%	55.2%	49.4%	49.3%	52.3%	40.7%
	あまりない	18.2%	25.0%	23.5%	28.9%	11.1%	31.1%	17.9%	17.9%	25.9%	28.8%	28.5%	45.3%
	全くない	9.1%	0.0%	7.8%	5.3%	0.0%	0.0%	2.6%	1.5%	0.0%	2.7%	0.0%	2.3%

(5) 悩みやストレスの内容（複数回答）

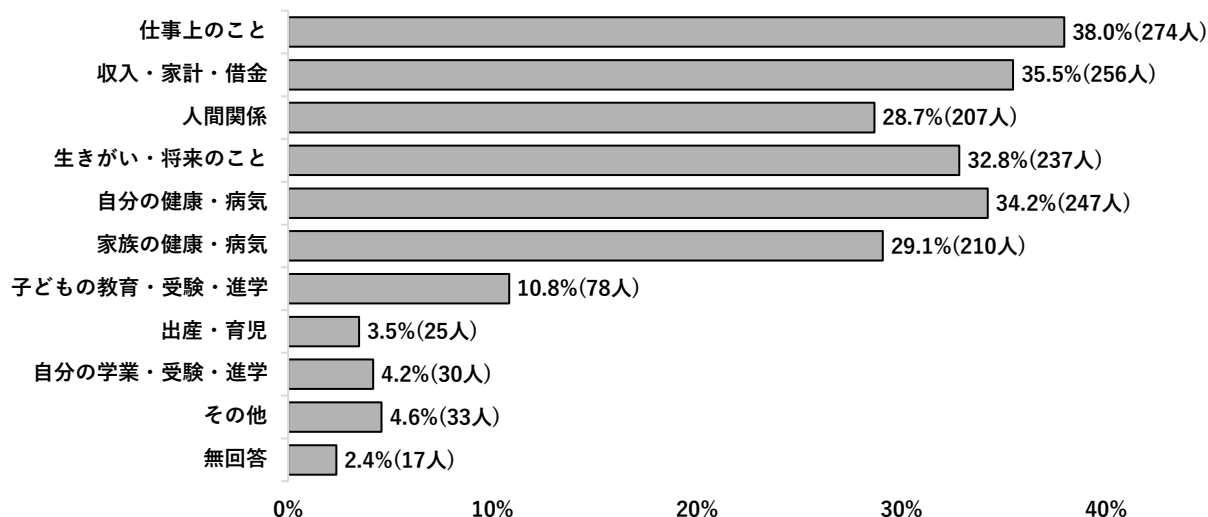
問 51-1. どういうことで悩みやストレスを感じる人が多いですか。（問 51 で「1.」又は「2.」と答えた人）

「仕事上のこと」が 38.0%

悩みやストレスの内容については、「仕事上のこと」が 38.0%と最も高く、次に「収入・家計・借金」が 35.5%、「自分の健康・病気」が 34.2%となります。

※複数回答につき、割合の合計が 100%を超える場合があります。

悩みやストレスの内容（1,098 人）



性別年齢層別の分析結果では、男女とも 20 歳代から 65 歳未満まで「仕事上の事」または「収入・家計・借金」と回答した割合が高くなっています。65 歳以降は男女とも「自分の健康・病気」「生きがい・将来の事」の割合が高くなり、女性では「家族の健康・病気」の割合も高くなります。

悩みやストレスの内容（性別年齢層別）

【男性】	総数	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳～65歳未満	65歳～70歳未満	70歳～75歳未満	75歳以上
総回答数	279	13	24	20	34	52	32	32	44	26
仕事上のこと	42.7%	15.4%	58.3%	65.0%	61.8%	71.2%	43.8%	25.0%	18.2%	3.8%
収入・家計・借金	34.8%	7.7%	25.0%	35.0%	41.2%	36.5%	56.3%	37.5%	22.7%	34.6%
人間関係	26.9%	23.1%	8.3%	25.0%	32.4%	32.7%	15.6%	31.3%	34.1%	19.2%
生きがい・将来のこと	32.3%	30.8%	25.0%	25.0%	32.4%	25.0%	28.1%	37.5%	38.6%	50.0%
自分の健康・病気	36.9%	0.0%	16.7%	15.0%	20.6%	32.7%	43.8%	53.1%	54.5%	61.5%
家族の健康・病気	22.9%	0.0%	8.3%	10.0%	11.8%	17.3%	34.4%	31.3%	38.6%	30.8%
子どもの教育・受験・進学	6.5%	15.4%	4.2%	25.0%	14.7%	5.8%	0.0%	3.1%	2.3%	0.0%
出産・育児	0.7%	0.0%	0.0%	5.0%	2.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
自分の学業・受験・進学	4.3%	46.2%	20.8%	0.0%	2.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他	5.0%	23.1%	0.0%	0.0%	2.9%	5.8%	0.0%	9.4%	4.5%	7.7%
無回答	1.4%	0.0%	4.2%	5.0%	0.0%	1.9%	0.0%	0.0%	0.0%	3.8%

【女性】	総数	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳～65歳未満	65歳～70歳未満	70歳～75歳未満	75歳以上
総回答数	429	16	35	64	62	63	52	41	53	42
仕事上のこと	35.0%	0.0%	54.3%	50.0%	53.2%	38.1%	42.3%	17.1%	18.9%	7.1%
収入・家計・借金	35.9%	6.3%	37.1%	46.9%	46.8%	42.9%	30.8%	41.5%	24.5%	19.0%
人間関係	28.7%	37.5%	40.0%	17.2%	22.6%	31.7%	30.8%	24.4%	32.1%	35.7%
生きがい・将来のこと	33.1%	50.0%	31.4%	21.9%	24.2%	28.6%	36.5%	41.5%	43.4%	40.5%
自分の健康・病気	32.6%	0.0%	14.3%	14.1%	19.4%	28.6%	42.3%	41.5%	60.4%	59.5%
家族の健康・病気	32.9%	6.3%	8.6%	26.6%	25.8%	33.3%	34.6%	48.8%	52.8%	38.1%
子どもの教育・受験・進学	13.5%	0.0%	2.9%	37.5%	37.1%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	2.4%
出産・育児	4.9%	0.0%	8.6%	23.4%	3.2%	1.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
自分の学業・受験・進学	3.7%	75.0%	8.6%	1.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他	4.4%	0.0%	5.7%	0.0%	6.5%	3.2%	9.6%	4.9%	1.9%	7.1%
無回答	3.0%	6.3%	0.0%	4.7%	0.0%	4.8%	1.9%	4.9%	5.7%	0.0%

沖縄県のデータと比較すると、男性では「自分の健康・病気」と回答した割合が、20歳代未満を除くすべての年代で沖縄県よりも高くなっています。また、男性は40歳代以降で、女性はすべての年代において「収入・家計・借金」と回答した割合が沖縄県よりも高くなっていました。

悩みやストレスの内容（沖縄県との比較）

		20歳代未満		20歳代		30歳代		40歳代		50歳代		60歳代	
		嘉手納町	沖縄県	嘉手納町	沖縄県	嘉手納町	沖縄県	嘉手納町	沖縄県	嘉手納町	沖縄県	嘉手納町	沖縄県
男性	総回答実数	13人		23人		19人		34人		51人		64人	
	仕事上的こと	15.4%	11.1%	60.9%	75.0%	68.4%	94.7%	61.8%	83.3%	72.5%	78.8%	34.4%	55.9%
	収入・家計・借金	7.7%	0.0%	26.1%	37.5%	36.8%	47.4%	41.2%	38.9%	37.3%	24.2%	46.9%	32.4%
	人間関係	23.1%	55.6%	8.7%	25.0%	26.3%	31.6%	32.4%	47.2%	33.3%	33.3%	23.4%	23.5%
	生きがい・将来のこと	30.8%	55.6%	26.1%	33.3%	26.3%	21.1%	32.4%	27.8%	25.5%	15.2%	32.8%	23.5%
	自分の健康・病気	0.0%	0.0%	17.4%	12.5%	15.8%	10.5%	20.6%	13.9%	33.3%	24.2%	48.4%	44.1%
	家族の健康・病気	0.0%	11.1%	8.7%	4.2%	10.5%	0.0%	11.8%	8.3%	17.6%	21.2%	32.8%	20.6%
	子どもの教育・受験・進学	15.4%	0.0%	4.3%	4.2%	26.3%	10.5%	14.7%	25.0%	5.9%	3.0%	1.6%	0.0%
	出産・育児	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	5.3%	0.0%	2.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	自分の学業・受験・進学	46.2%	66.7%	21.7%	8.3%	0.0%	5.3%	2.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他	23.1%	11.1%	0.0%	4.2%	0.0%	5.3%	2.9%	0.0%	5.9%	0.0%	4.7%	2.9%
女性	総回答実数	15人		35人		61人		62人		60人		90人	
	仕事上的こと	0.0%	11.1%	54.3%	60.0%	52.5%	69.0%	53.2%	64.8%	40.0%	44.9%	32.2%	26.7%
	収入・家計・借金	6.7%	11.1%	37.1%	28.0%	49.2%	38.1%	46.8%	33.3%	45.0%	26.5%	36.7%	17.8%
	人間関係	40.0%	55.6%	40.0%	44.0%	18.0%	31.0%	22.6%	38.9%	33.3%	32.7%	28.9%	48.9%
	生きがい・将来のこと	53.3%	66.7%	31.4%	40.0%	23.0%	35.7%	24.2%	33.3%	30.0%	28.6%	40.0%	37.8%
	自分の健康・病気	0.0%	11.1%	14.3%	20.0%	14.8%	19.0%	19.4%	18.5%	30.0%	44.9%	43.3%	44.4%
	家族の健康・病気	6.7%	0.0%	8.6%	0.0%	27.9%	19.0%	25.8%	22.2%	35.0%	44.9%	42.2%	44.4%
	子どもの教育・受験・進学	0.0%	0.0%	2.9%	0.0%	39.3%	19.0%	37.1%	24.1%	15.0%	12.2%	0.0%	0.0%
	出産・育児	0.0%	0.0%	8.6%	12.0%	24.6%	16.7%	3.2%	7.4%	1.7%	0.0%	0.0%	0.0%
	自分の学業・受験・進学	80.0%	77.8%	8.6%	12.0%	1.6%	4.8%	0.0%	1.9%	0.0%	0.0%	0.0%	2.2%
	その他	0.0%	0.0%	5.7%	0.0%	0.0%	2.4%	6.5%	9.3%	3.3%	2.0%	7.8%	4.4%

(6) 周りにいる人 (単一回答)

問 52. あなたのまわりには次のような人はいますか。

- ①会うと心が落ち着き安心できる人
- ②個人的な気持ちや悩みを打ち明けることができる人
- ③お互いの考えや将来のことなどを話し合う事のできる人
- ④あなたの行動や考えを理解し、応援してくれる人

①～④のいずれも「いる」が 70%以上

周りにいる人については、①～④のいずれも「いる」が 70%以上と高い状況です。特に「④あなたの行動や考えを理解し、応援してくれる人」について「いる」と回答した割合は 80.5%と最も高く、次いで「①会うと心が落ち着き安心できる人」について「いる」と回答した割合が 78.3%になります。

周りにいる人 (1,098 人)

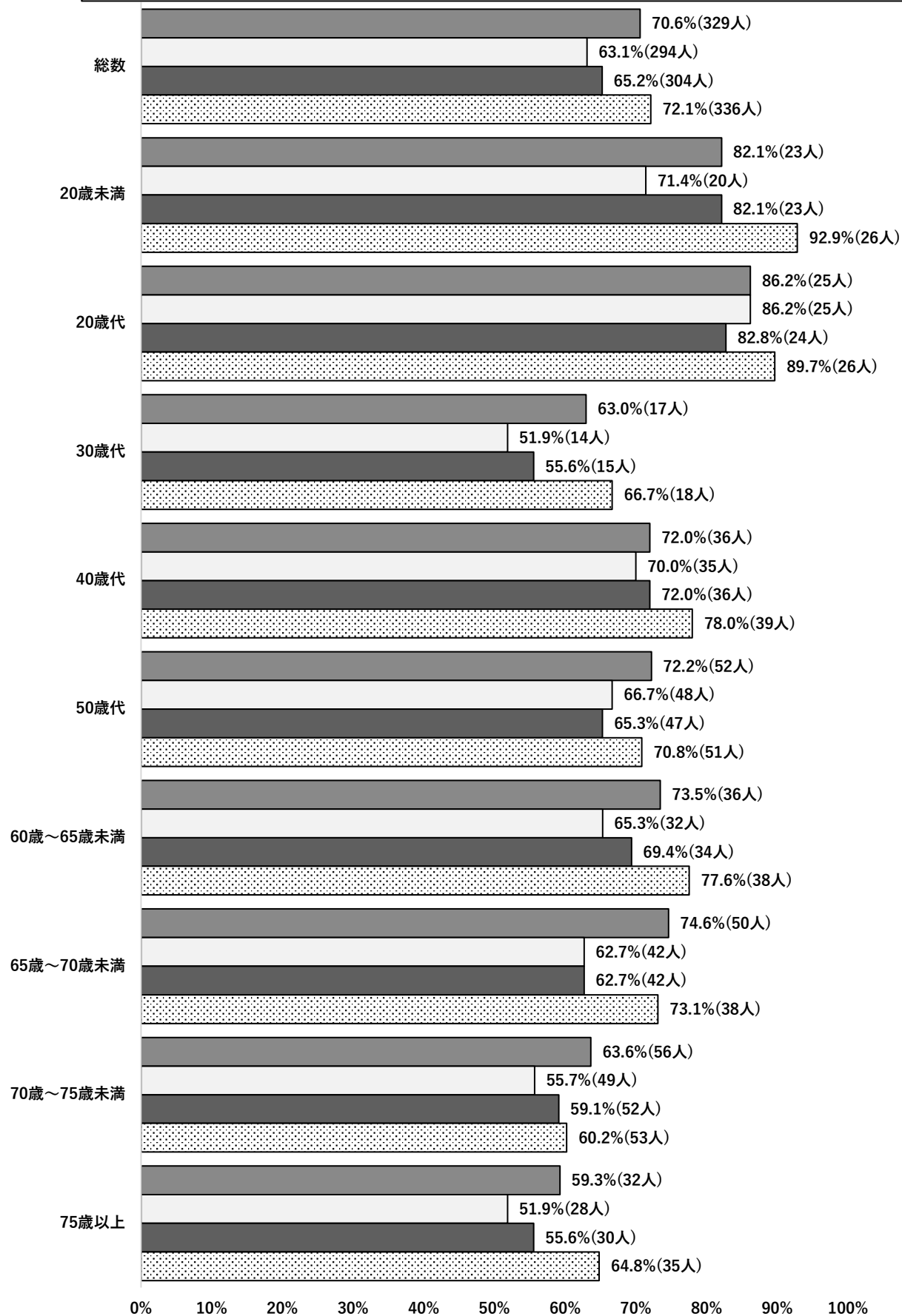
選択肢	いる	いない
①会うと心が落ち着き安心できる人	78.3% (860 人)	17.9% (197 人)
②個人的な気持ちや悩みを打ち明けることができる人	74.8% (821 人)	21.2% (233 人)
③お互いの考えや将来のことなどを話し合う事のできる人	74.8% (821 人)	20.9% (229 人)
④あなたの行動や考えを理解し、応援してくれる人	80.5% (884 人)	14.8% (163 人)

性別年齢層別の分析結果では、①～④のいずれも、「いる」と回答した人の割合はすべての年代において男性より女性の方が高くなっています。また、女性のすべての年代と、男性の 20 歳代以下では 7 割～8 割の人が「いる」と回答していますが、男性は 30 歳代で「いる」と回答した割合が 5 割～6 割に低下し、その後も 6 割～7 割で推移し、男女とも年齢層が高くなるにつれ低くなる傾向があります。

周りにいる人（性別年齢層別）

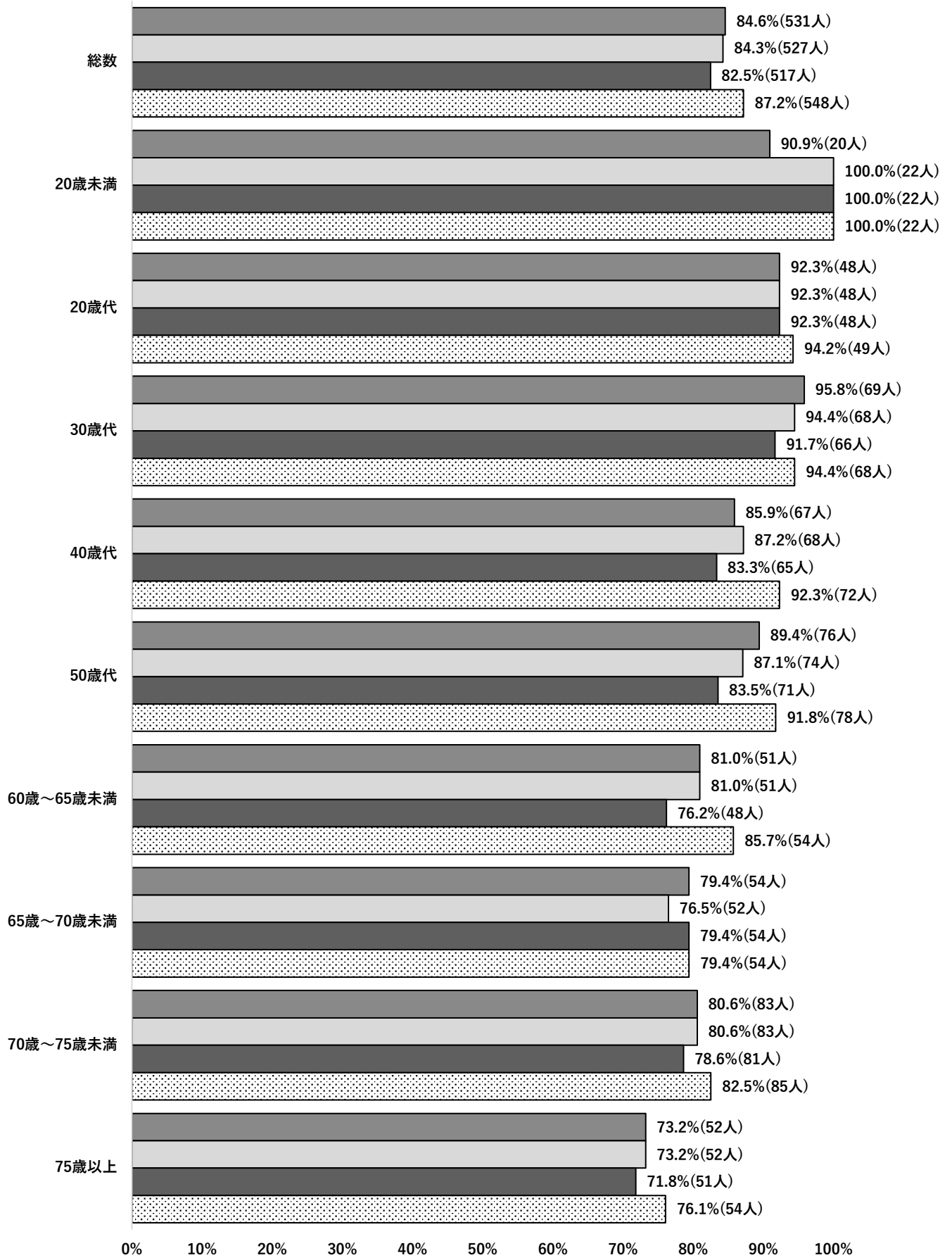
男性

- | | |
|------------------------------|----------------------------|
| ■ ①会うと心が落ち着き安心できる人 | □ ②個人的な気持ちや悩みを打ち明けることができる人 |
| ■ ③お互いの考えや将来のことなどを話し合う事の出来る人 | ▨ ④あなたの行動や考えを理解し、応援してくれる人 |



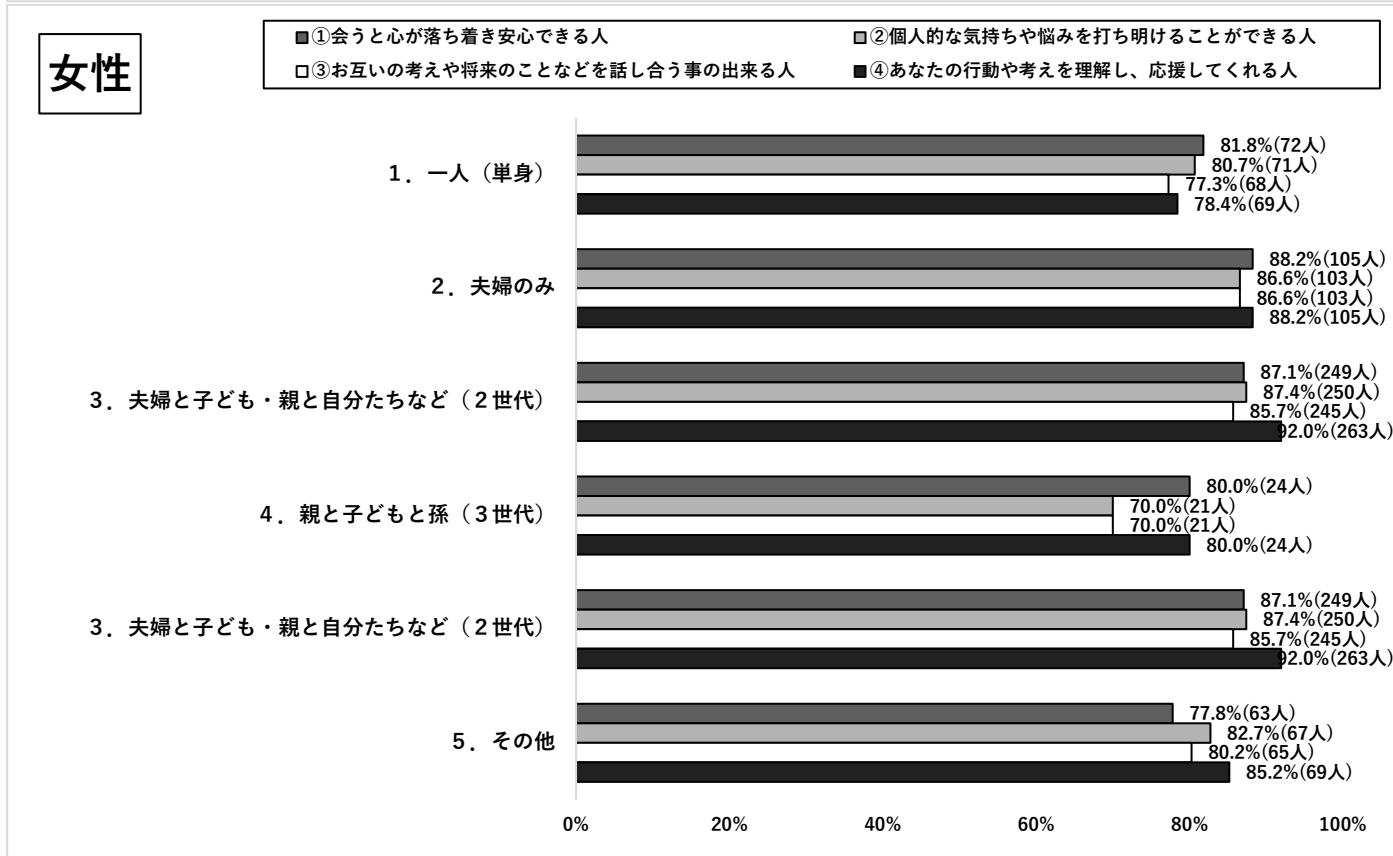
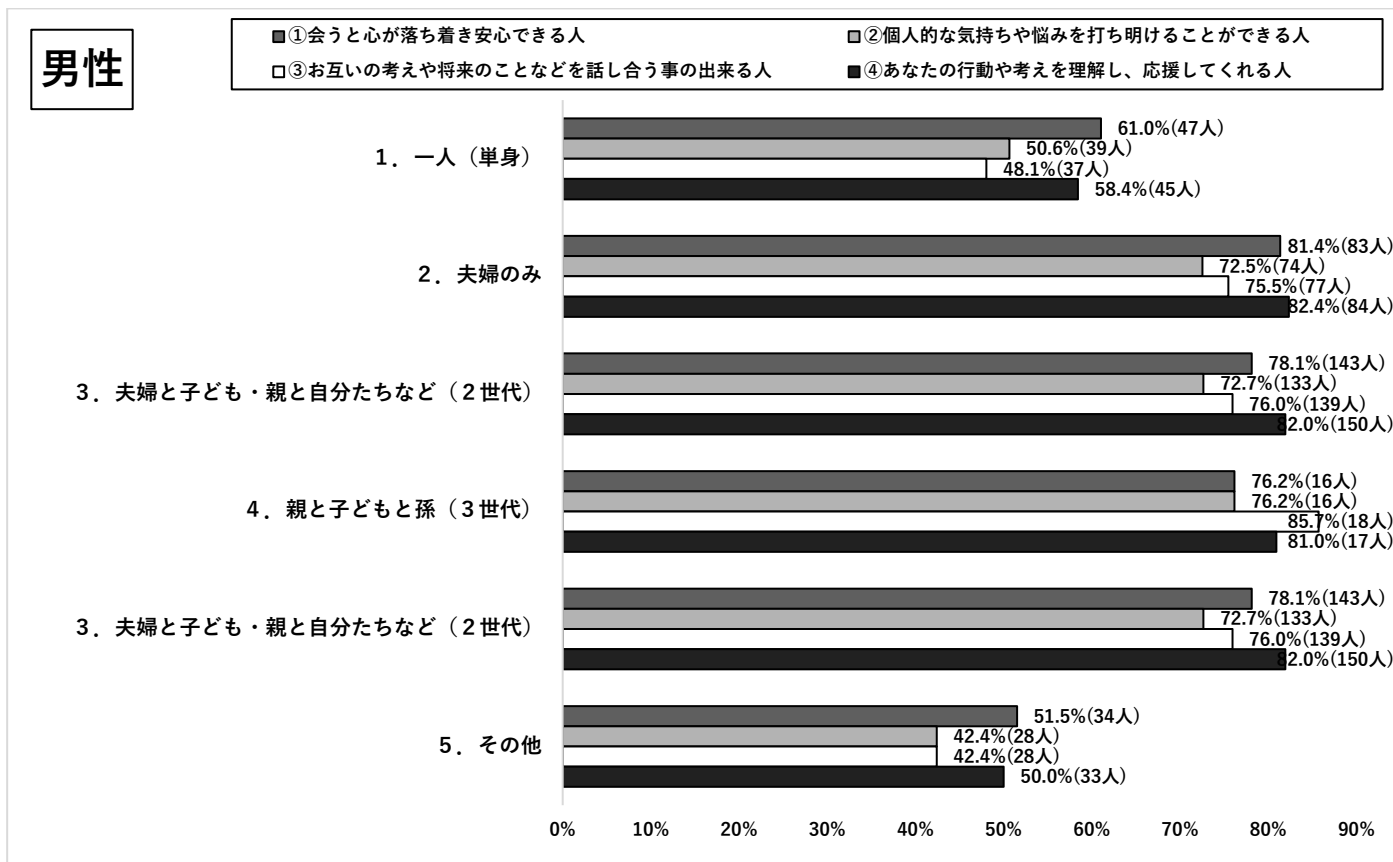
女性

- ①会うと心が落ち着き安心できる人
- ②個人的な気持ちや悩みを打ち明けることができる人
- ③お互いの考えや将来のことなどを話し合う事の出来る人
- ④あなたの行動や考えを理解し、応援してくれる人



性別世帯構成別の分析では、一人（単身）で生活している人はそうでない人に比べて、周りで支えてくれる人の存在が少ない結果になっています。また、同じ一人（単身）で生活している人でも、男性よりも女性の方が全ての項目で支えてくれる人がおおくなっています。

周りの人について（性別世帯構成別）



なお、参考となる沖縄県の調査結果は下記の通りです。（選択肢内容が異なるため厳密な比較はできないことにご留意ください。）

参考：周りにいる人（沖縄県調査結果）

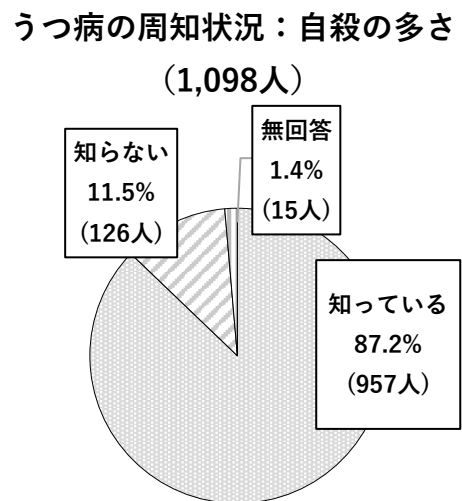
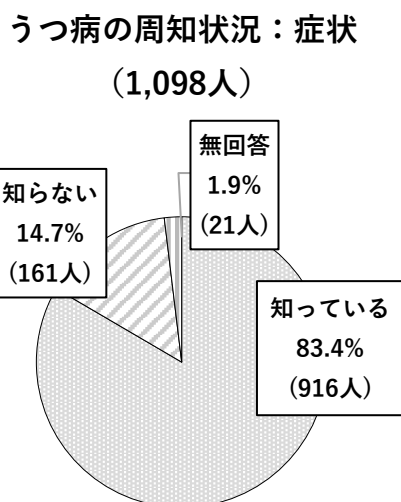
		総数		15～19歳		20～29歳		30～39歳		40～49歳		50～59歳		60～69歳		70歳以上	
		人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
男性	総数	193	-	8	-	24	-	19	-	36	-	33	-	34	-	39	-
	安心できる人	147	76.2	8	100	19	79.2	17	89.5	26	72.2	26	78.8	26	76.5	25	64.1
	悩みを相談できる人	136	70.5	7	87.5	18	75.0	17	89.5	28	77.8	22	66.7	21	61.8	23	59.0
	話し合うことのできる人	143	74.1	6	75.0	18	75.0	17	89.5	29	80.6	24	72.7	24	70.6	25	64.1
	支持してくれている人	150	77.7	8	100	21	87.5	16	84.2	28	77.8	24	72.7	28	82.4	25	64.1
女性	総数	275	-	9	-	25	-	42	-	54	-	50	-	44	-	51	-
	安心できる人	224	81.5	8	88.9	20	80.0	34	81.0	47	87.0	40	80.0	34	77.3	41	80.4
	悩みを相談できる人	210	76.4	7	77.8	19	76.0	32	76.2	43	79.6	39	78.0	33	75.0	37	72.5
	話し合うことのできる人	211	76.7	8	88.9	19	76.0	31	73.8	42	77.8	40	80.0	33	75.0	38	74.5
	支持してくれている人	226	82.2	8	88.9	22	88.0	38	90.5	46	85.2	41	82.0	34	77.3	37	72.5

(7) うつ病の周知状況（単一回答）

問 53. うつ病の症状を知っていますか。
 問 54. うつ病の方の自殺が多いことを知っていますか。

症状を「知っている」が 83.4%
 自殺が多いことを「知っている」が 87.2%

うつ病の症状については、「知っている」が 83.4%であり、「知らない」が 14.7%となります。
 また、うつ病の方の自殺が多いことについては、「知っている」が 87.2%であり、「知らない」が 11.5%となります。
 うつ病の症状よりもうつ病患者の自殺行動の認知度の方が高い状況となっています。

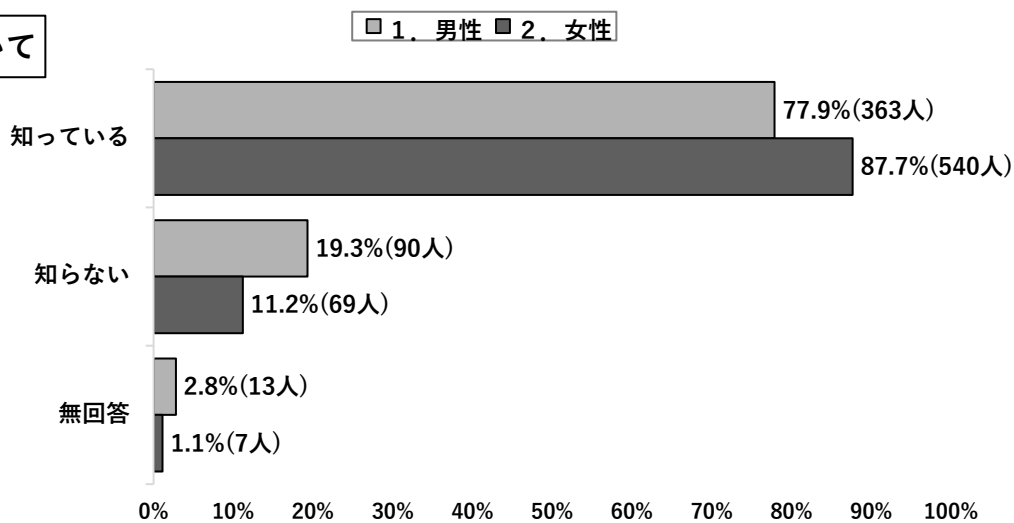


性別にみると、うつ病の症状を「知っている」は、「男性」が 77.9%、「女性」が 87.7%で、「女性」の方が認知度が高くなっています。

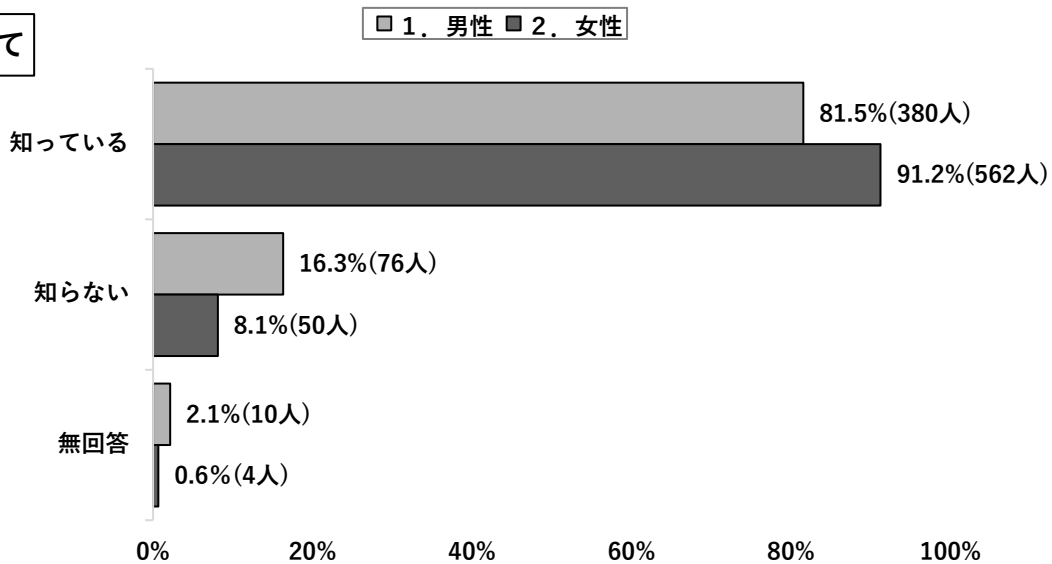
また、うつ病の方の自殺が多いことを「知っている」も、「男性」が 81.5%、「女性」が 91.2%で、「女性」の方が高くなっています。

うつ病の周知状況（性別）

症状について



自殺について



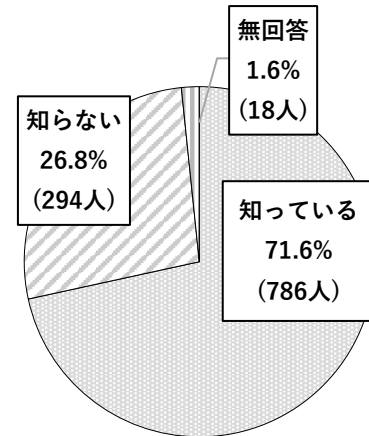
(8) 相談先<公的機関・医療機関>の周知状況 (単一回答)

問 55. 悩みやストレスを感じたとき、相談先として、公的な機関(町の窓口や保健所等)や専門の医療機関があることを知っていますか。

「知っている」が71.6%

悩みやストレスの相談先の周知状況について、「知っている」が71.6%であり、「知らない」が26.8%となります。

相談先の周知状況 (1,098人)

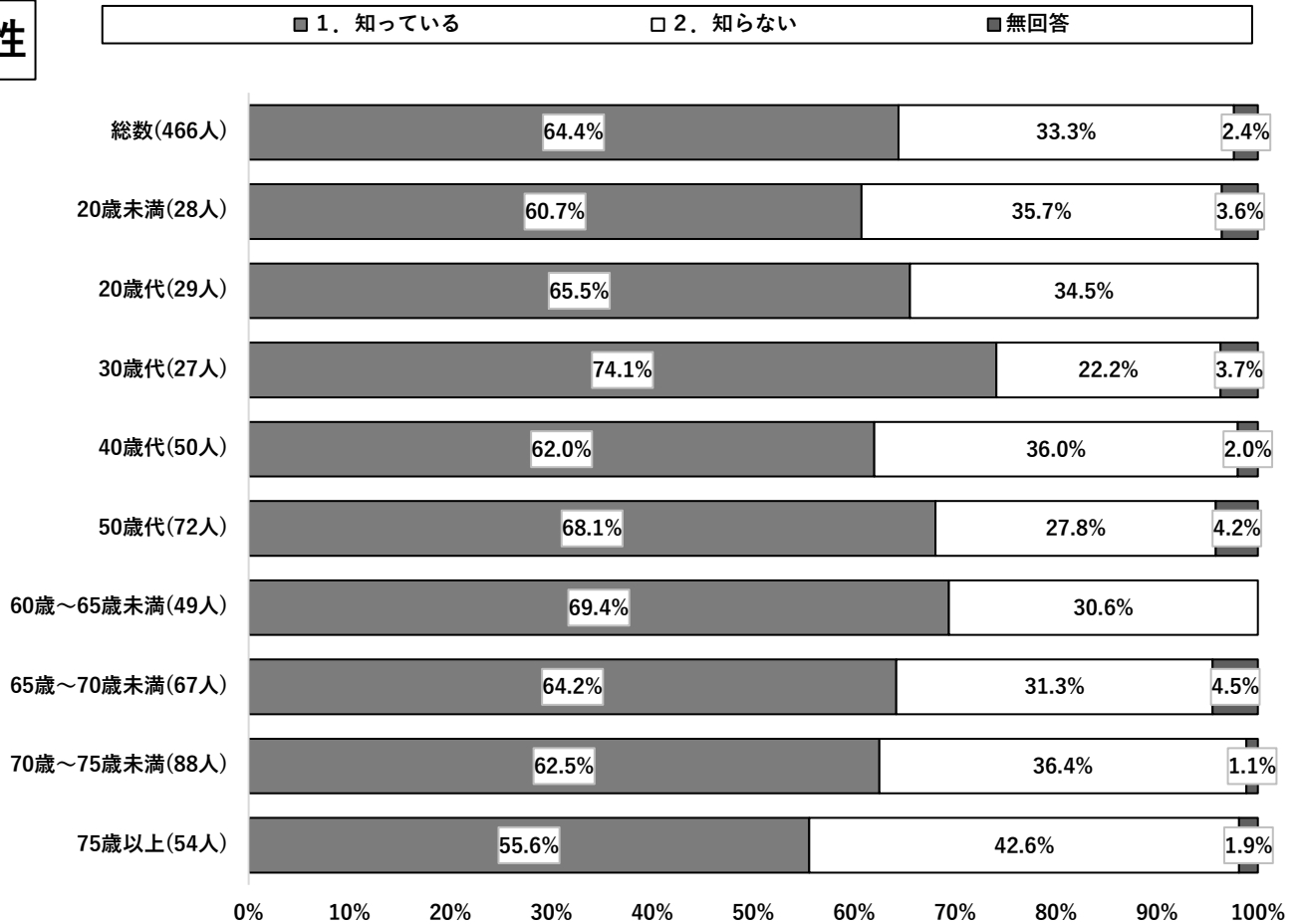


性別年齢層別の分析結果では、30歳代を除くすべての年代で男性より女性の方が「知っている」と回答した割合が高くなっています。

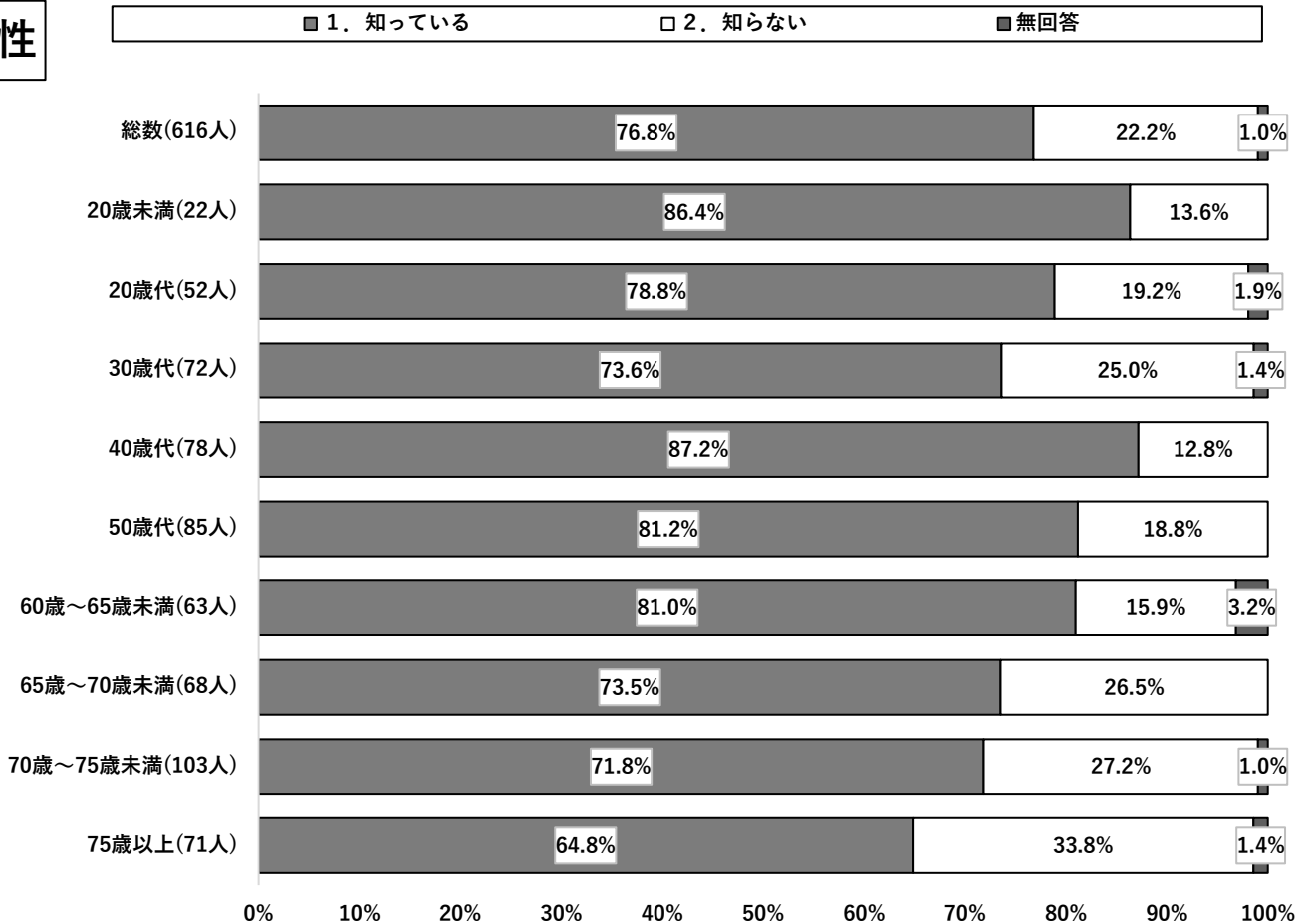
また、男性では75歳以上を除く全ての年代で、「知っている」と回答した人は男性で6割以上、女性で7割以上と高く、最も高かったのは男性の場合30歳代、女性の場合40歳代でした。男女とも60歳以降、年齢層が高くなるにつれ「知っている方」の割合が低下する傾向にあり、75歳以上で最も低くなっています。

相談先の周知状況（性別年齢層別）

男性



女性



8. 歯の健康について

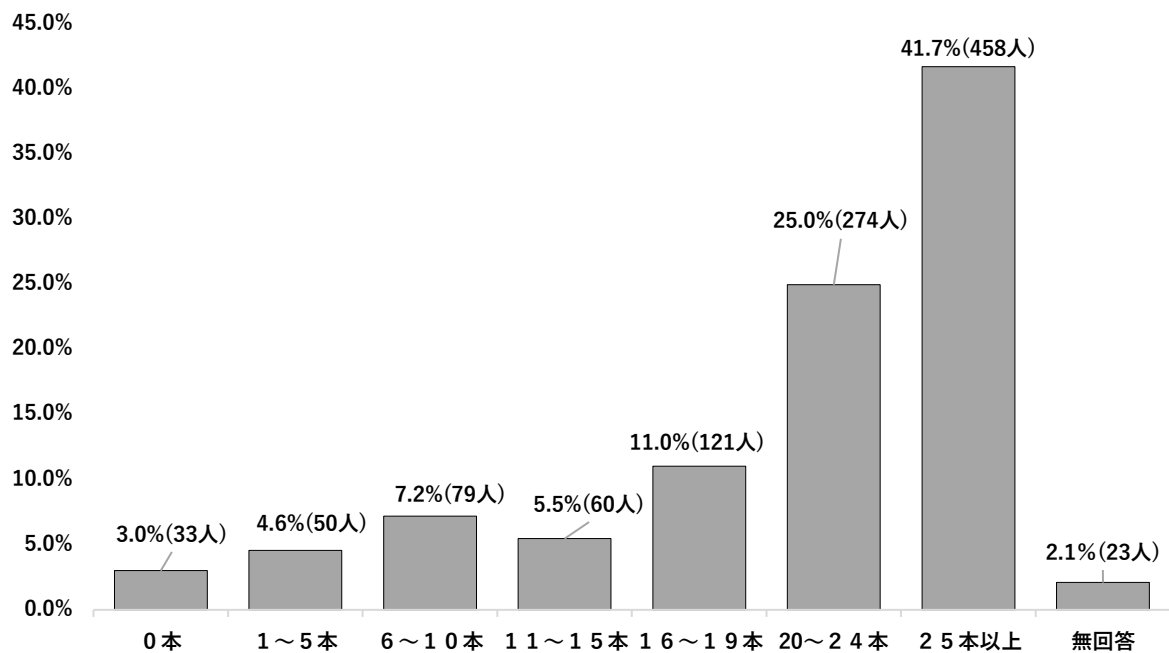
(1) 歯の本数（単一回答）

問 56. 歯は何本ありますか。（親知らずは含みません）

「25 本以上」が 41.7%

歯の本数については、「25 本以上」が 41.7%と最も高く、次に「20～24 本」が 25.0%、「16～19 本」が 11.0%となります。

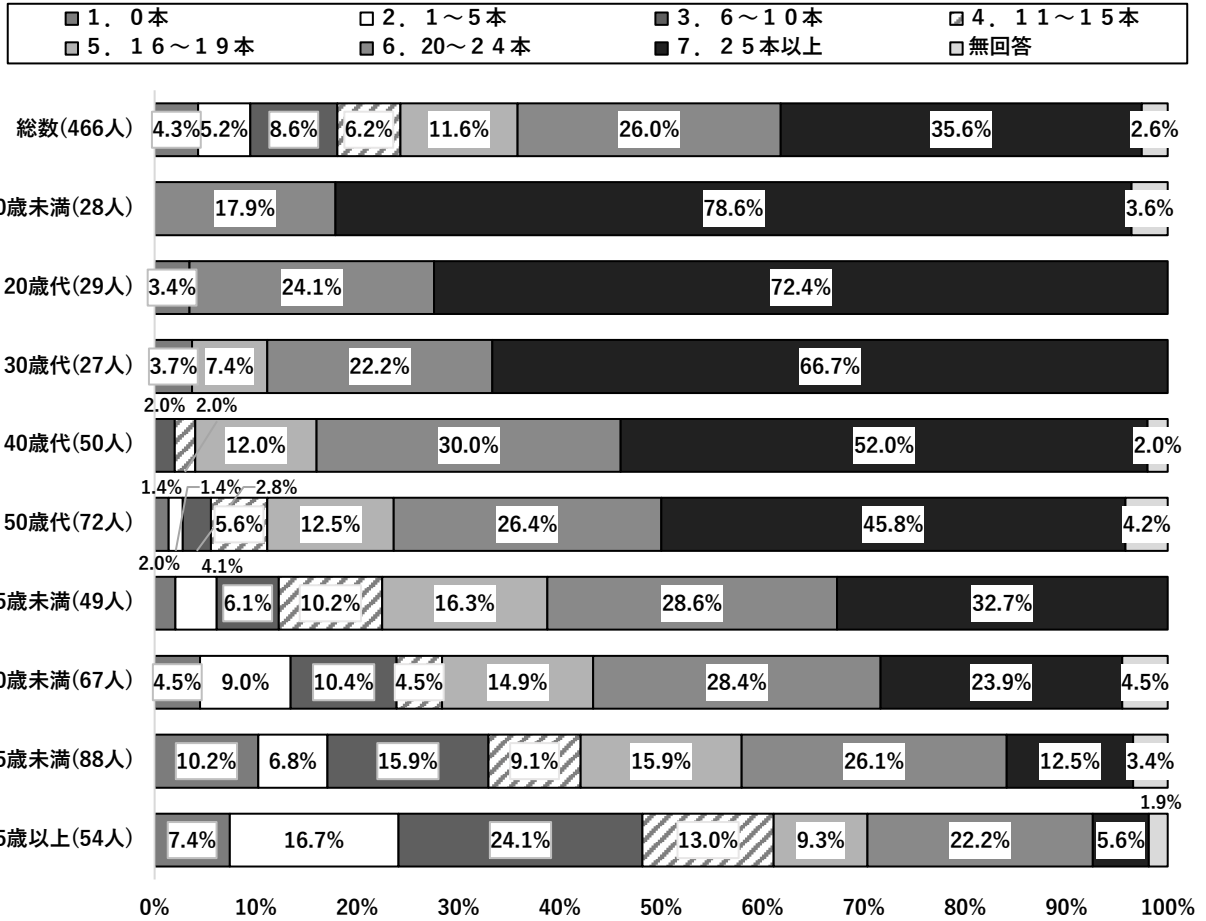
歯の本数（1,098 人）



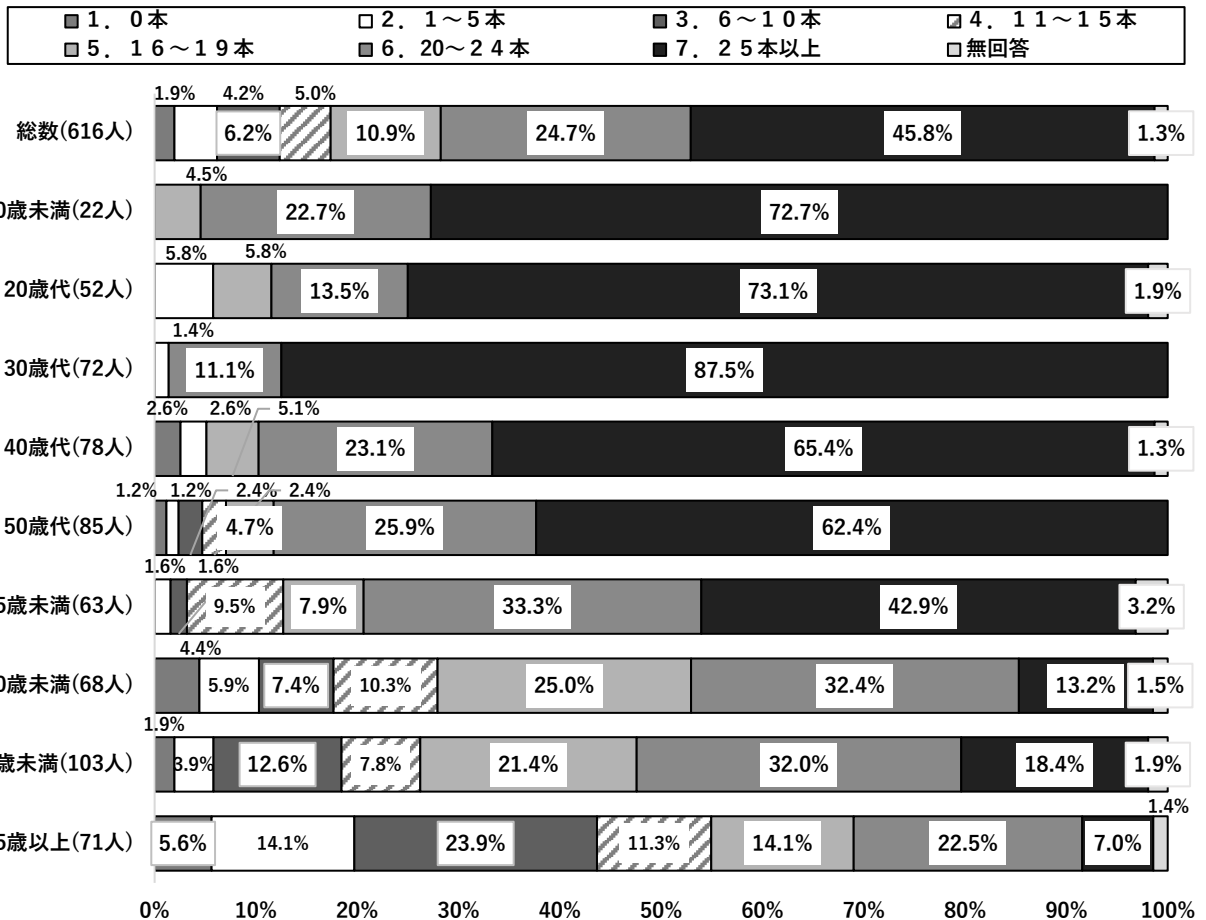
性別年齢層別の分析結果では、男性・女性ともに高齢になるにつれ歯の本数が減少する傾向にあります。ただし、男性では「25 本以上」と回答した割合は 20 歳未満が最も高いのに対し、女性では 30 歳代が最も高くなっています。

歯の本数（性別年齢層別）

男性



女性

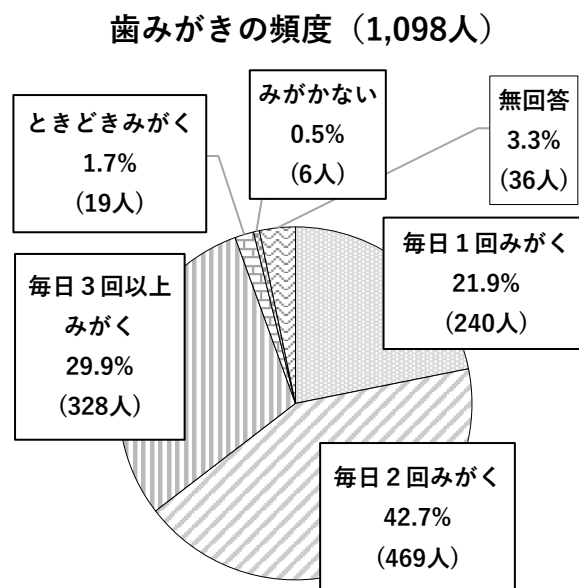


(2) 歯みがきの頻度 (単一回答)

問 57. 歯や入れ歯をみがきますか。

「毎日 2 回みがく」が 42.7%

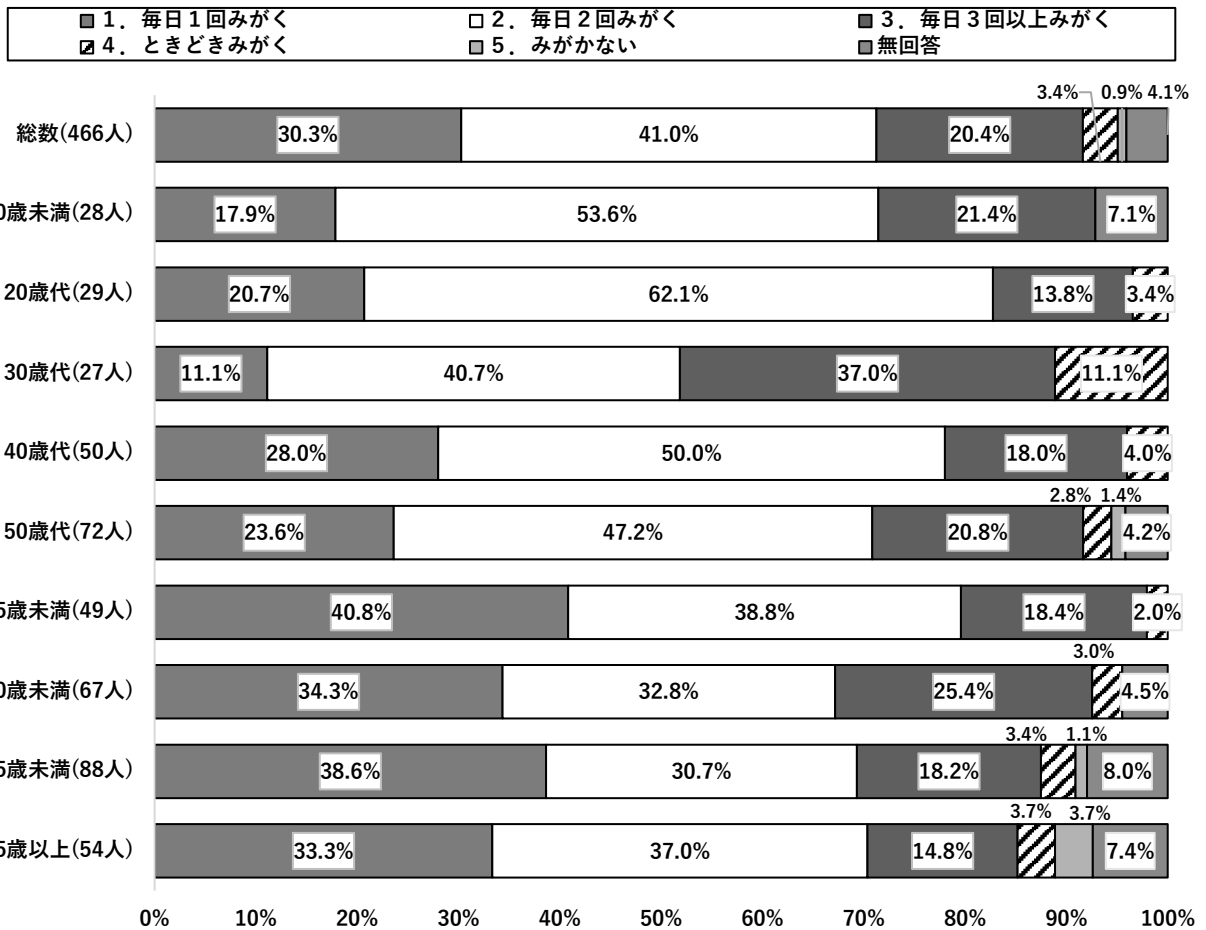
歯みがきの頻度については、「毎日 2 回みがく」が 42.7%と最も高く、次に「毎日 3 回以上みがく」が 29.9%、「毎日 1 回みがく」が 21.9%となります。



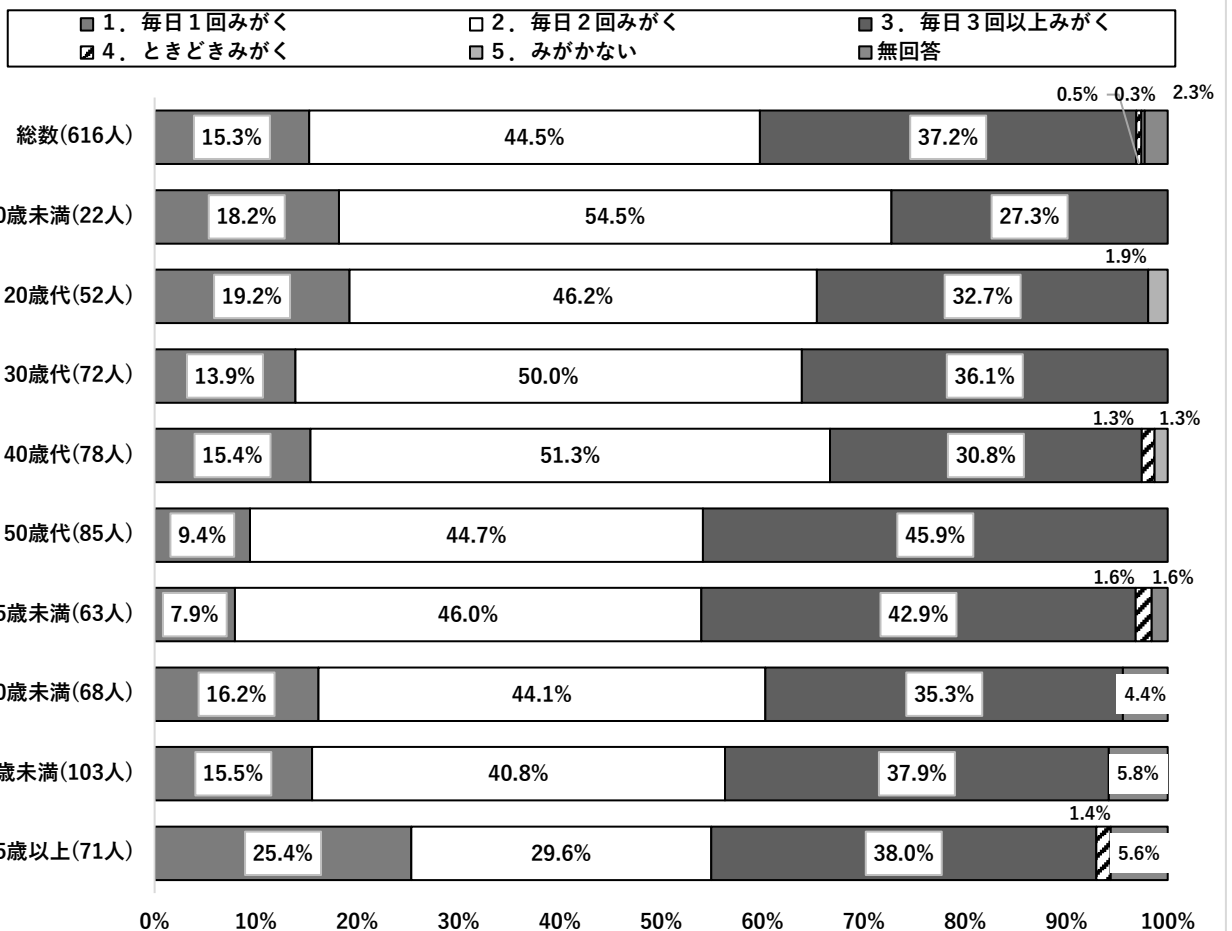
性別年齢層別の分析結果では、40 歳以上において女性より男性の方が、「毎日 2 回以上みがく」と回答した割合、「毎日 3 回以上みがく」と回答した割合が低くなっています。

歯みがきの頻度（性別年齢層別）

男性



女性



沖縄県のデータと比較すると、男性はいずれの年齢層においても「毎日3回以上みがく」割合が沖縄県のデータを上回っています。また、沖縄県・嘉手納町共に、概ね男性よりも女性の方が「毎日3回以上みがく」割合が高くなっています。

歯みがき（沖縄県との比較）

		20歳代未満		20歳代		30歳代		40歳代		50歳代		60歳代		70歳代	
		嘉手納町	沖縄県	嘉手納町	沖縄県	嘉手納町	沖縄県	嘉手納町	沖縄県	嘉手納町	沖縄県	嘉手納町	沖縄県	嘉手納町	沖縄県
男性	総回答実数	26人		29人		27人		50人		69人		113人		131人	
	毎日1回みがく	19.2%	17.6%	20.7%	16.7%	11.1%	31.3%	28.0%	31.6%	24.6%	32.1%	38.1%	30.8%	39.7%	33.3%
	毎日2回みがく	57.7%	70.6%	62.1%	60.0%	40.7%	53.1%	50.0%	49.1%	49.3%	50.9%	36.3%	44.0%	35.9%	44.9%
	毎日3回以上みがく	23.1%	11.8%	13.8%	13.3%	37.0%	12.5%	18.0%	14.0%	21.7%	15.1%	23.0%	22.0%	18.3%	17.4%
	ときどきみがく	0.0%	0.0%	3.4%	10.0%	11.1%	3.1%	4.0%	5.3%	2.9%	1.9%	2.7%	2.2%	3.8%	4.3%
	みがかない	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.4%	0.0%	0.0%	1.1%	2.3%	0.0%
女性	総回答実数	22人		52人		72人		78人		85人		127人		164人	
	毎日1回みがく	18.2%	16.7%	19.2%	21.1%	13.9%	21.7%	15.4%	20.9%	9.4%	13.7%	12.6%	17.2%	20.7%	12.7%
	毎日2回みがく	54.5%	41.7%	46.2%	52.6%	50.0%	36.7%	51.3%	41.8%	44.7%	46.6%	46.5%	40.2%	38.4%	39.4%
	毎日3回以上みがく	27.3%	41.7%	32.7%	26.3%	36.1%	36.7%	30.8%	37.3%	45.9%	39.7%	40.2%	42.5%	40.2%	46.5%
	ときどきみがく	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.3%	1.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.8%	0.0%	0.6%	1.4%
	みがかない	0.0%	0.0%	1.9%	0.0%	0.0%	1.7%	1.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

(3) 歯間ブラシやフロスの使用状況（単一回答）

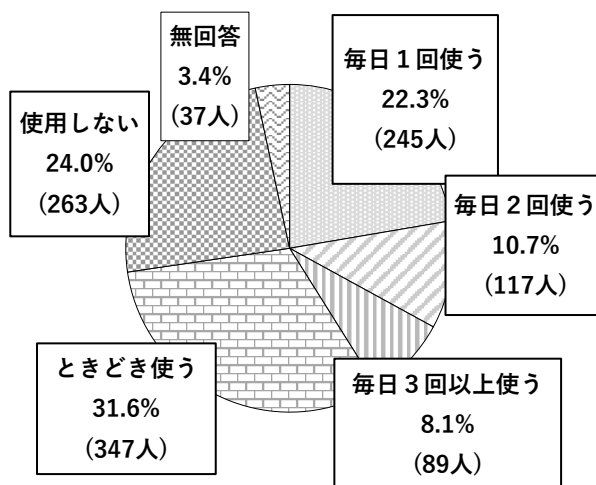
問 58. 歯や歯のすき間の手入れのために歯間ブラシやフロス（糸ようじ）などを使用していますか。

「ときどき使う」が31.6%

歯間ブラシやフロスの使用については、「ときどき使う」が31.6%と最も高く、次に「使用しない」が24.0%、「毎日1回使う」が22.3%となります。

性別年齢層別の分析結果では、いずれの年代においても「使用しない」と回答した人の割合は男性（37.1%）の方が女性（14.1%）より高く、20歳以上では2倍から3倍程度の差があります。「使う」と答えた人の合計の割合は、男性では30歳代が最も高く、女性では50歳代が最も高くなっています。

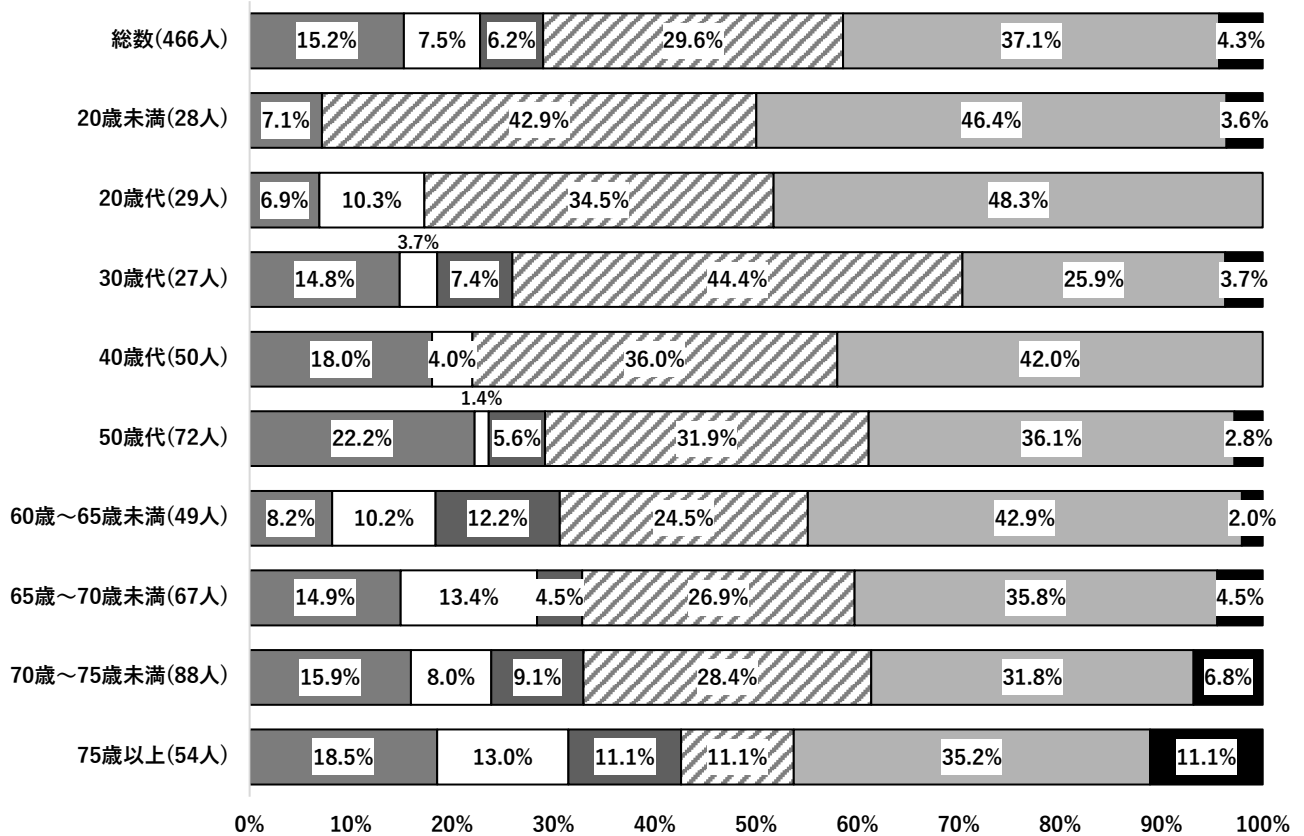
歯間ブラシやフロスの使用状況 (1,098人)



歯間ブラシやフロスの使用状況（性別年齢層別）

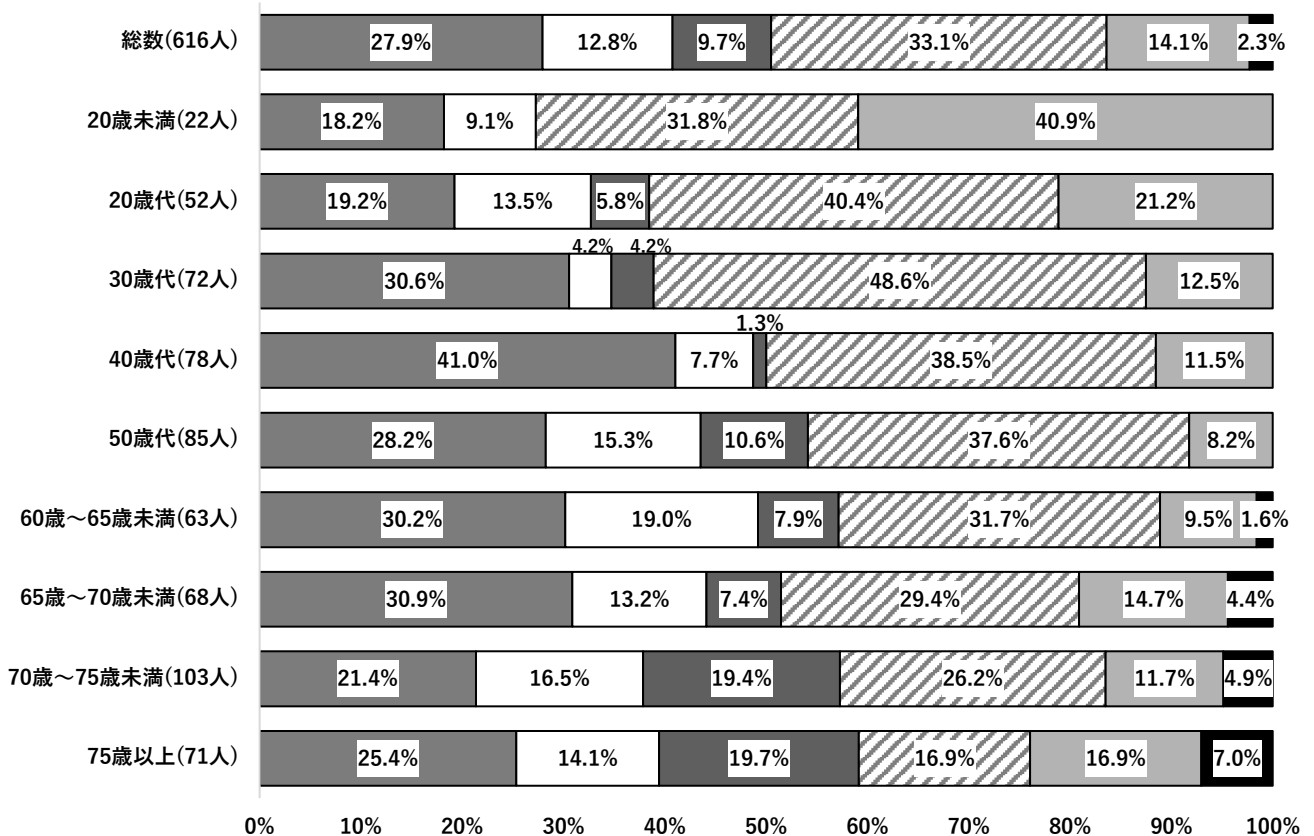
男性

■ 1. 毎日1回使う □ 2. 毎日2回使う ■ 3. 毎日3回以上使う □ 4. とまどき使う □ 5. 使用しない ■ 無回答



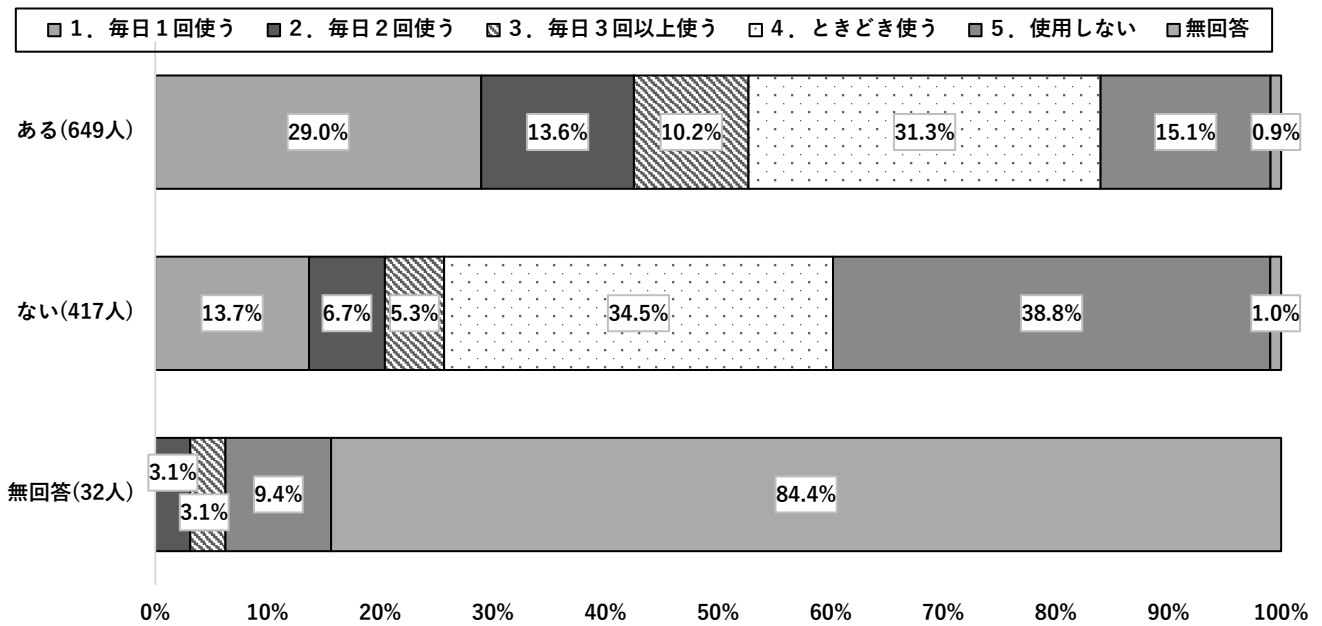
女性

■ 1. 毎日1回使う □ 2. 毎日2回使う ■ 3. 毎日3回以上使う □ 4. とまどき使う □ 5. 使用しない ■ 無回答



歯科検診の有無別にみると、歯科検診を受けたことが「ない」人は「ある」人より歯間ブラシやフロスを「使用しない」割合が高くなっています。また、歯科検診を受けたことが「ある」人の 52.7%は毎日 1 回以上歯間ブラシやフロスを使用しており、「ない」人の 2 倍以上の割合となっています。

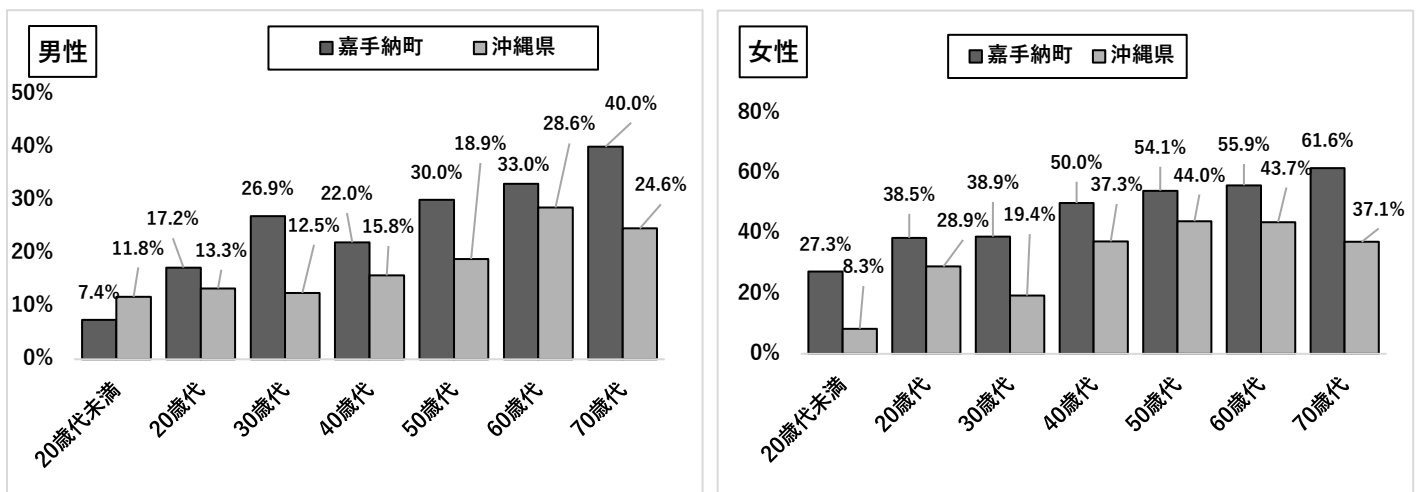
歯間ブラシやフロスの使用状況（歯科健診受診別）



沖縄県のデータと比較すると、「毎日使う」の割合は、男性の 20 歳代未満を除き、男女ともいずれの年齢層においても沖縄県のデータを上回っています。

※「毎日使う」は、「毎日1日使う」、「毎日2日使う」、「毎日3日使う」を合計した数値としています。

歯間ブラシやフロスの使用状況（「毎日使う」のみ、沖縄県との比較）

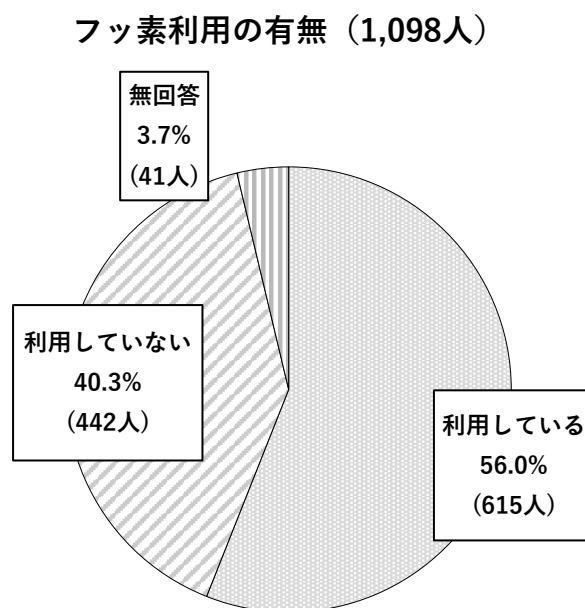


(4) フッ素（フッ化物）利用の有無（単一回答）

問 59. フッ素（フッ化物）を利用（歯みがき剤、塗布、洗口等）していますか。

「利用している」が 56.0%

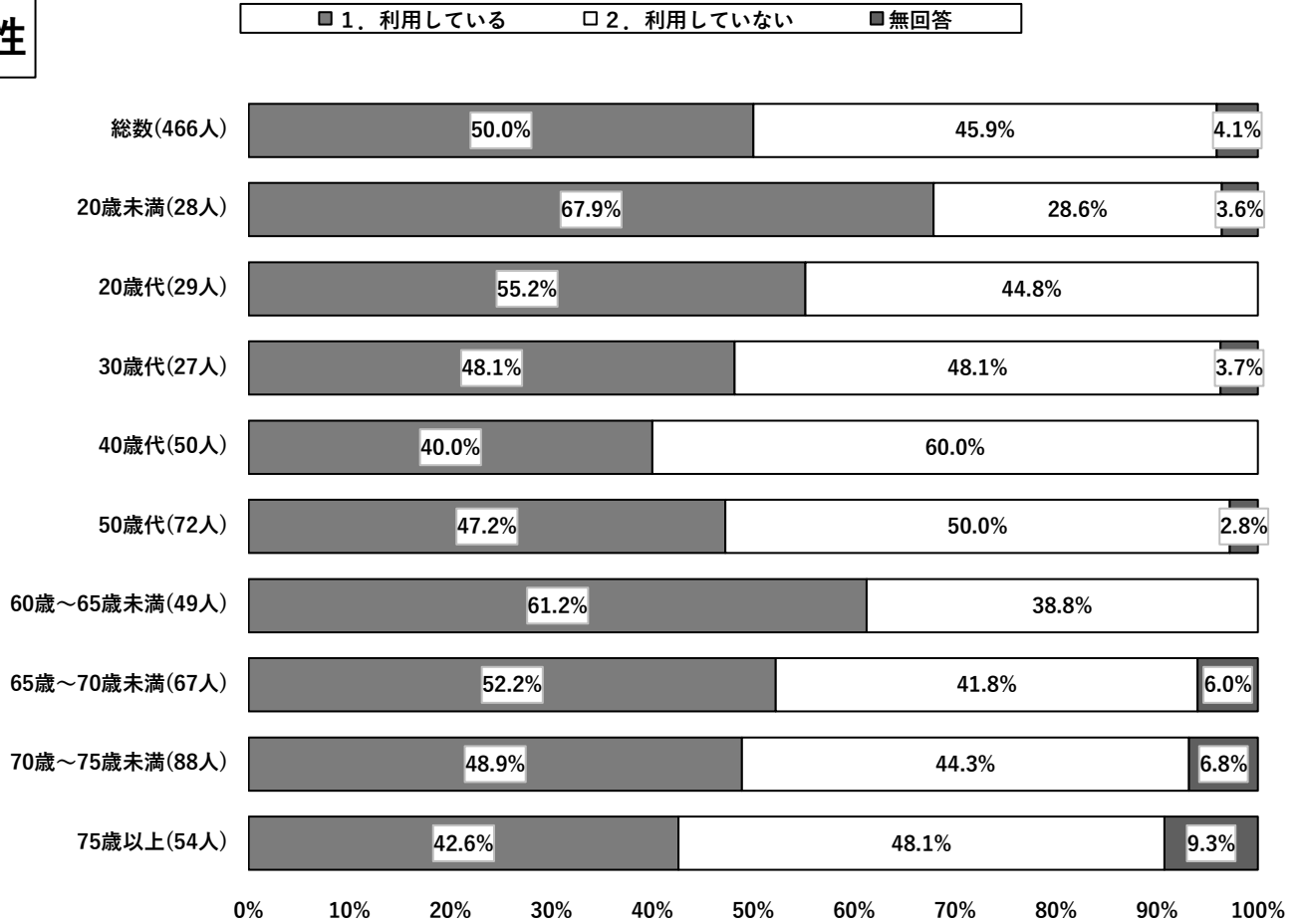
フッ素（フッ化物）の利用については、「利用している」が 56.0%、「利用していない」が 40.3%となります。



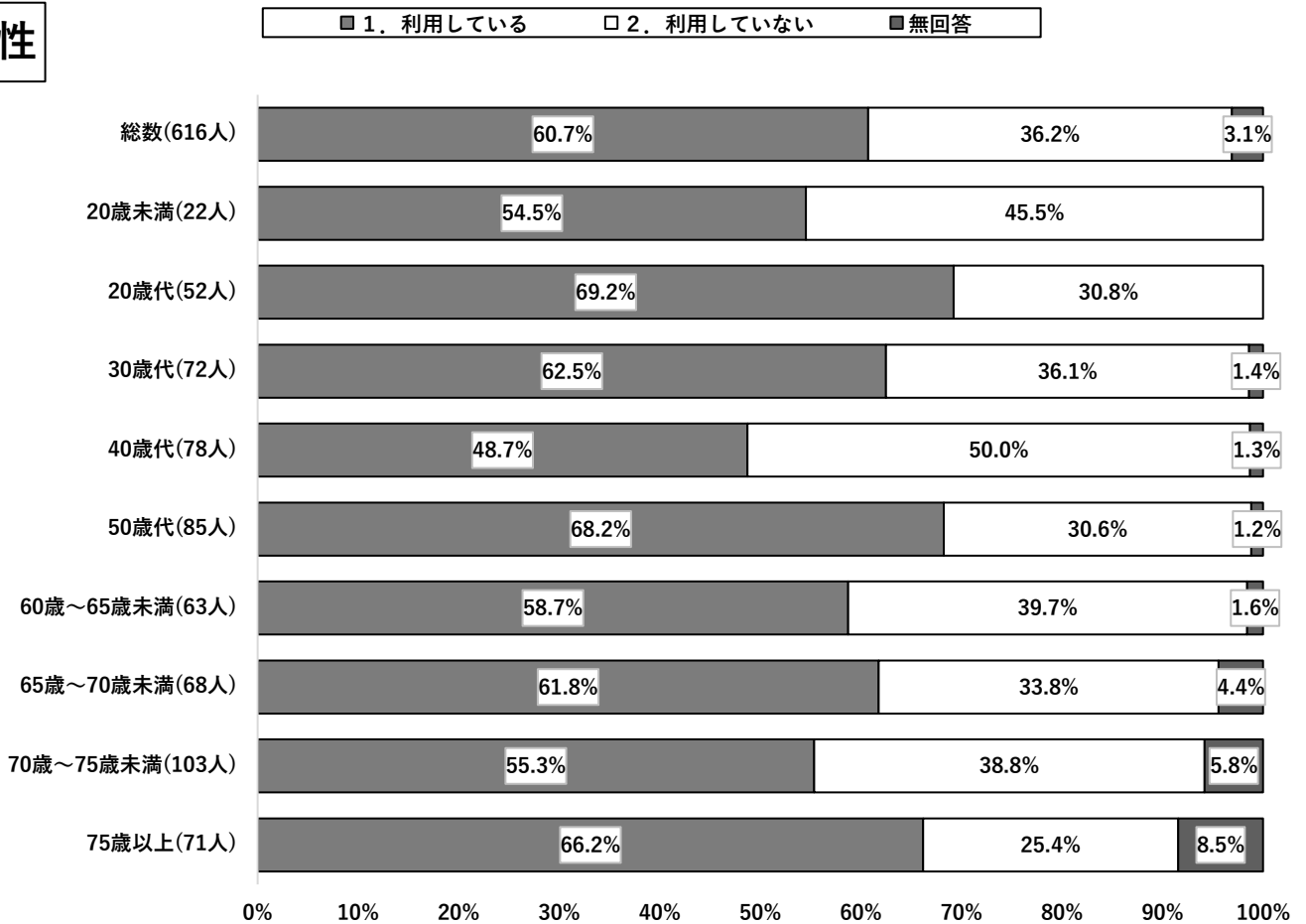
性別年齢層別の分析結果では、20 歳以上では「利用していない」と回答した人の割合は概ねどの年齢層でも男性の方が女性より高くなっています。「利用している」と答えた人は、男性では 20 歳未満と 60 歳～65 歳未満が高く、女性では 20 歳代と 50 歳代、75 歳以上が高くなっています。

フッ素利用の有無（性別年齢層別）

男性



女性



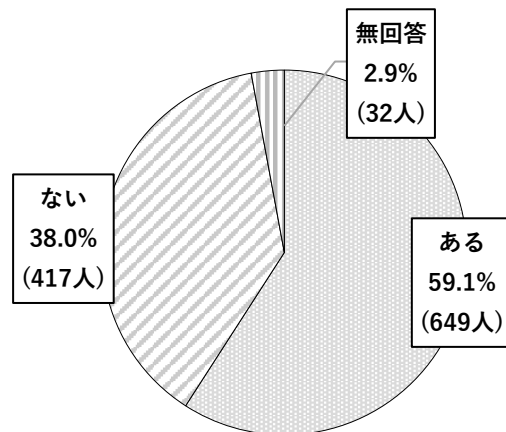
(5) 歯科健診や歯の治療の有無（単一回答）

問 60. この1年間に歯科健診や歯の治療を受けたことがありますか。

「ある」が 59.1%

歯科検診や歯の治療の1年以内の受診については、「ある」が 59.1%、「ない」が 38.0%となります。

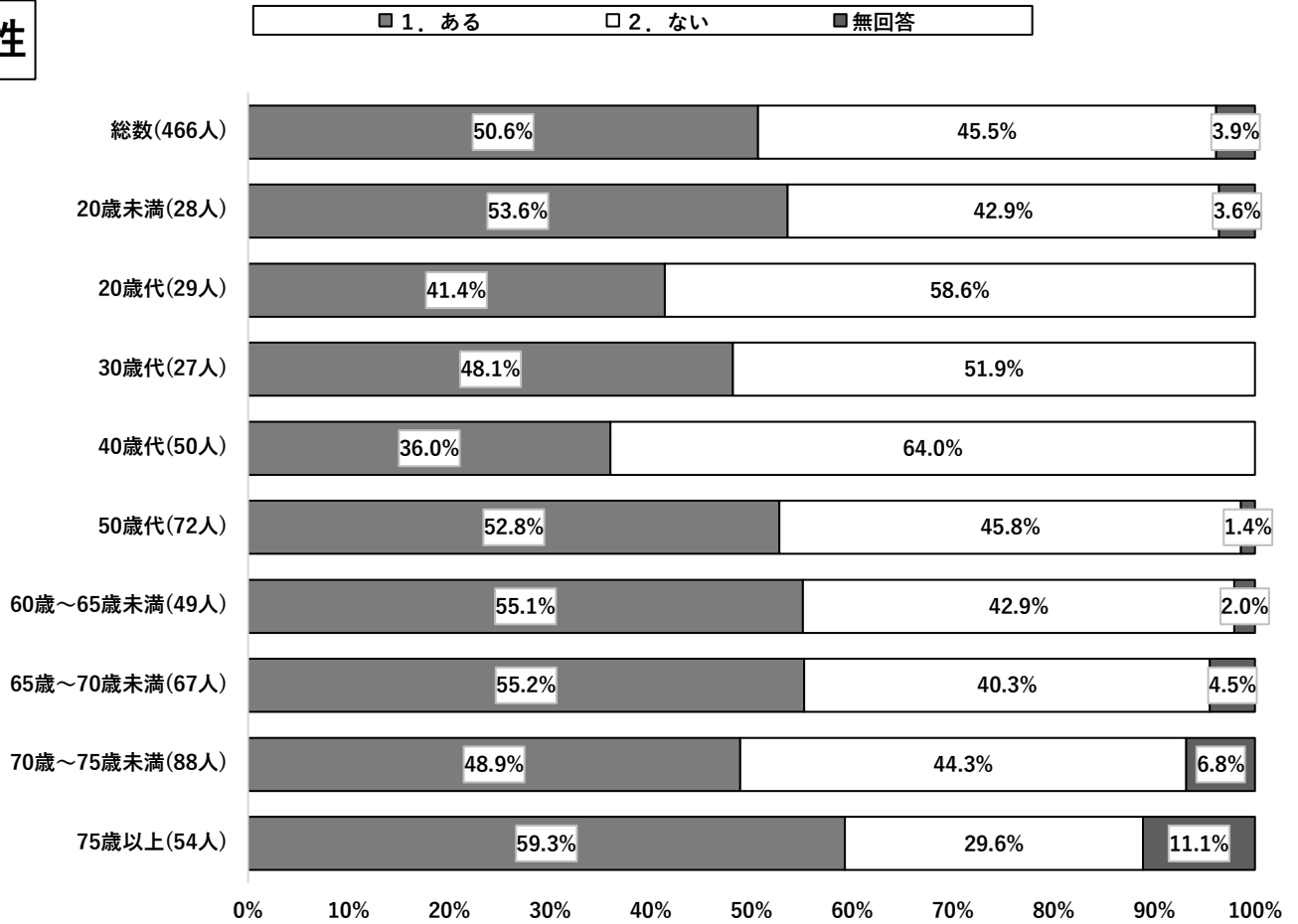
歯科健診・歯の治療の有無（1,098人）



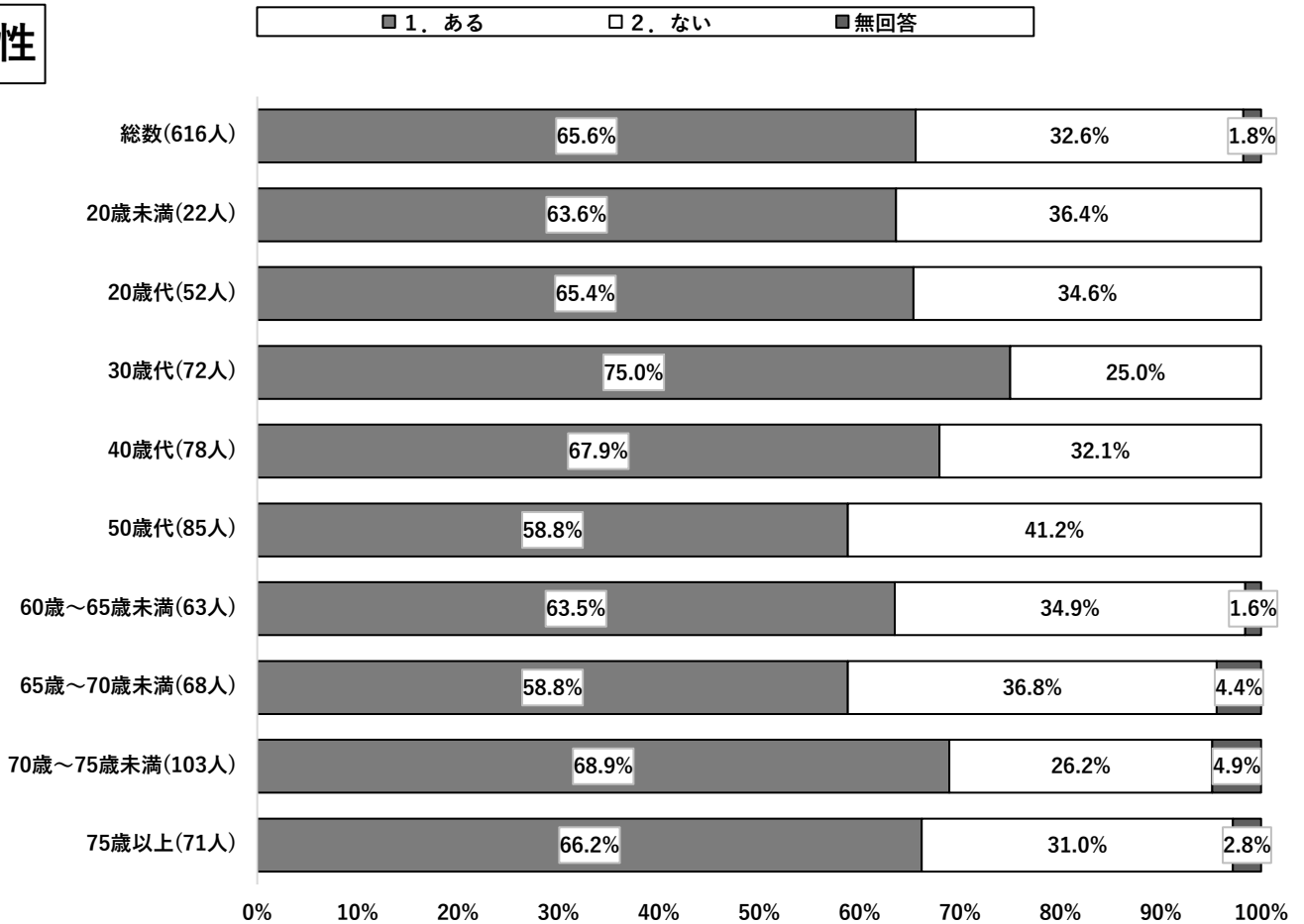
性別年齢層別の分析結果では、いずれの年代においても「ある」と回答した人の割合は女性の方が男性より高くなっています。まだ、年代間の大きな差はみられません。

歯科健診・歯の治療の有無（性別年齢層別）

男性

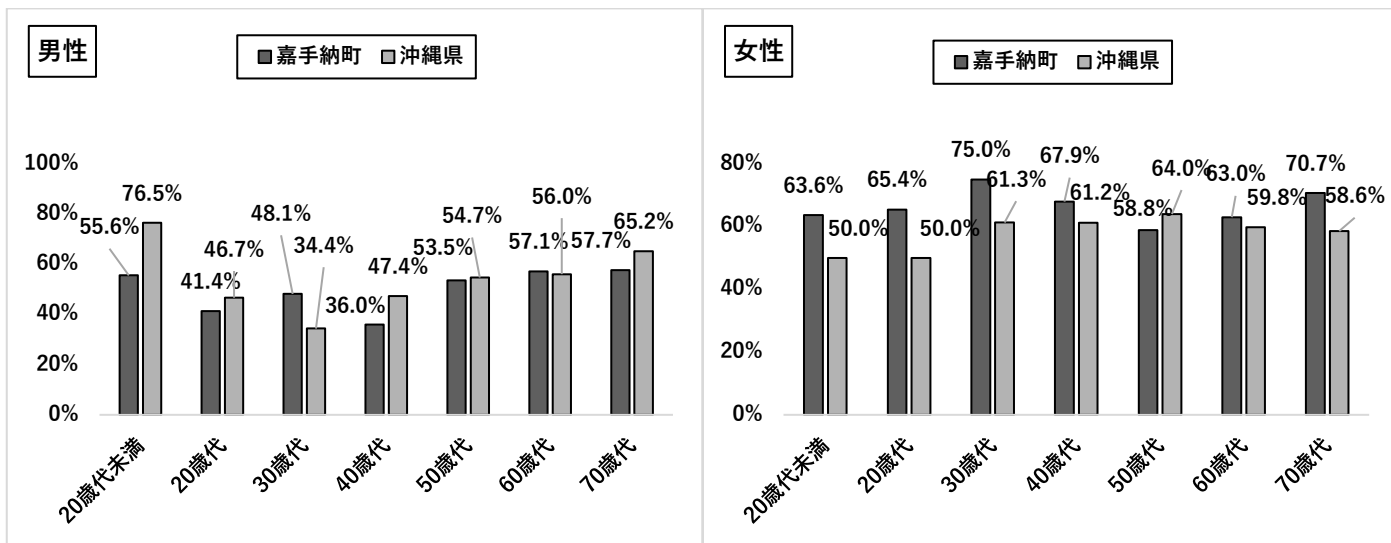


女性



沖縄県のデータと比較すると、「ある」の回答割合は、男性は年齢層によって傾向が異なるものの、女性の場合は50歳代を除いては沖縄県のデータを上回っています。

歯科健診・歯の治療の有無（「ある」のみ、沖縄県との比較）



(6) 歯科健診や歯の治療の内容（複数回答）

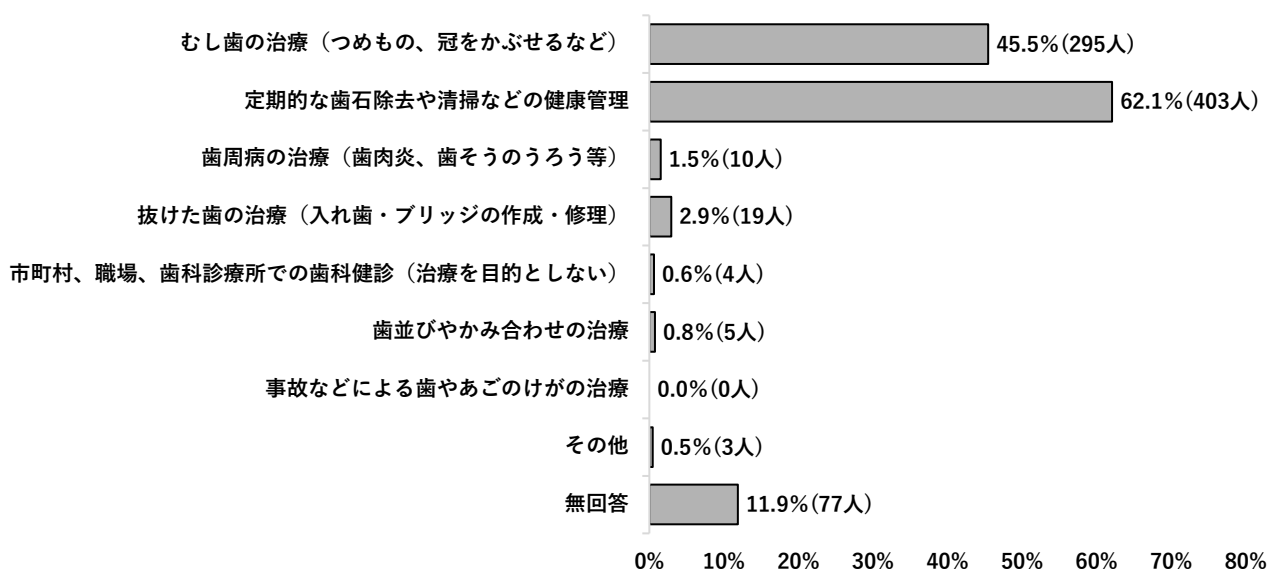
問 60-1. あなたが受けた内容は何ですか。（問 60 で「1.」と答えた方）

「定期的な歯石除去や清掃などの健康管理」が 62.1%

歯科健診や歯の治療の内容については、「定期的な歯石除去や清掃などの健康管理」が 62.1%と最も高く、次に「むし歯の治療(つめもの、冠をかぶせるなど)」が 45.5%、「抜けた歯の治療（入れ歯・ブリッジの作成・修理）」が 2.9%となります。

※複数回答につき、割合の合計が 100%を超える場合があります。

歯科健診や歯の治療の内容（649人）



性別年齢層別の分析結果では、20歳未満の男性・女性及び50歳代・60歳～65歳未満の男性では「むし歯の治療(つめもの、冠をかぶせるなど)」が最も高くなっています。一方、20歳以上の女性ではいずれの年代においても「定期的な歯石除去や清掃などの健康管理」が最も高くなっています。

歯科健診や歯の治療の内容（性別年齢層別）

【男性】	総数	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳～65歳未満	65歳～70歳未満	70歳～75歳未満	75歳以上
総回答数	236	15	12	13	18	38	27	37	43	32
むし歯の治療(つめもの、冠をかぶせるなど)	50.0%	60.0%	50.0%	46.2%	38.9%	60.5%	66.7%	48.6%	46.5%	34.4%
定期的な歯石除去や清掃などの健康管理	54.7%	33.3%	50.0%	69.2%	44.4%	55.3%	63.0%	62.2%	51.2%	53.1%
歯周病の治療(歯肉炎、歯そこのうろそう等)	1.3%	0.0%	0.0%	0.0%	5.6%	5.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
抜けた歯の治療(入れ歯・ブリッジの作成・修理)	3.4%	0.0%	0.0%	7.7%	11.1%	5.3%	3.7%	0.0%	2.3%	3.1%
市町村、職場、歯科診療所での歯科健診(治療を目的としない)	0.8%	13.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
歯並びやかみ合わせの治療	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
事故などによる歯やあごのけがの治療	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他	0.4%	6.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	15.3%	6.7%	8.3%	7.7%	16.7%	2.6%	11.1%	16.2%	23.3%	31.3%

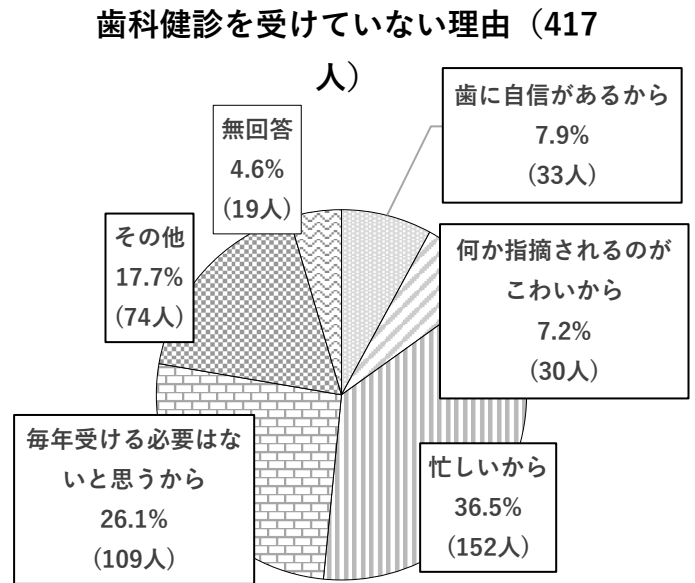
【女性】	総数	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳～65歳未満	65歳～70歳未満	70歳～75歳未満	75歳以上
総回答数	404	14	34	54	53	50	40	40	71	47
むし歯の治療(つめもの、冠をかぶせるなど)	43.8%	50.0%	61.8%	57.4%	49.1%	42.0%	42.5%	27.5%	32.4%	29.8%
定期的な歯石除去や清掃などの健康管理	67.8%	21.4%	64.7%	70.4%	67.9%	64.0%	75.0%	70.0%	70.4%	59.6%
歯周病の治療(歯肉炎、歯そこのうろそう等)	1.7%	0.0%	0.0%	0.0%	3.8%	2.0%	5.0%	0.0%	2.8%	0.0%
抜けた歯の治療(入れ歯・ブリッジの作成・修理)	2.7%	0.0%	5.9%	5.6%	0.0%	6.0%	2.5%	0.0%	2.8%	0.0%
市町村、職場、歯科診療所での歯科健診(治療を目的としない)	0.5%	7.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.5%	0.0%	0.0%	0.0%
歯並びやかみ合わせの治療	1.2%	7.1%	8.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
事故などによる歯やあごのけがの治療	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他	0.5%	0.0%	0.0%	1.9%	1.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	10.1%	21.4%	5.9%	1.9%	3.8%	8.0%	2.5%	17.5%	14.1%	23.4%

(7) 歯科健診を受けていない理由（単一回答）

問 60- 2. あなたが歯科健診を受けていない理由を教えてください。（問 60 で「2.」と答えた方）

「忙しいから」が 36.5%

歯科健診を受けていない理由については、「忙しいから」が 36.5%と最も高く、次に「毎年受ける必要はないと思うから」が 26.1%、「その他」が 17.7%となります。



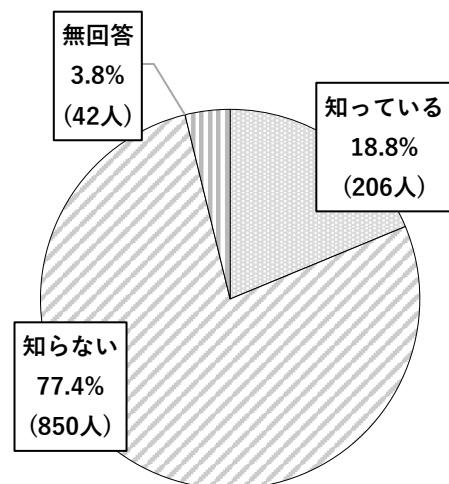
(8) 歯周疾患検診助成（単数回答）

問 61. 町では、16 歳以上の町民に対して歯周疾患検診の助成を行っていますが、ご存じですか。

「知らない」が 77.4%

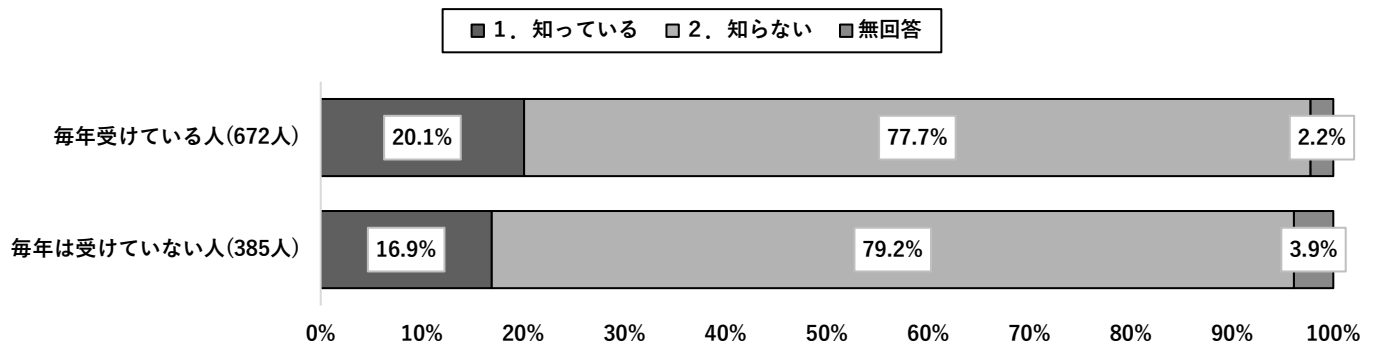
歯周疾患検診助成については、「知っている」が 18.8%、「知らない」が 77.4%となります。

歯周疾患検診助成（1,098人）



健康診査受診頻度別の分析では、健康診査を毎年受診している人の方が、そうでない人よりも歯周疾患検診助成について認知度が高かったです。ただし、毎年受けている人でも過半数の人が助成について知らないという結果になっています。

歯周疾患検診助成（健康診査受診頻度別）



(9) 助成の情報源（複数回答）

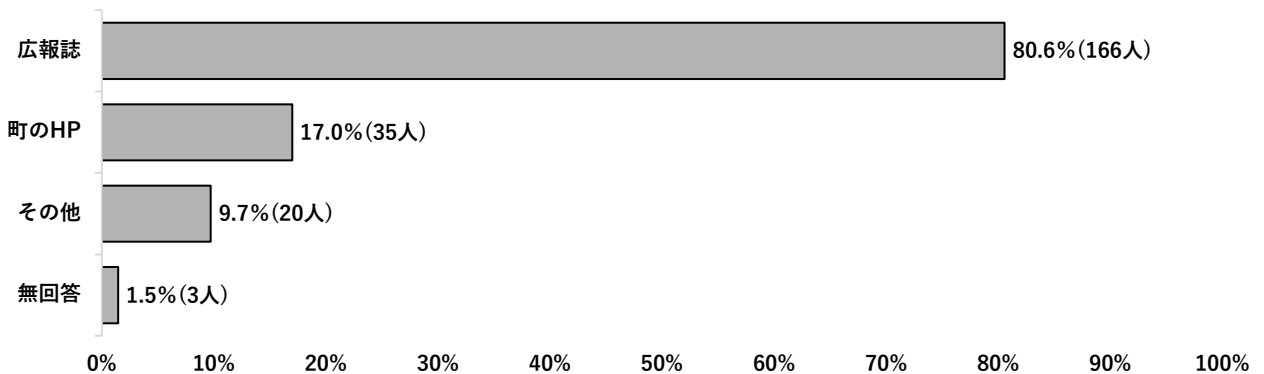
問 61-1. 助成について、どこで情報を知りましたか。（問 61 で「1.」と答えた方）

「広報誌」が 80.6%

助成の情報源については、「広報誌」が 80.6%と最も高く、次に「町の HP」が 17.0%、「その他」が 9.7% となります。

※複数回答につき、割合の合計が 100%を超える場合があります。

助成の情報源（206 人）



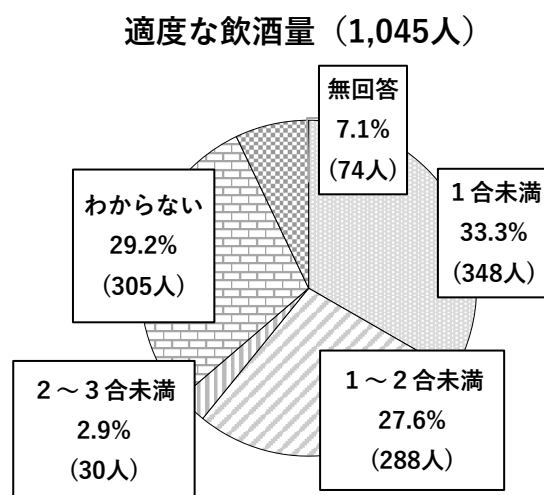
9. アルコールについて

(1) 適度な飲酒量（単一回答）

問 62. 「節度ある適度な飲酒」とは、日本酒に換算して1日にどのくらいの量だと思いますか。

「1合未満」が33.3%

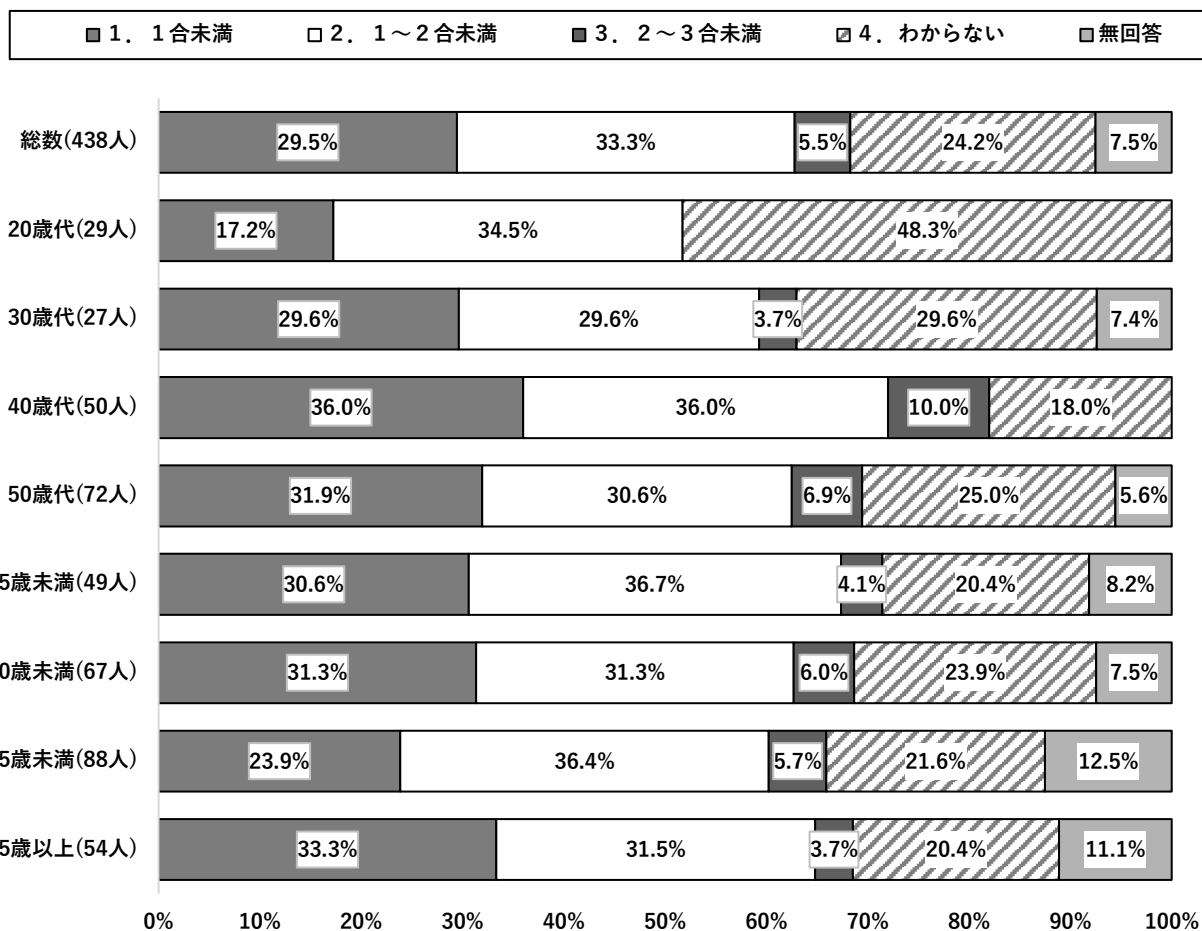
適度だと思う飲酒量については、「1合未満」が33.3%と最も高く、次に「わからない」が29.2%、「1～2合未満」が27.6%となります。



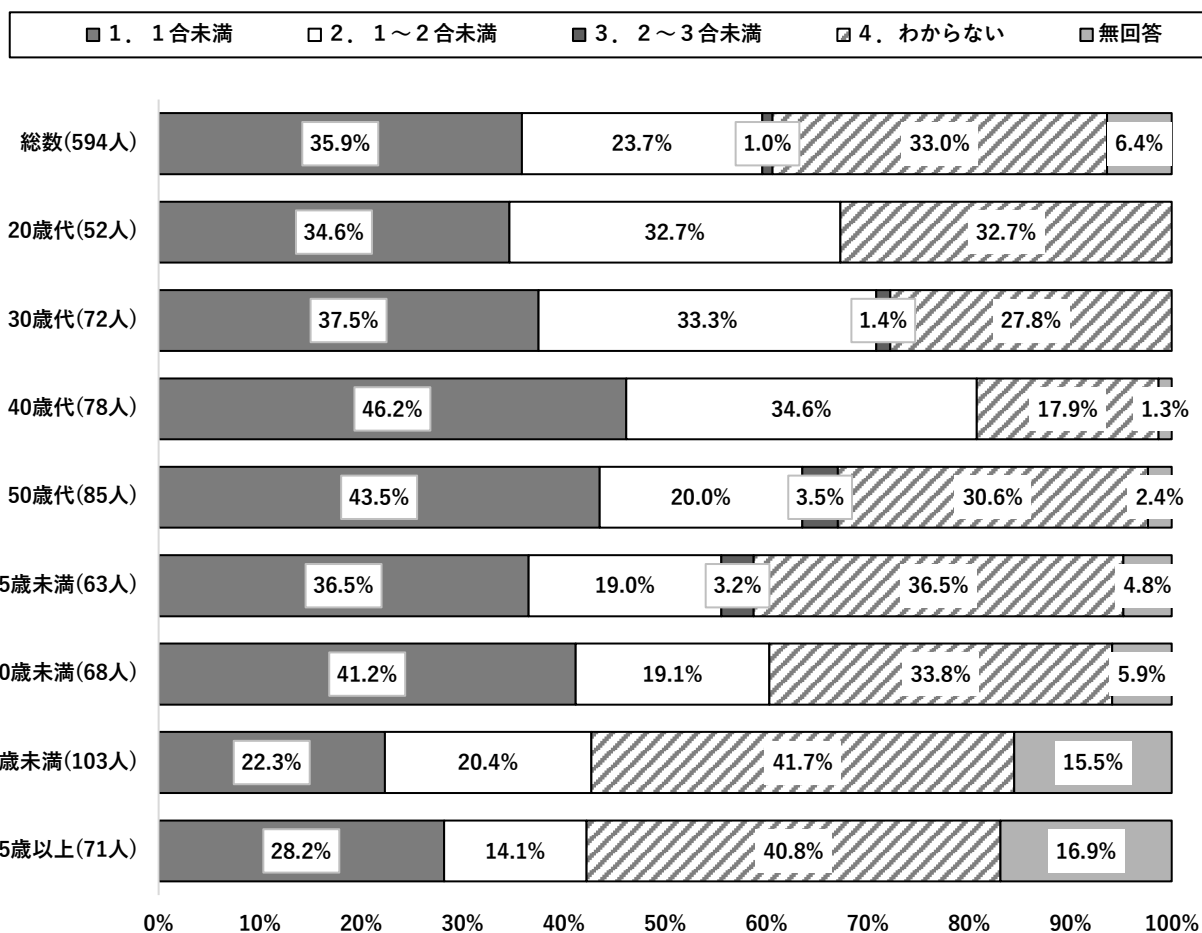
性別年齢層別の分析結果では、70歳未満の年代においては、男性より女性の方が「1合未満」と回答した人の割合が高くなっています。また、50歳以上の年代においては男性より女性の方が「わからない」と回答した人の割合が高くなっています。70～75歳未満を除く30歳以上の男性においては「1合未満」と「1～2合未満」と回答した人の割合が同程度となっています。

適度な飲酒量（性別年齢層別）

男性



女性

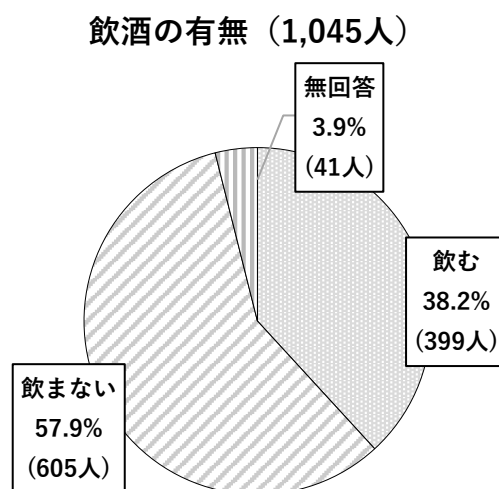


(2) 飲酒の有無（単一回答）

問 63. お酒を習慣的に飲みますか。

「飲まない」が 57.9%

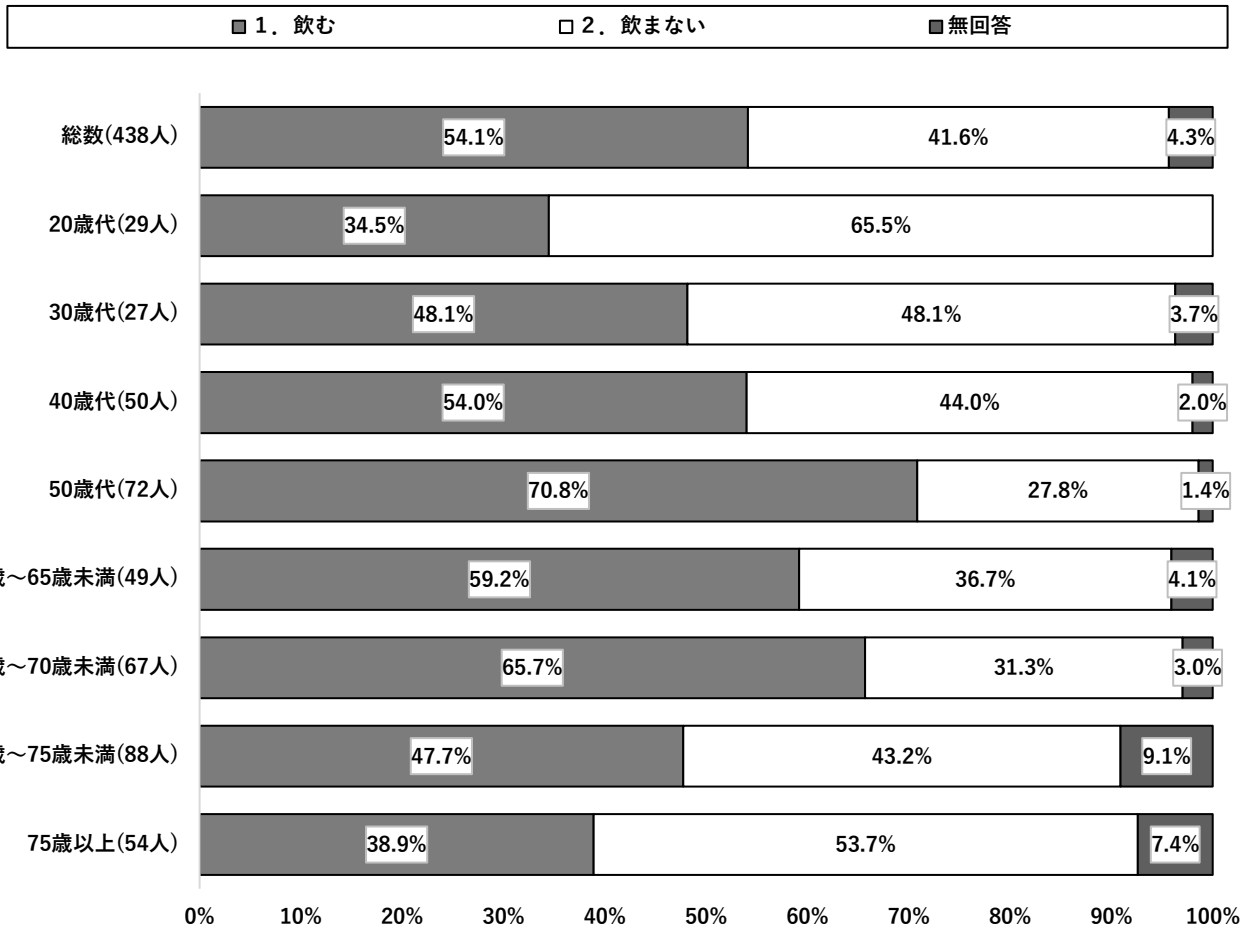
飲酒の有無については、「飲む」が 38.2%、「飲まない」が 57.9%となります。



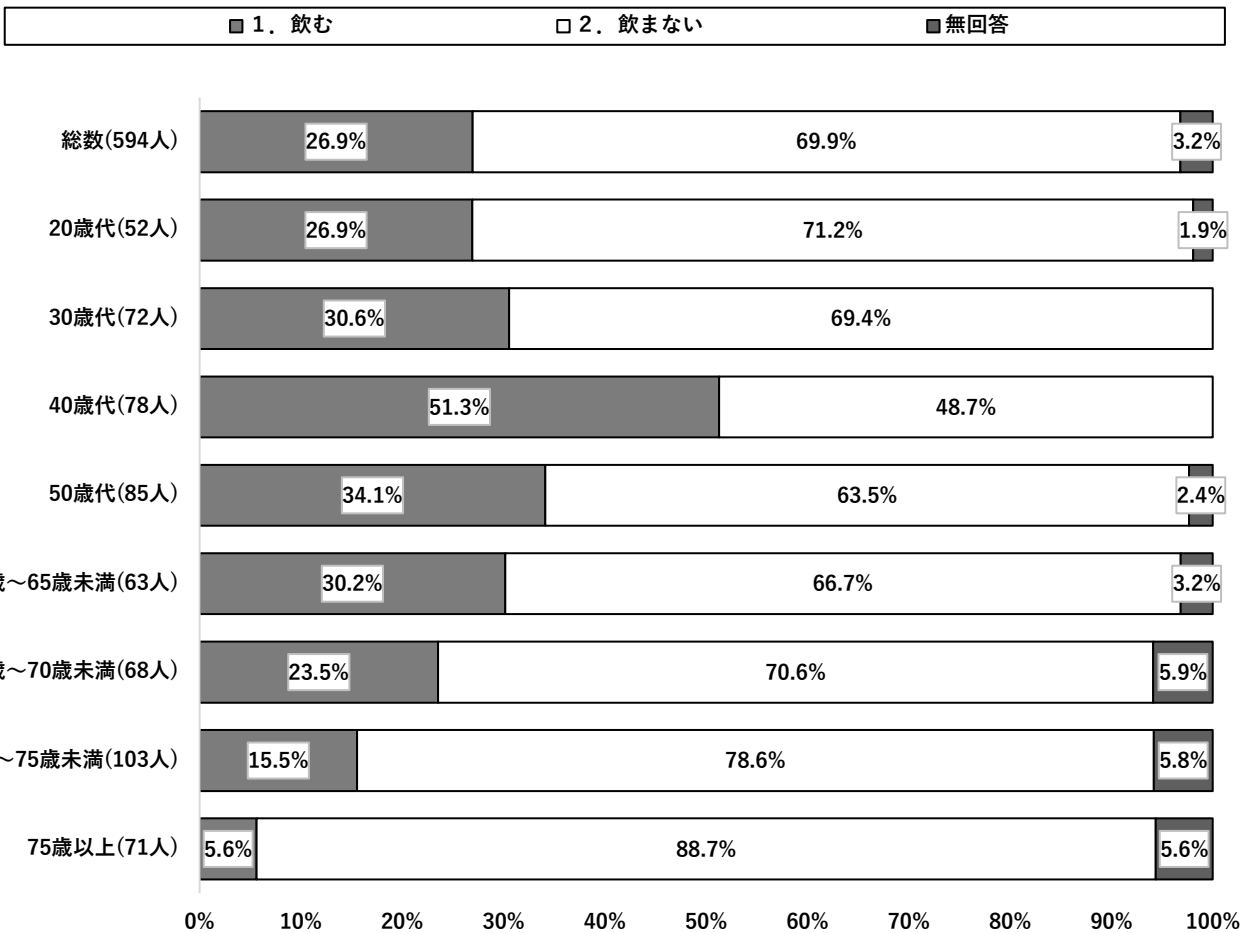
性別年齢層別の分析結果では、「飲む」と回答した男性は 54.1%、女性は 26.9%で、いずれの年代においても「飲む」と回答した人の割合は男性の方が女性より高くなっています。また、男性では「飲む」と回答した人の割合が 50 歳代から 70 歳未満において高くなっているのに対し、50 歳以上の女性では上の年代になるにつれ「飲む」と回答した人の割合が低くなっています。

飲酒の有無（性別年齢層別）

男性

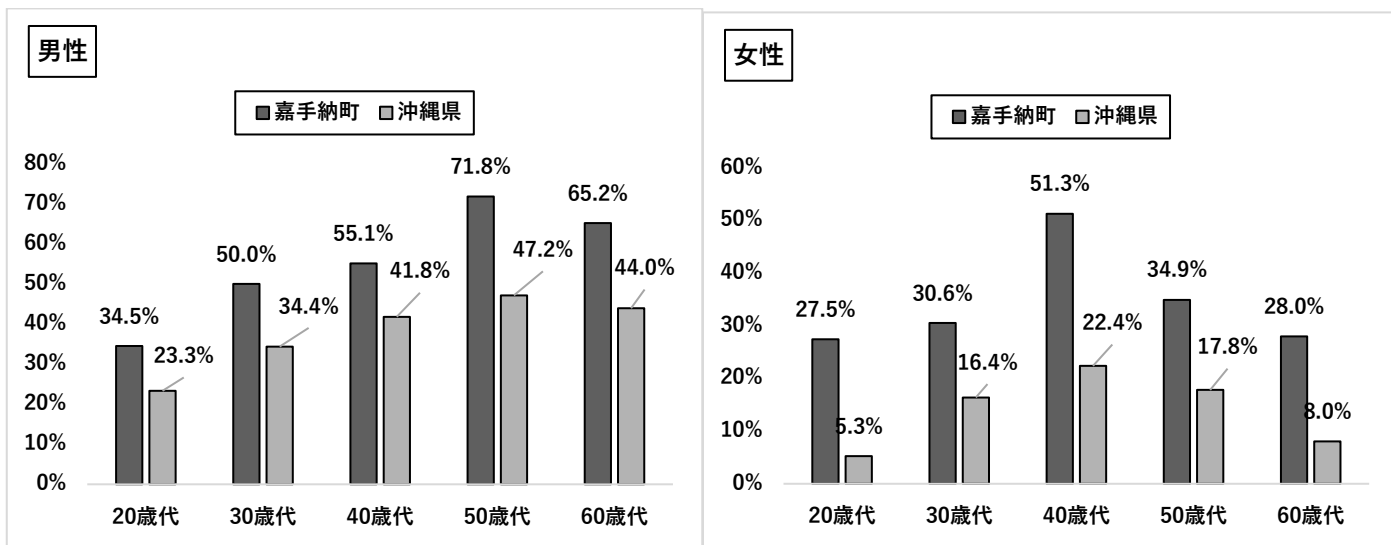


女性



沖縄県のデータと比較すると、「飲む」の回答割合は、男女ともにいずれの年齢層においても沖縄県のデータを上回っています。

飲酒の有無（「飲む」のみ、沖縄県との比較）



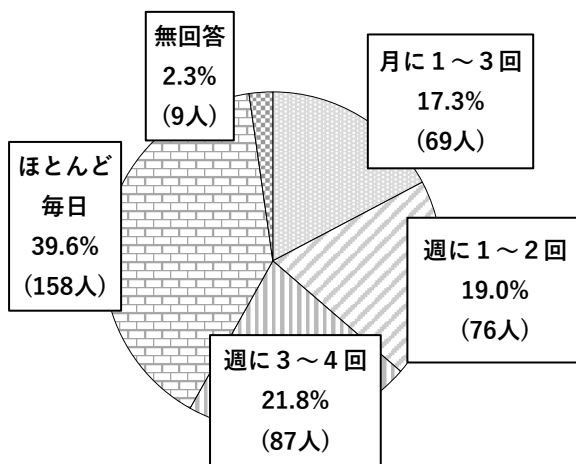
(3) 飲酒の頻度（単一回答）

問 63-1. 飲酒頻度をお答えください。（問 63 で「1.」と答えた方）

「ほとんど毎日」が 39.6%

飲酒の頻度については、「ほとんど毎日」が 39.6%と最も高く、次に「週に 3～4 回」が 21.8%、「週に 1～2 回」が 19.0%となります。

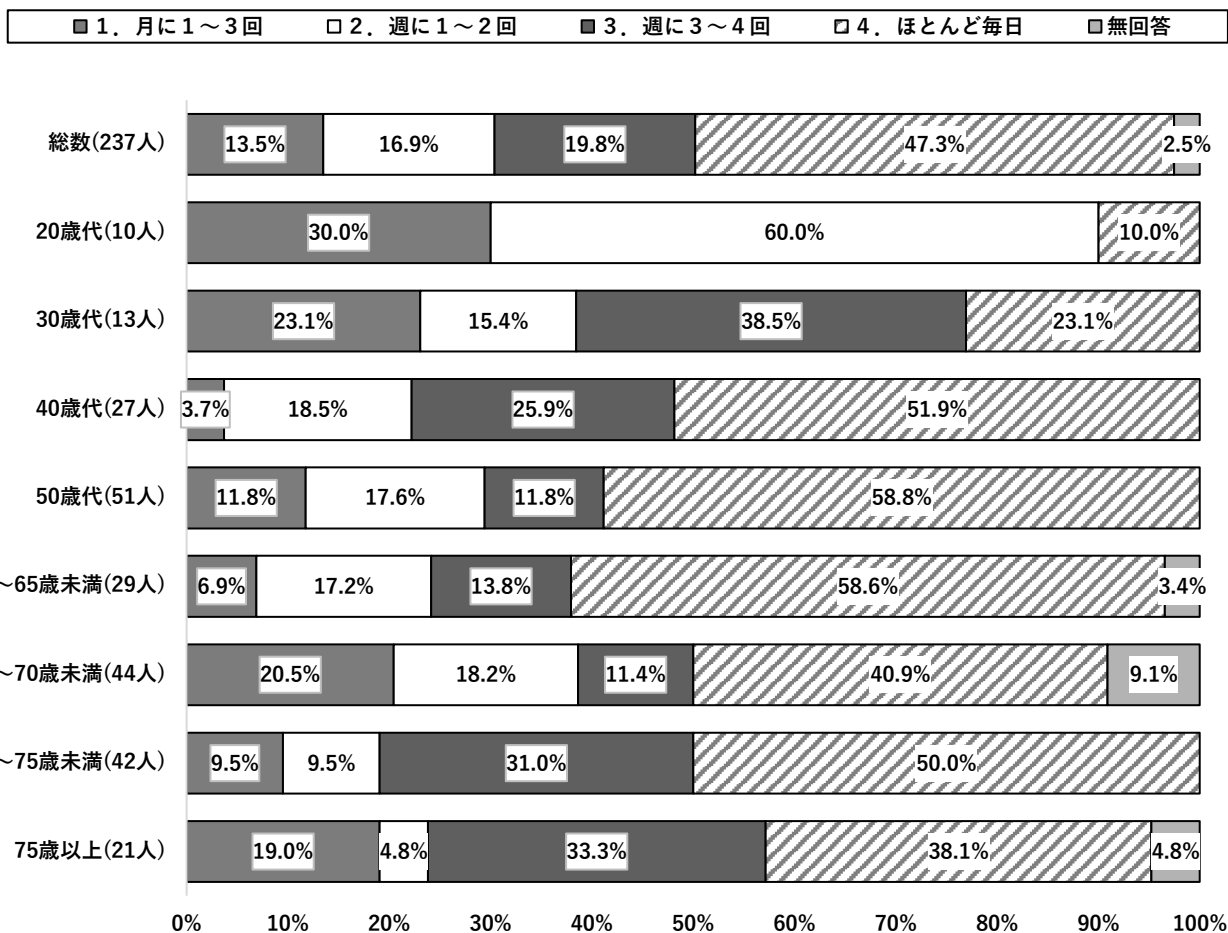
飲酒の頻度（399人）



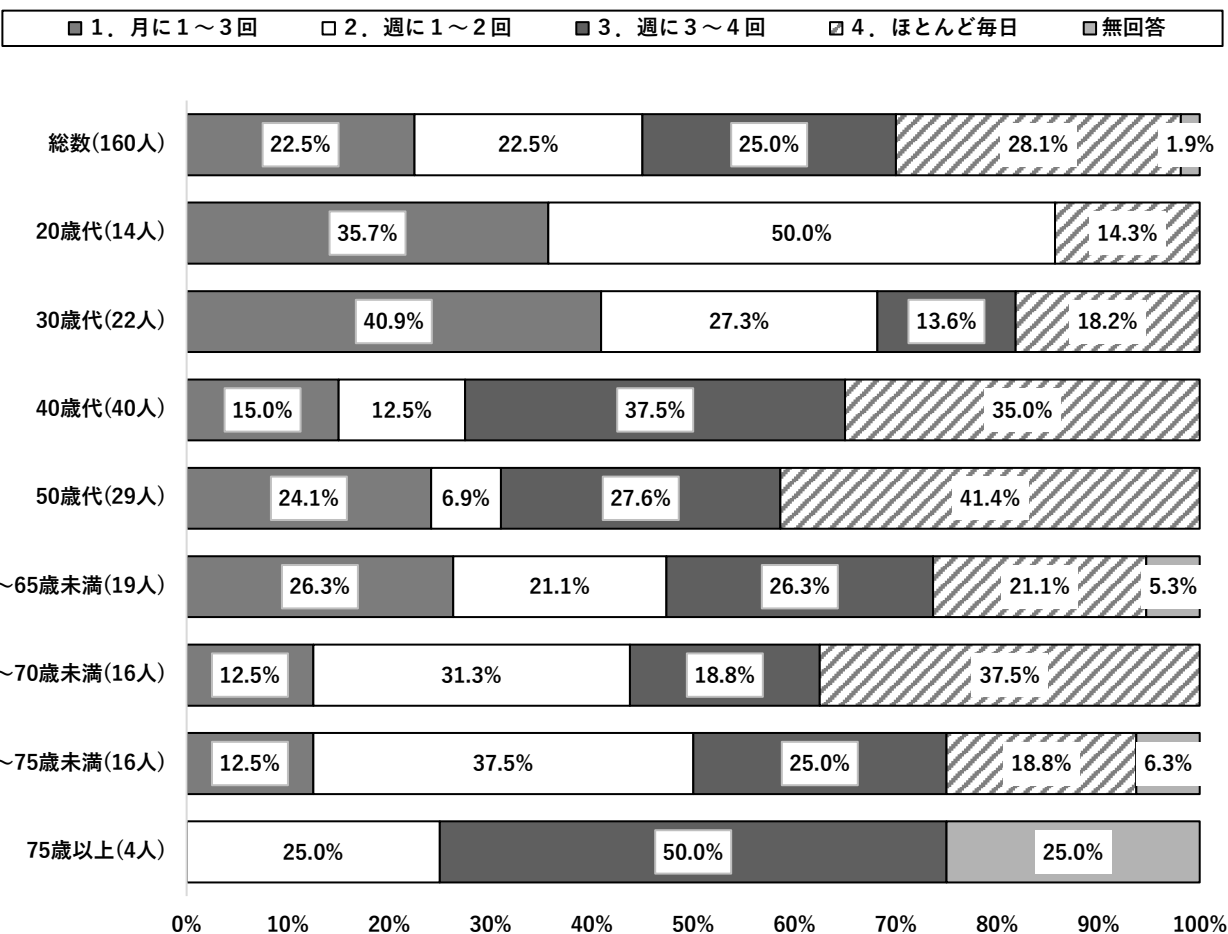
性別年齢層別の分析結果では、40 歳代から 75 歳未満の男性は約 5 割が「ほとんど毎日」と回答していました。女性では、40 歳代～70 歳未満において、3 割～4 割の人が「ほとんど毎日」と回答していました。女性及び男性の 20 歳代・30 歳代は、「月に 1～3 回」または「週に 1～2 回」と回答した人の割合が高くなっています。

飲酒の頻度（性別年齢層別）

男性



女性

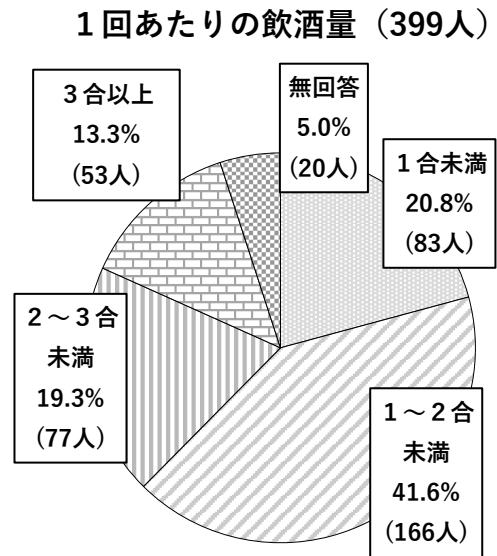


(4) 1回あたりの飲酒の量（単一回答）

問 63-1. 1回あたりの飲酒量をお答えください。※日本酒に換算（問 63 で「1.」と答えた方）

「1～2合未満」が41.6%

飲酒の量については、「1～2合未満」が41.6%と最も高く、次に「1合未満」が20.8%、「2～3合未満」が19.3%となります。



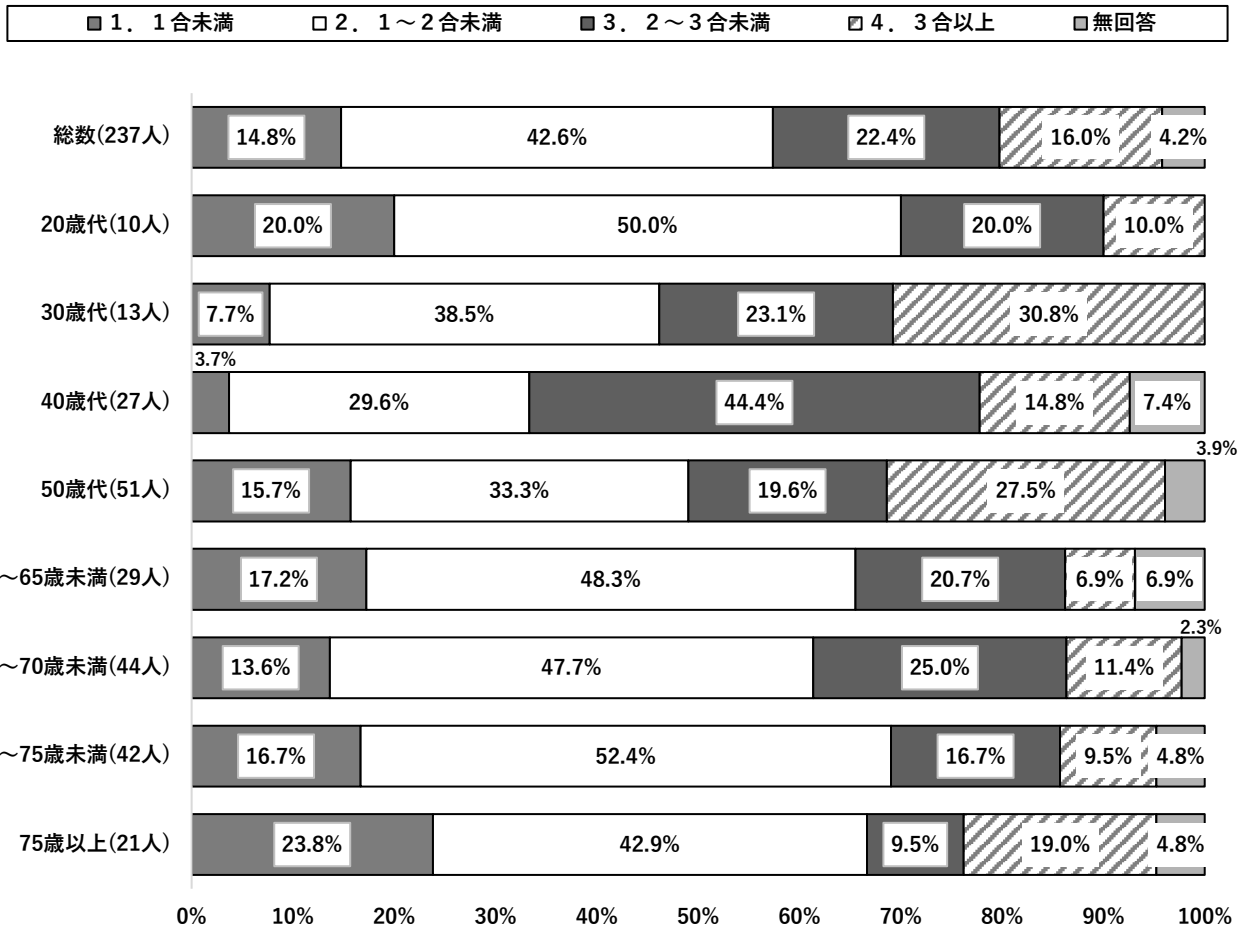
性別年齢層別の分析結果では、男性・女性ともにほとんどの年代において「1～2合未満」と回答した人の割合が最も高くなっていますが、男性の40歳代では、2～3合未満が最も高く、44.4%を占めています。2番目に割合が高い回答は、40歳代を除く男性では「2～3合未満」、女性では「1合未満」となっている年代がほとんどです。

また、男性では40歳代において最も飲酒量が多く、女性では20歳代～50歳代は60歳以上の年代に比べ飲酒量が多い傾向があります。

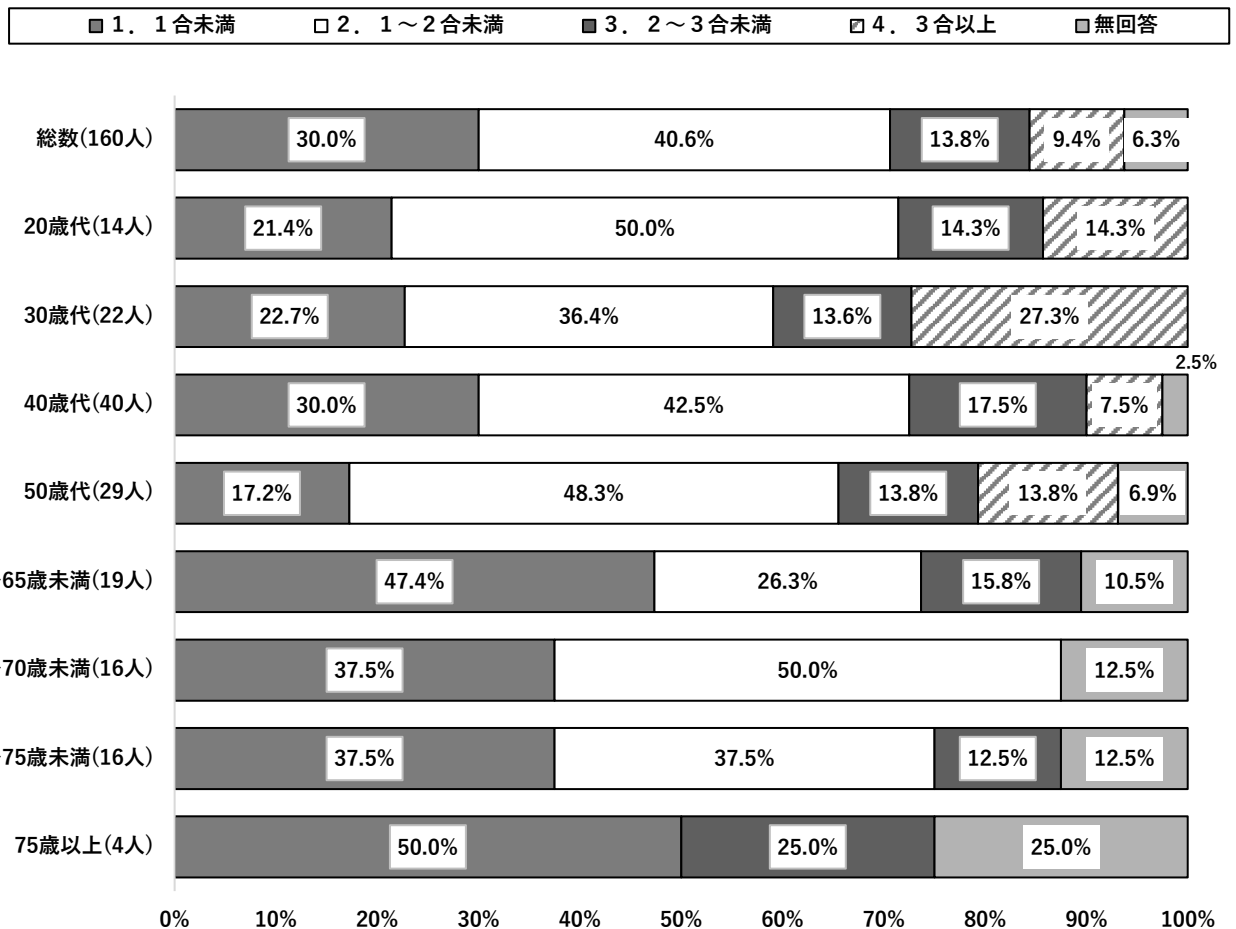
※「3合以上」は、調査票上の選択肢で「3合未満」と誤記載していたものを計上。

1回あたりの飲酒量（性別年齢層別）

男性

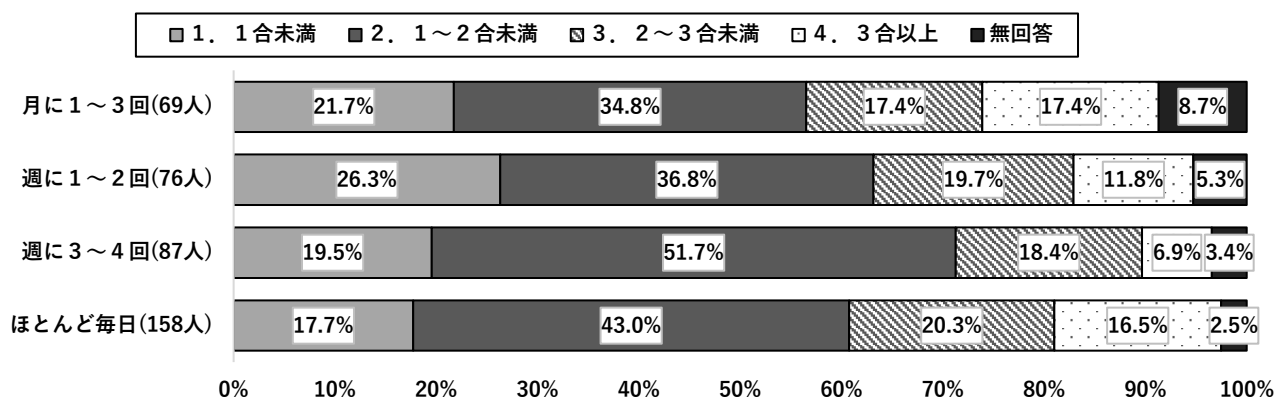


女性



飲酒の頻度との関係を見ると、どの飲酒の頻度においても「1～2合未満」が最も高く、特に「週に3～4回」飲む人では、51.7%と最も高くなります。「2～3合」飲む人はどの飲酒の頻度においても2割程度で、「3合以上」飲む人は飲酒の頻度が「月に1～3回」と「ほとんど毎日」の人で高くなっています。

1回あたりの飲酒量（飲酒頻度別）



沖縄県のデータと比較すると、男女共にいずれの年齢層においても「3合以上」と回答する人の割合が沖縄県のデータを下回っています。

1回あたりの飲酒量（沖縄県との比較）

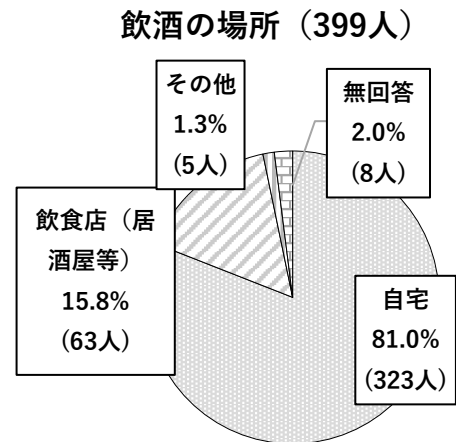
		20歳代		30歳代		40歳代		50歳代		60歳代	
		嘉手納町	沖縄県	嘉手納町	沖縄県	嘉手納町	沖縄県	嘉手納町	沖縄県	嘉手納町	沖縄県
男性	総回答実数	10人		13人		25人		49人		70人	
	午後6時まで	20.0%	20.0%	7.7%	14.3%	4.0%	18.9%	16.3%	24.4%	15.7%	22.6%
	午後6時～8時まで	50.0%	45.0%	38.5%	33.3%	32.0%	21.6%	34.7%	22.0%	50.0%	37.1%
	午後8時～10時まで	20.0%	10.0%	23.1%	19.0%	48.0%	27.0%	20.4%	24.4%	24.3%	22.6%
	午後10時以降	10.0%	25.0%	30.8%	33.3%	16.0%	32.4%	28.6%	29.3%	10.0%	17.7%
女性	総回答実数	14人		22人		39人		27人		31人	
	午後6時まで	21.4%	22.2%	22.7%	10.0%	30.8%	31.6%	18.5%	25.0%	48.4%	47.6%
	午後6時～8時まで	50.0%	55.6%	36.4%	30.0%	43.6%	42.1%	51.9%	33.3%	41.9%	38.1%
	午後8時～10時まで	14.3%	5.6%	13.6%	30.0%	17.9%	21.1%	14.8%	29.2%	9.7%	14.3%
	午後10時以降	14.3%	16.7%	27.3%	30.0%	7.7%	5.3%	14.8%	12.5%	0.0%	0.0%

(5) 飲酒の場所（単一回答）

問 63-1. どこで飲むことが多いですか。（問 63 で「1.」と答えた方）

「自宅」が 81.0%

飲酒の場所については、「自宅」が 81.0%と最も高く、次に「飲食店（居酒屋等）」が 15.8%、「その他」が 1.3%となります。

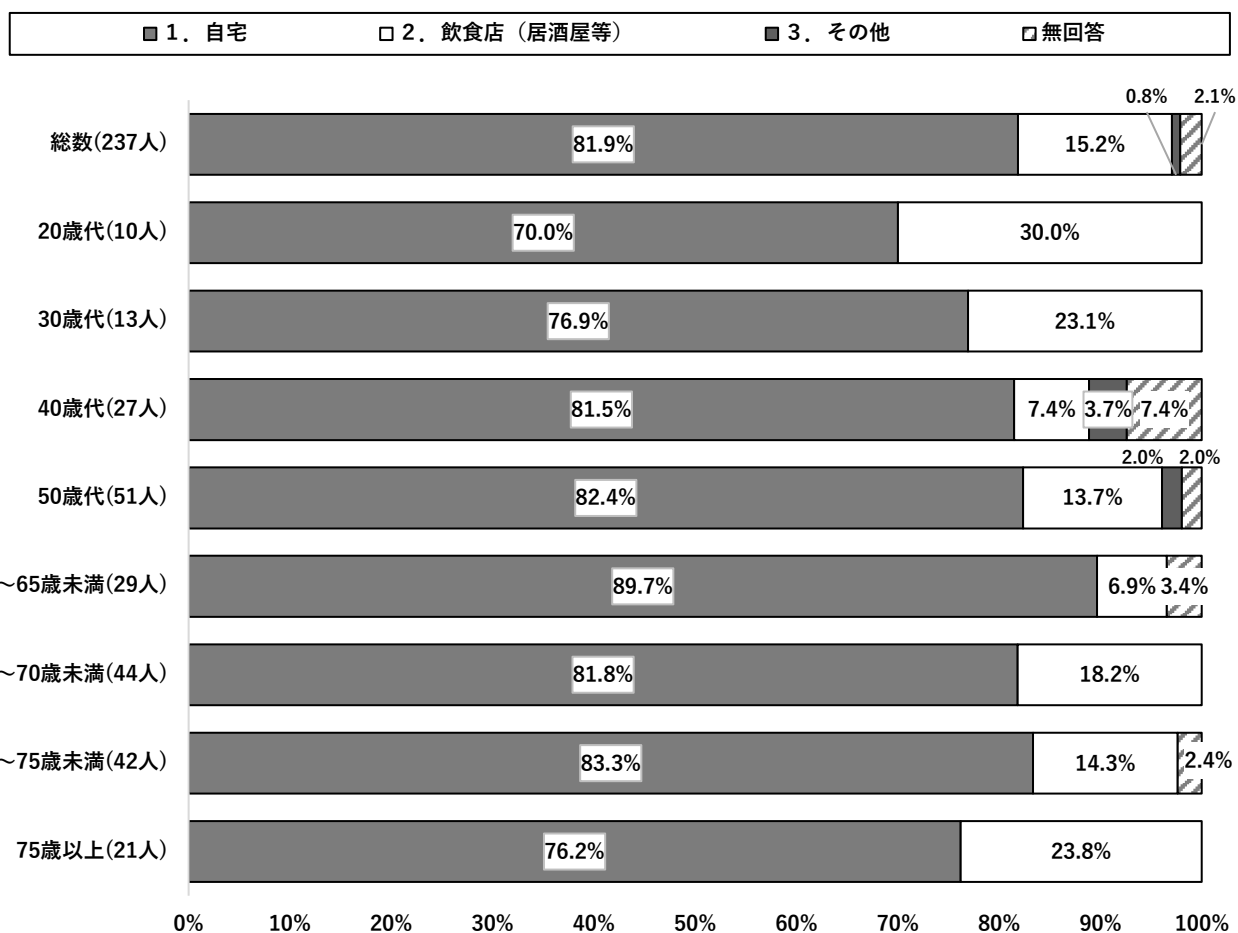


性別年齢層別の分析結果では、20歳代の女性を除いたすべての年代において、男性・女性ともに「自宅」と回答した人の割合が最も高くなっています。

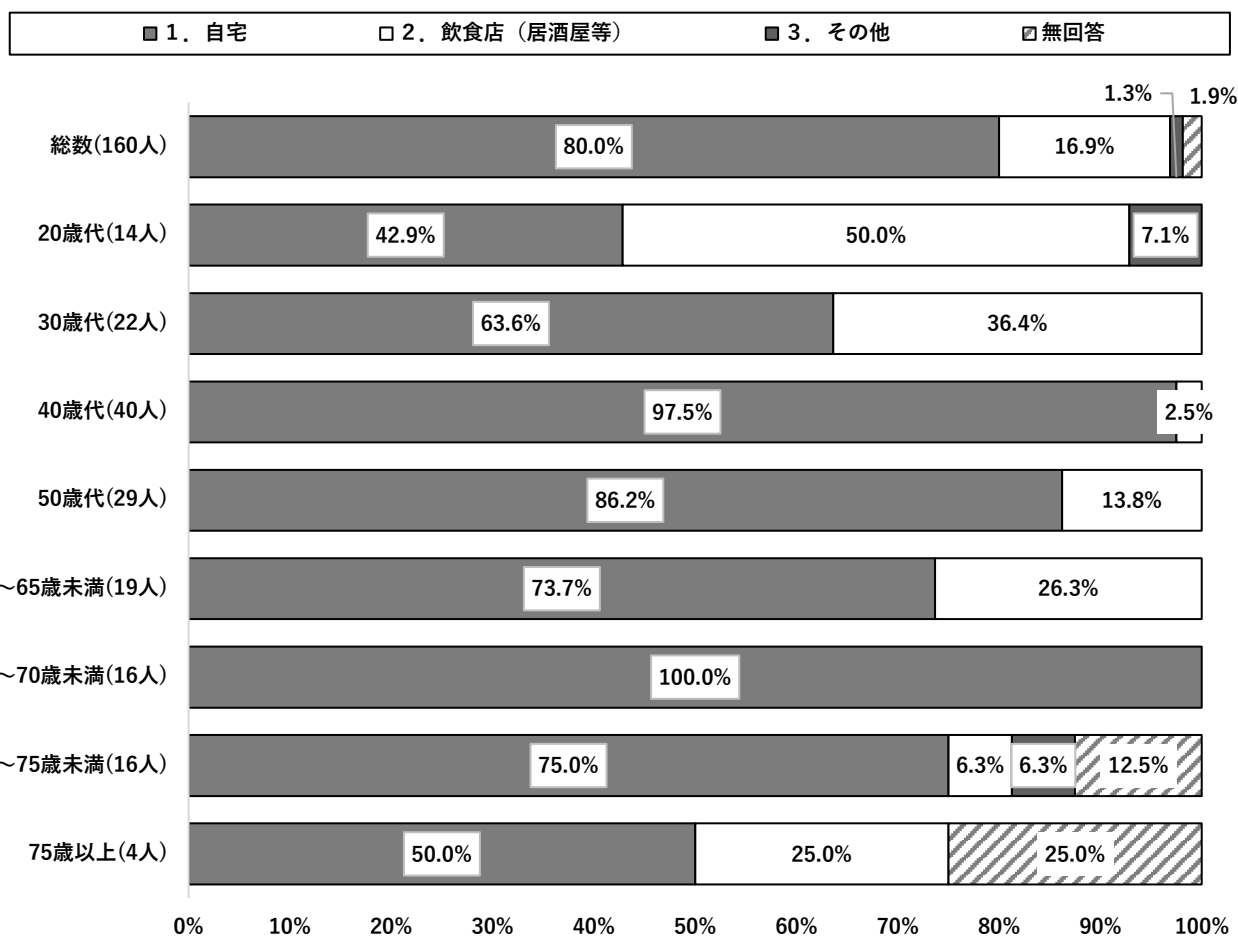
男性に比べ女性の方が年代による差が大きく、男性はいずれの年代においても7～8割程度が「自宅」と回答していますが、女性では20歳代及び75歳以上で「自宅」と回答した人は約5割にとどまる一方で、40歳代および65歳以上70歳未満で「自宅」と回答した人は9～10割にのぼります。

飲酒の場所（性別年齢層別）

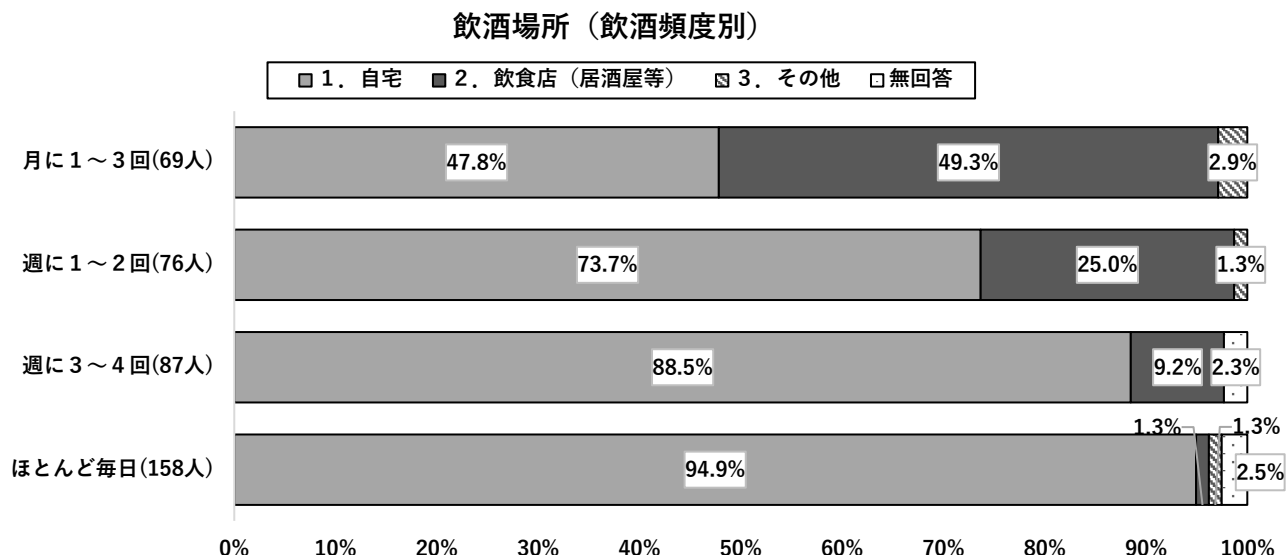
男性



女性



飲酒の頻度との関係でみると、飲酒頻度が高い人ほど、「自宅」で飲む人の割合は高く、「ほとんど毎日」飲酒する人の94.9%は「自宅」と回答しています。

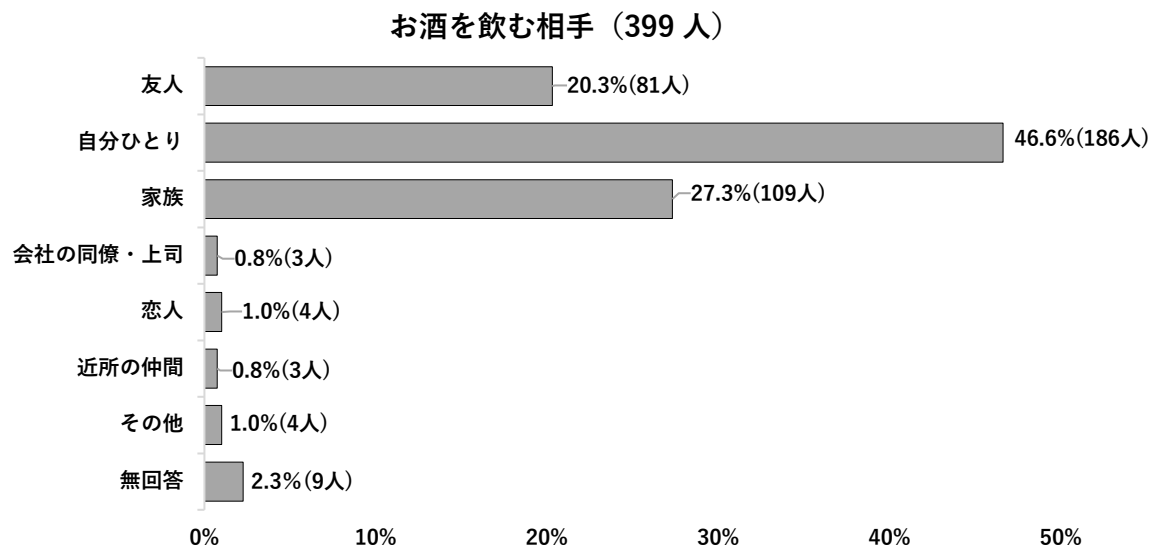


(6) お酒を飲む相手（単一回答）

問 63- 1. 誰と飲むことが多いですか。(問 63 で「1.」と答えた方)

「自分ひとり」が46.6%

飲酒の場所については、「自分ひとり」が46.6%と最も高く、次に「家族」が27.3%、「友人」が20.3%となります。

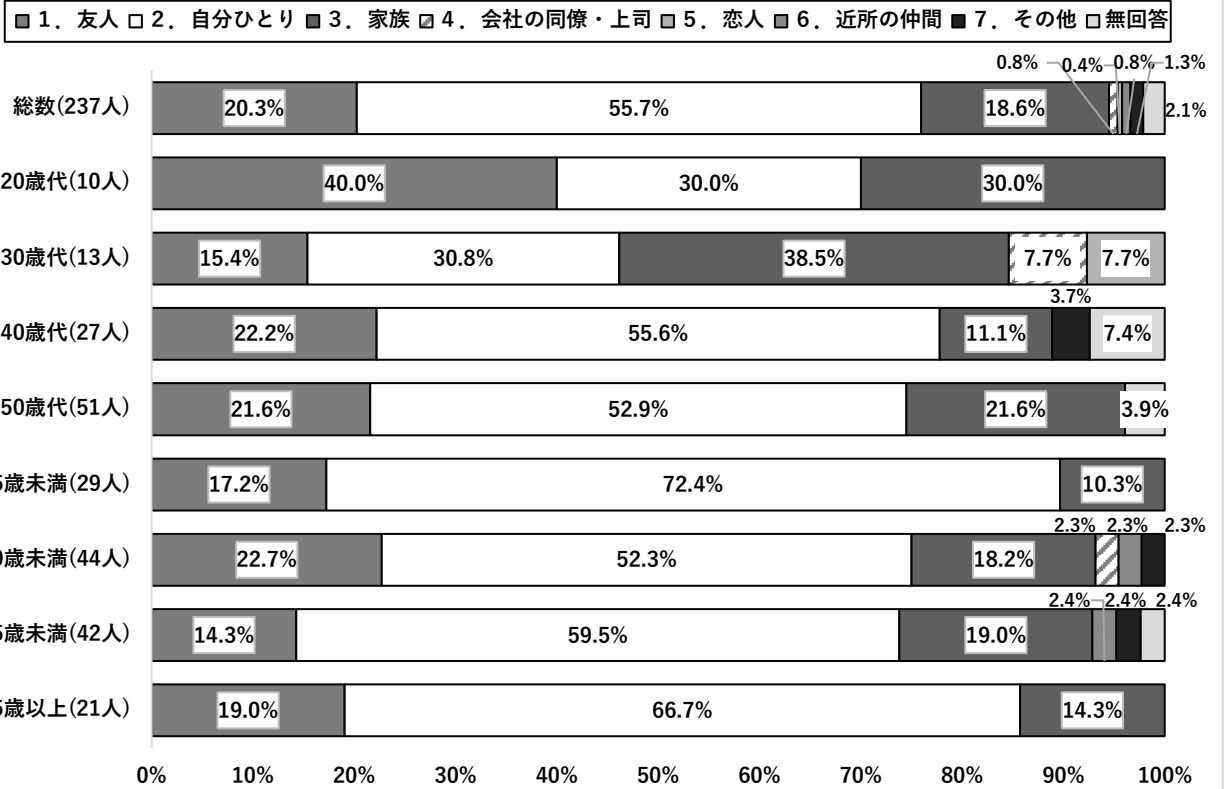


性別年齢層別の分析結果では、40歳代以上の男性では「自分ひとり」と回答した人の割合が最も高い一方で、女性ではいずれの年代においても「家族」と回答した人の割合が「自分ひとり」と同等かそれ以上に高い傾向にあります。

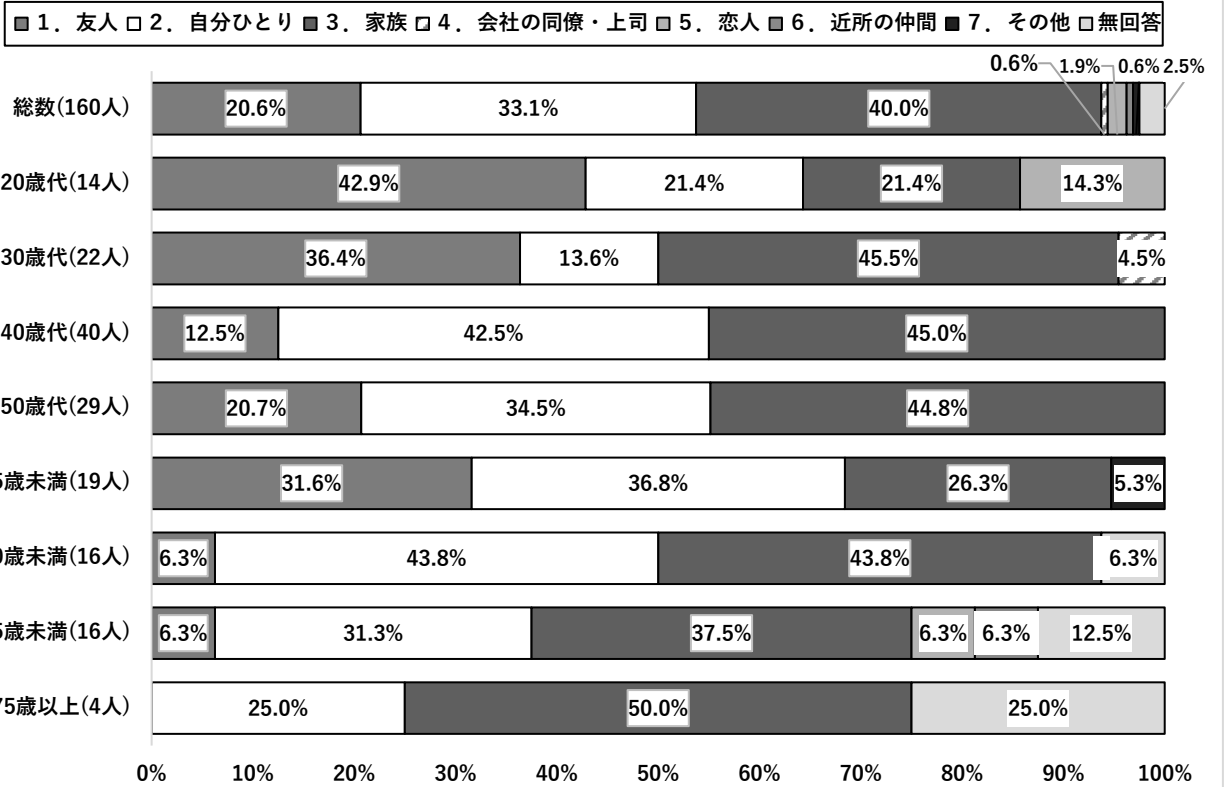
また、20歳代・30歳代では男性・女性ともに「友人」や「家族」とともに飲酒をする人が他の年代に比べて多くなっています。

お酒を飲む相手（性別年齢層別）

男性



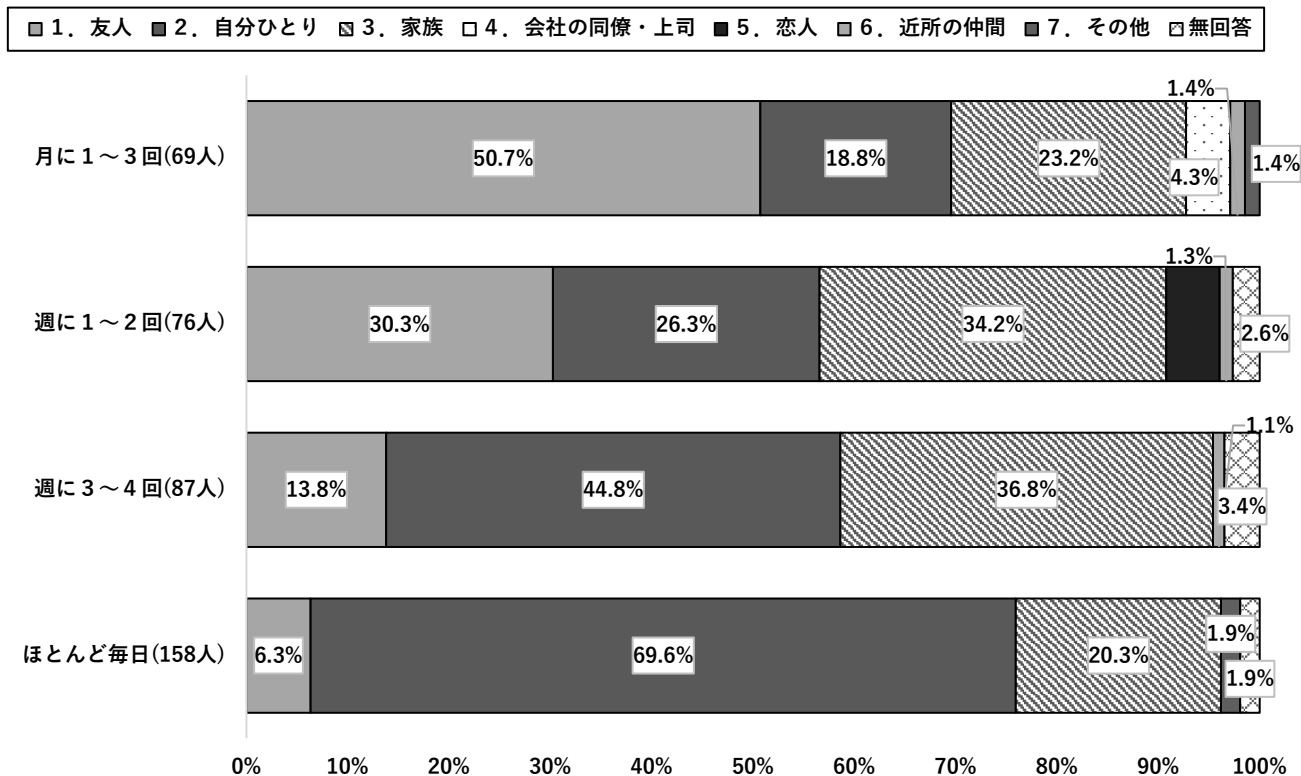
女性



飲酒の頻度との関係でみると、「友人」と飲むのは、「月に1～3回」が50.7%と最も高く、飲酒の頻度が高いほど割合は低くなります。

「自分ひとり」で飲むのは、飲酒の頻度が高いほど割合も高くなり、「ほとんど毎日」が69.6%と最も高くなります。

お酒を飲む相手（飲酒頻度）



10. たばこについて

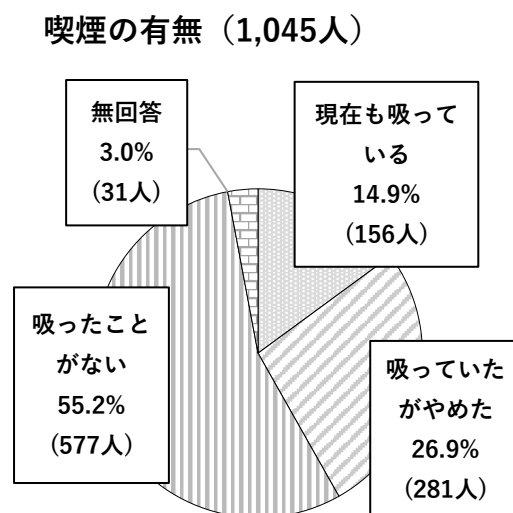
(1) 喫煙状況

問 64. 習慣的にたばこ（電子たばこや加熱式たばこも含む）を吸いますか。

①喫煙の有無（単一回答）

「吸ったことがない」が 55.2%

喫煙状況については、「吸ったことがない」が 55.2%と最も高く、次に「吸っていたがやめた」が 26.9%、「現在も吸っている」が 14.9%となります。



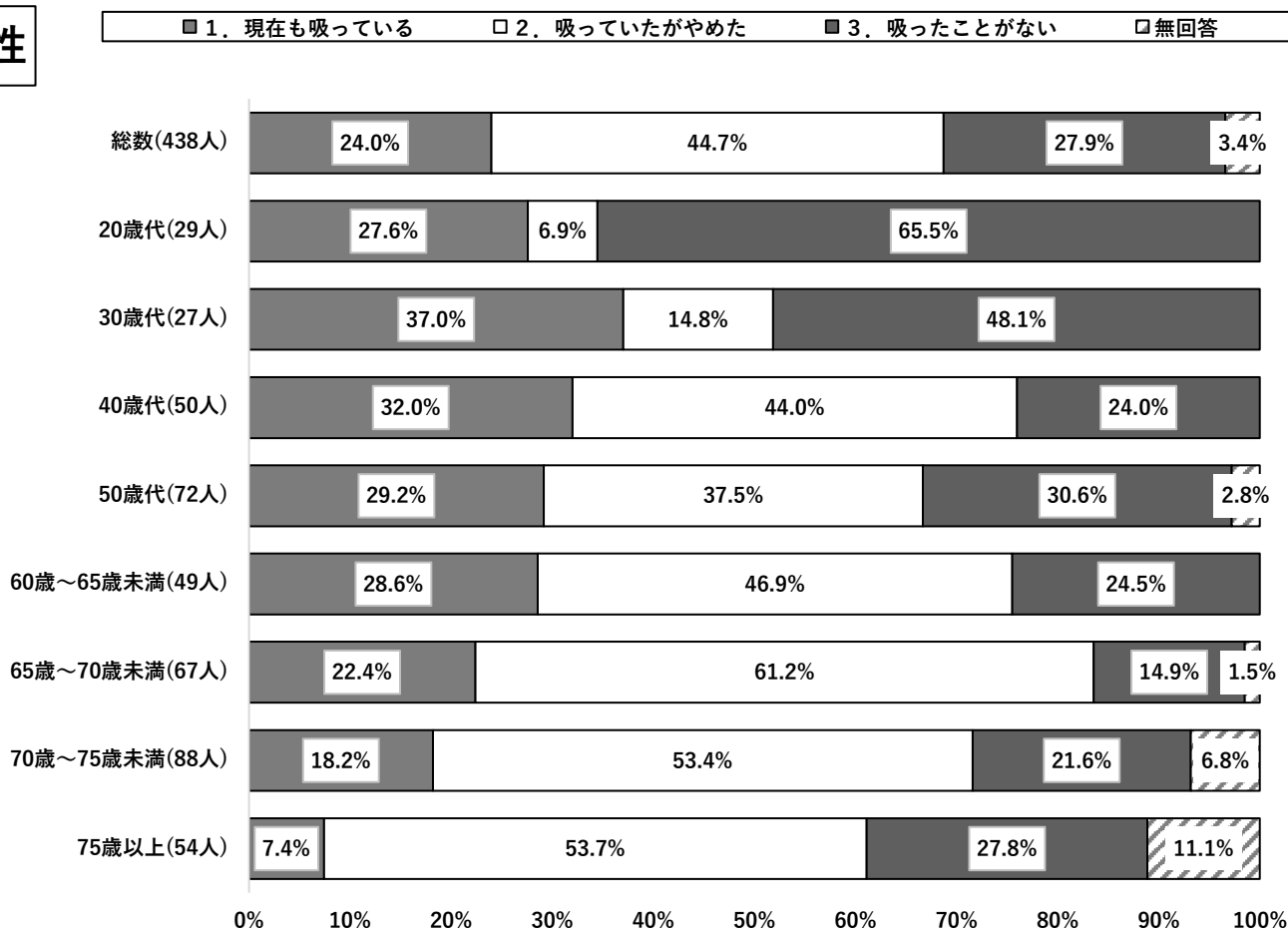
性別年齢層別の分析結果では、75歳未満の年代において男性は女性に比べ「現在も吸っている」と回答した割合が高く、2倍～6倍となっています。

男性の中で「現在も吸っている」と回答した割合が最も高いのは30歳代で、それ以降は上の年代になるにつれ割合が低下しています。

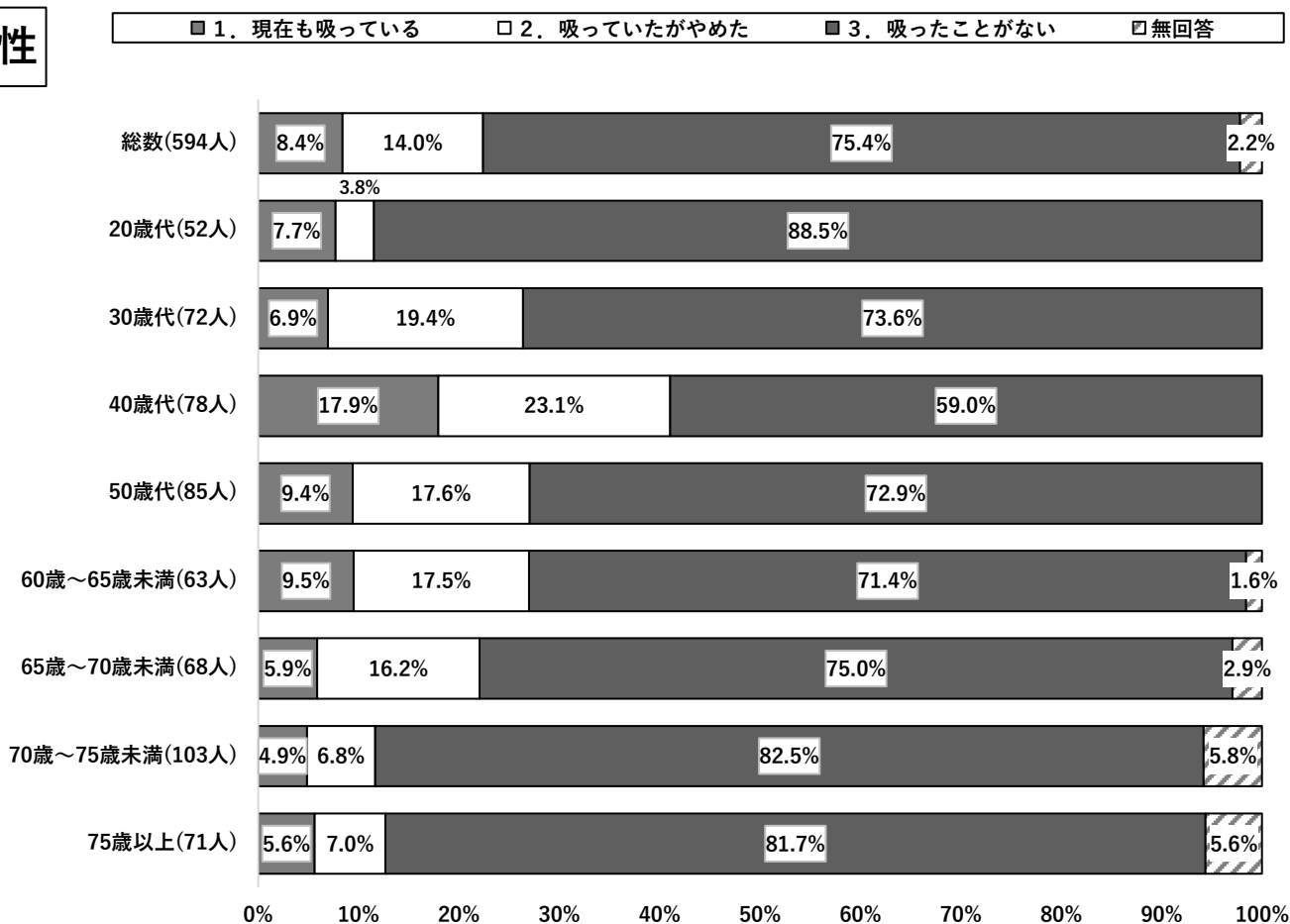
一方、女性はいずれの年代においても「吸ったことがない」と回答した人の割合が高く、40歳代以外の年代では7割を超えています。女性の40歳代では、「現在も吸っている(17.9%)」と「吸っていたがやめた(23.1%)」を合すると4割以上に喫煙の経験がありました。

喫煙の有無（性別年齢層別）

男性



女性

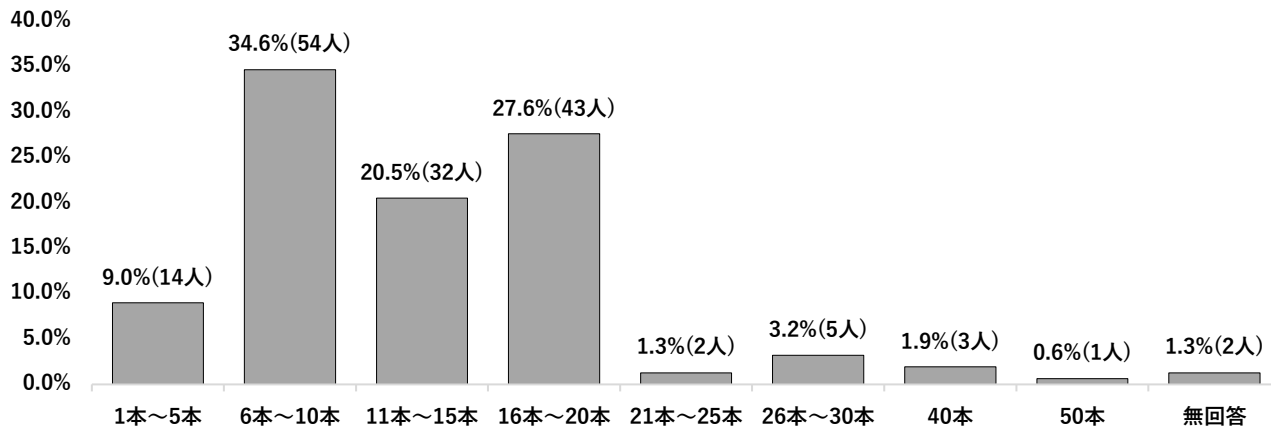


②喫煙本数（単一回答）

「6本～10本」が34.6%

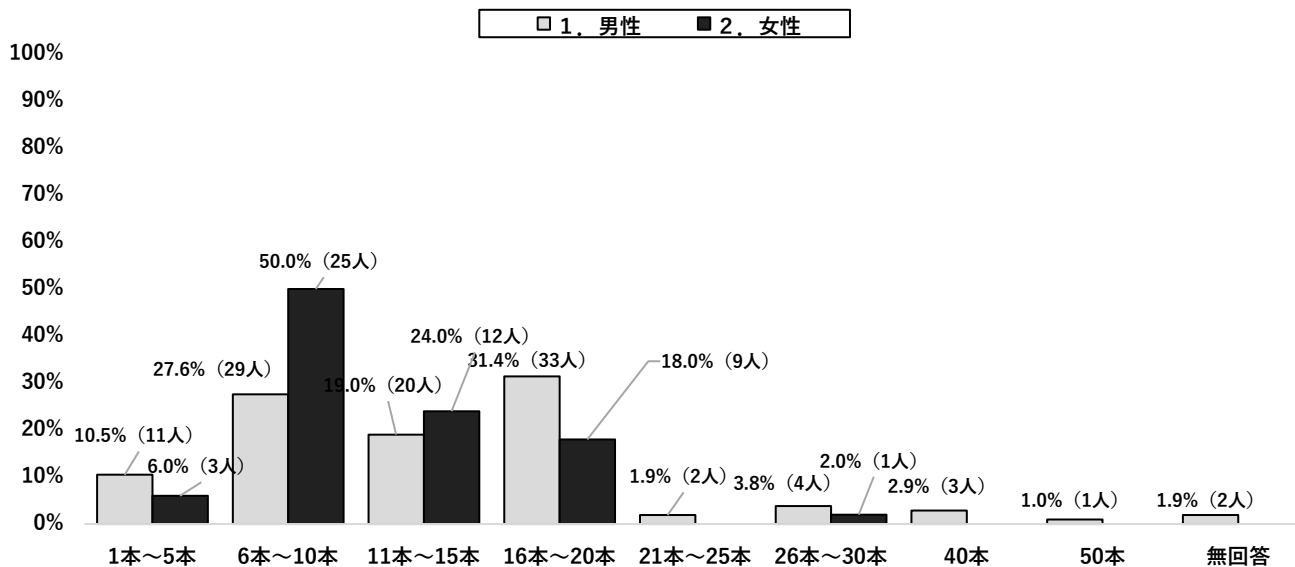
たばこを「現在も吸っている」と答えた人の1日に吸っている本数については、「6本～10本」が34.6%と最も高く、次に、「16本～20本」が27.6%となります。

喫煙本数（156人）



性別にみると、「16本～20本」では、男性が女性を上回りますが、「6本～10本」及び「11本～15本」では女性が男性を上回っており、男性の喫煙本数が多い傾向にあります。

喫煙本数（性別）



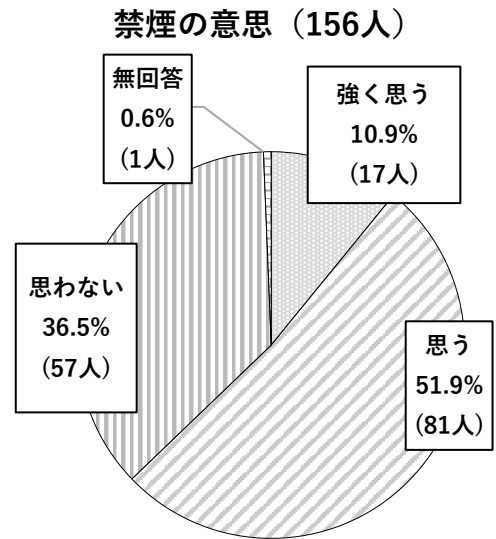
(2) 禁煙の意思（単一回答）

問 64-2. 禁煙しようと思いますか。（問 64 で「1.」と回答した人）

「思う」が 51.9%

禁煙の意思については、「思う」が 51.9%と最も高く、次に「思わない」が 36.5%、「強く思う」が 10.9%となります。

「強く思う」と「思う」と回答した割合を合わせた 62.8%の人は禁煙の意思があります。

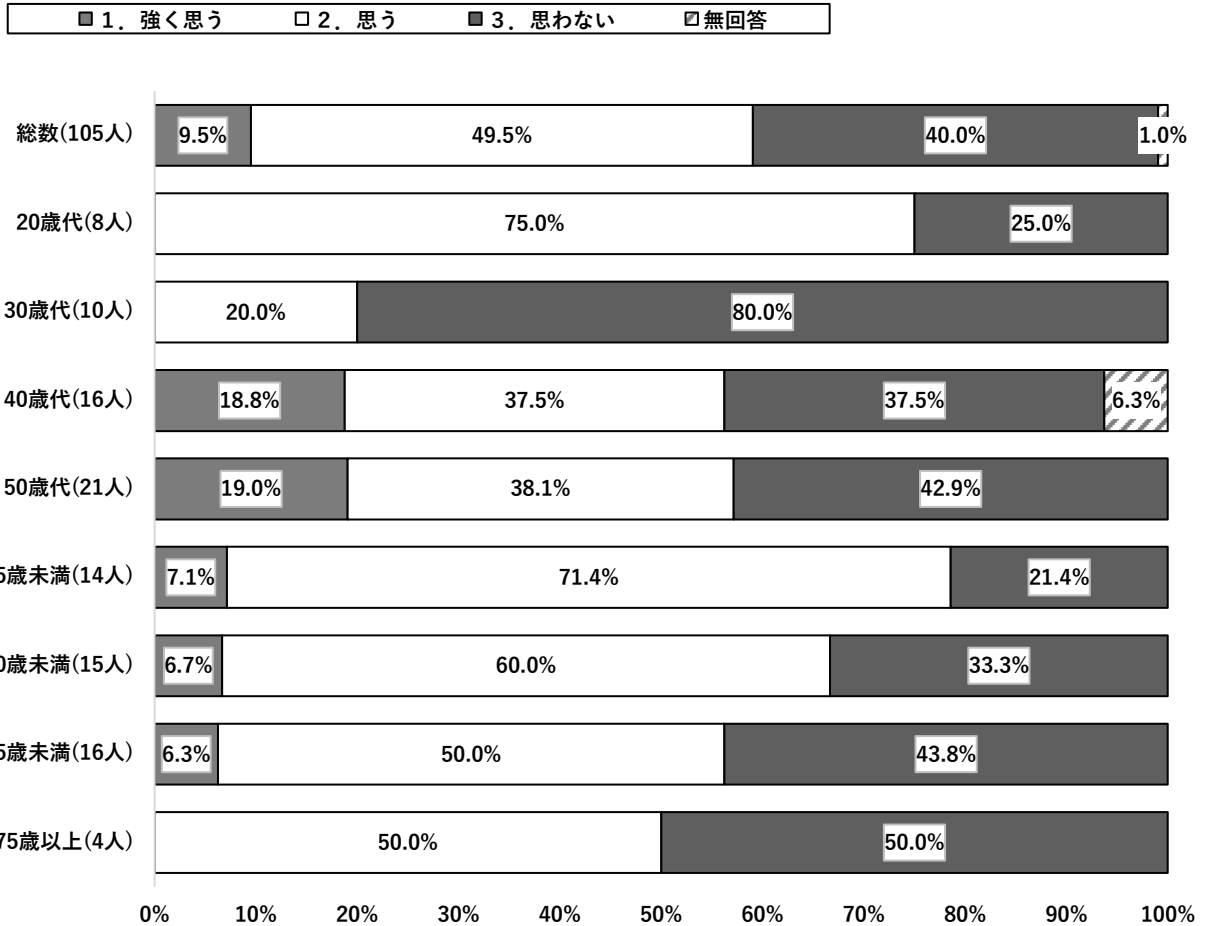


性別年齢層別の分析結果では、30 歳代では男性・女性ともに「思わない」と回答した人の割合がすべての年代の中で最も高くなっています。60 歳以上の男性では高齢になるにつれ「思わない」と回答した人の割合が高くなっています。

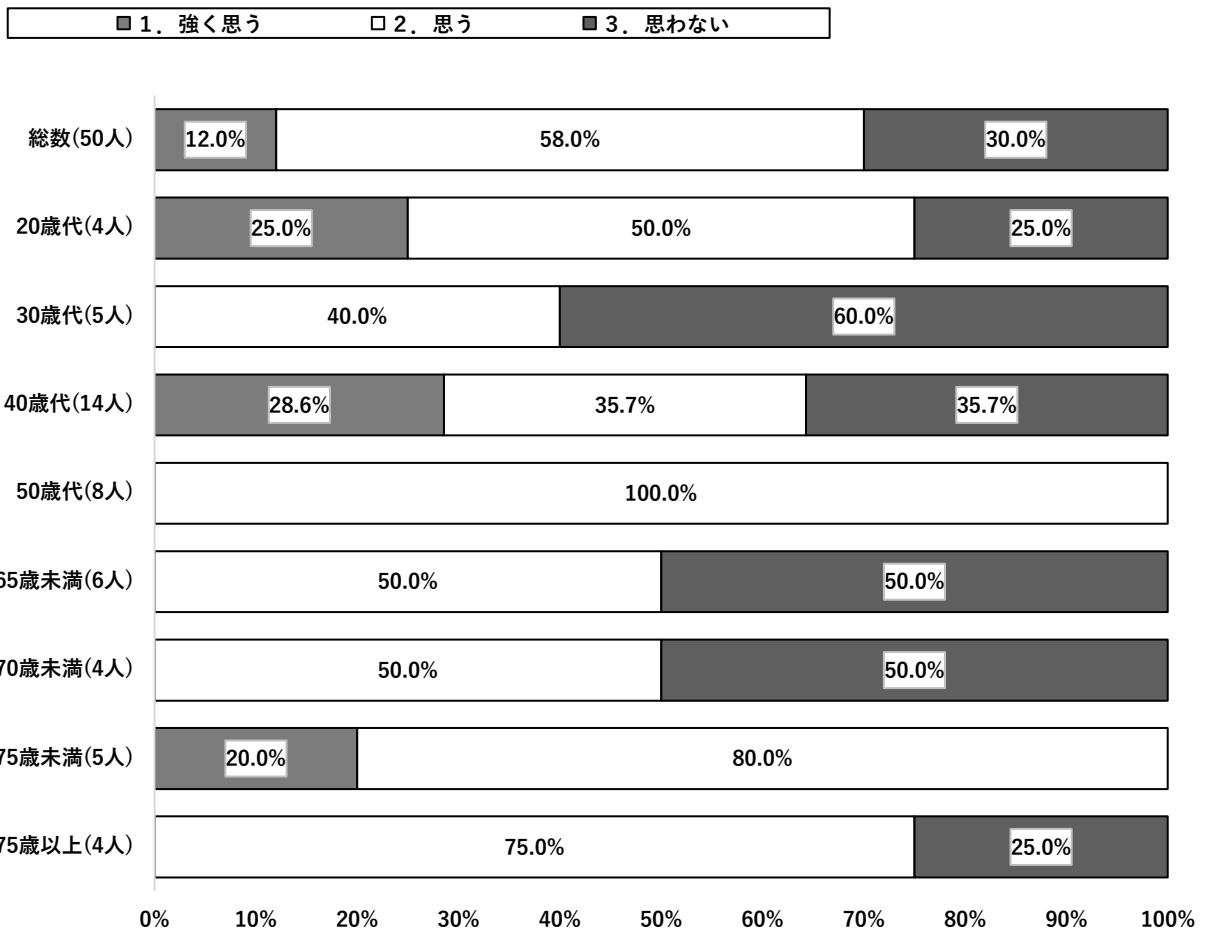
女性については年代間で回答にばらつきがありますが、年代ごとの傾向は明確ではありません。

禁煙の意思（性別年齢層別）

男性



女性



(3) 喫煙時に気を付けていること（複数回答）

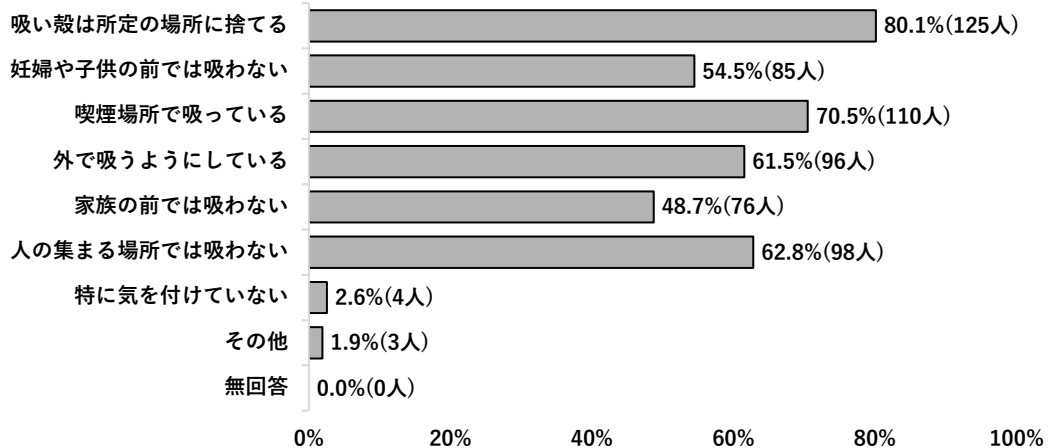
問 64-3. たばこを吸うときに気を付けていることはありますか。（問 64 で「1.」と回答した人）

「吸い殻は所定の場所に捨てる」が 80.1%

たばこを吸うときに気を付けていることについては、「吸い殻は所定の場所に捨てる」が 80.1%と最も高く、次に「喫煙場所で吸っている」が 70.5%、「人の集まる場所では吸わない」が 62.8%となります。

※複数回答につき、割合の合計が 100%を超える場合があります。

喫煙時に気を付けること（156 人）



性別年齢層別の分析結果では、70歳～75歳未満の男性を除くすべての年代の男女において「吸い殻は所定の場所に捨てる」が7割を超えています。また、75歳以上を除く年代の男性においては「吸い殻は所定の場所に捨てる」と回答した人の割合が最も高い（同率を含む）一方、20歳代および60歳以上の女性においては「人の集まる場所では吸わない」と回答した人の割合が最も高くなっています（同率を含む）。

喫煙時に気を付けること（性別年齢層別）

【男性】	総数	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳～65歳未満	65歳～70歳未満	70歳～75歳未満	75歳以上
総回答数	105	8	10	16	21	14	15	16	4
吸い殻は所定の場所に捨てる	77.1%	75.0%	90.0%	75.0%	85.7%	78.6%	80.0%	56.3%	75.0%
妊婦や子供の前では吸わない	53.3%	37.5%	40.0%	37.5%	61.9%	57.1%	66.7%	50.0%	75.0%
喫煙場所で吸っている	71.4%	62.5%	80.0%	68.8%	71.4%	71.4%	80.0%	56.3%	100.0%
外で吸うようにしている	65.7%	62.5%	80.0%	68.8%	66.7%	85.7%	53.3%	43.8%	75.0%
家族の前では吸わない	47.6%	62.5%	60.0%	31.3%	52.4%	42.9%	66.7%	18.8%	75.0%
人の集まる場所では吸わない	56.2%	37.5%	50.0%	56.3%	57.1%	57.1%	66.7%	50.0%	75.0%
特に気を付けていない	2.9%	0.0%	0.0%	6.3%	4.8%	7.1%	0.0%	0.0%	0.0%
その他	1.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	6.7%	6.3%	0.0%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

【女性】	総数	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳～65歳未満	65歳～70歳未満	70歳～75歳未満	75歳以上
総回答数	50	4	5	14	8	6	4	5	4
吸い殻は所定の場所に捨てる	88.0%	100.0%	80.0%	92.9%	75.0%	83.3%	100.0%	80.0%	75.0%
妊婦や子供の前では吸わない	58.0%	75.0%	40.0%	50.0%	62.5%	50.0%	75.0%	80.0%	50.0%
喫煙場所で吸っている	70.0%	75.0%	40.0%	78.6%	87.5%	33.3%	100.0%	60.0%	50.0%
外で吸うようにしている	54.0%	75.0%	40.0%	71.4%	25.0%	33.3%	50.0%	80.0%	25.0%
家族の前では吸わない	52.0%	25.0%	20.0%	50.0%	25.0%	83.3%	75.0%	80.0%	50.0%
人の集まる場所では吸わない	78.0%	100.0%	20.0%	71.4%	75.0%	83.3%	100.0%	100.0%	100.0%
特に気を付けていない	2.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%
その他	2.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

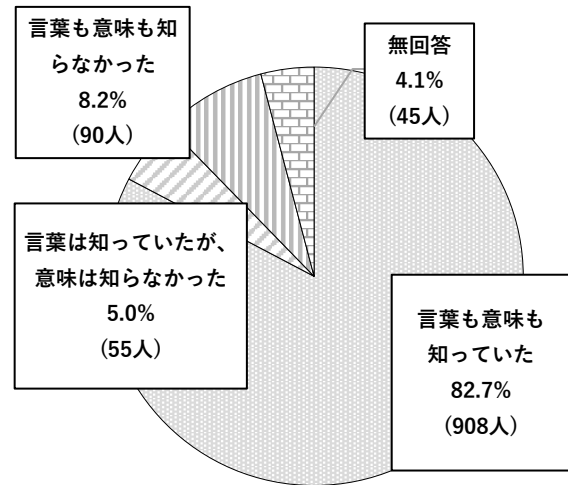
(4) 受動喫煙の認知度（単一回答）

問 65. 「受動喫煙」という言葉やその意味を知っていましたか。

「言葉も意味も知っていた」が 82.7%

受動喫煙については、「言葉も意味も知っていた」が 82.7%と最も高く、次に「言葉も意味も知らなかった」が 8.2%、「言葉は知っていたが、意味は知らなかった」が 5.0%となります。

受動喫煙の認知度（1,098人）

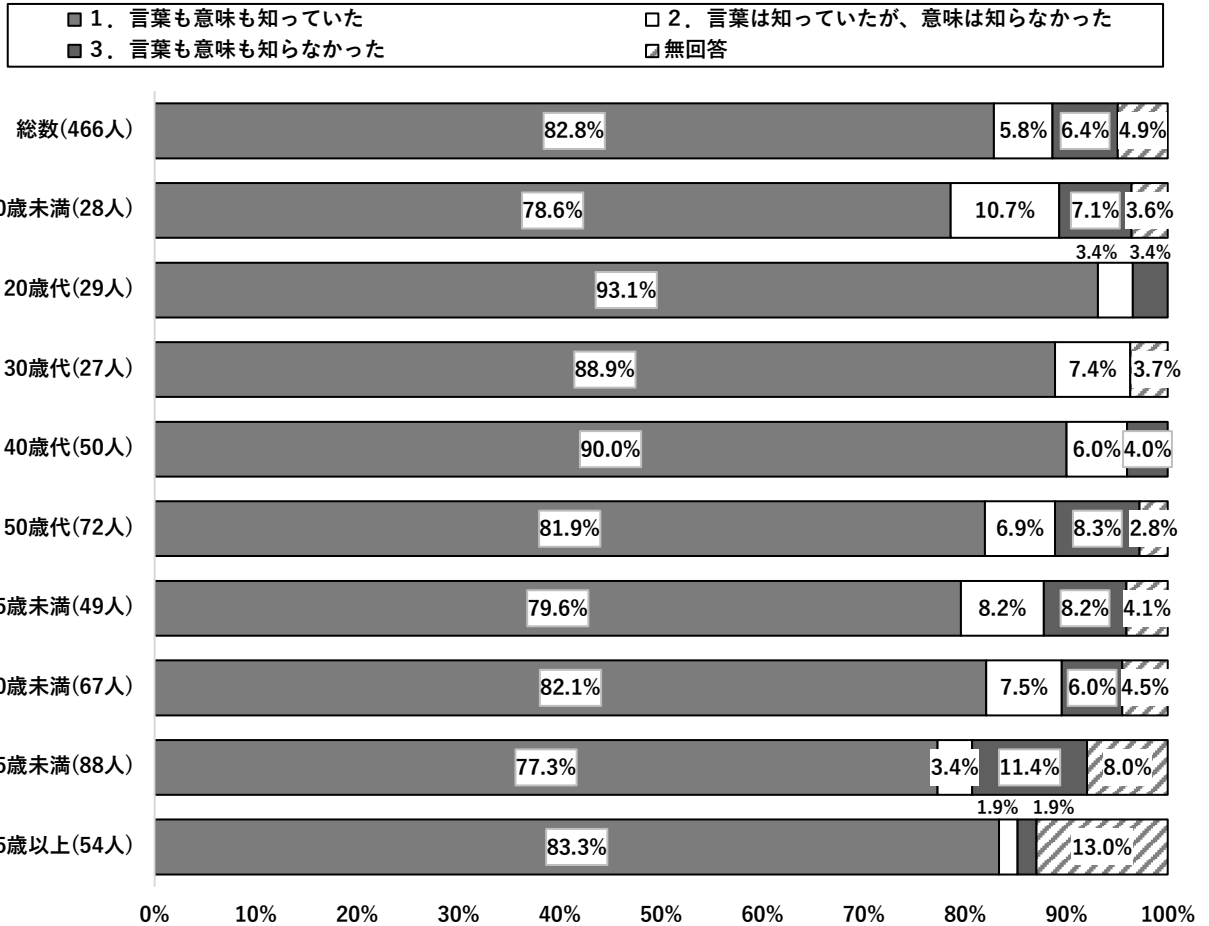


性別年齢層別の分析結果では、男性および70歳未満の女性では「言葉も意味も知っていた」と回答した人の割合が約8割となっています。

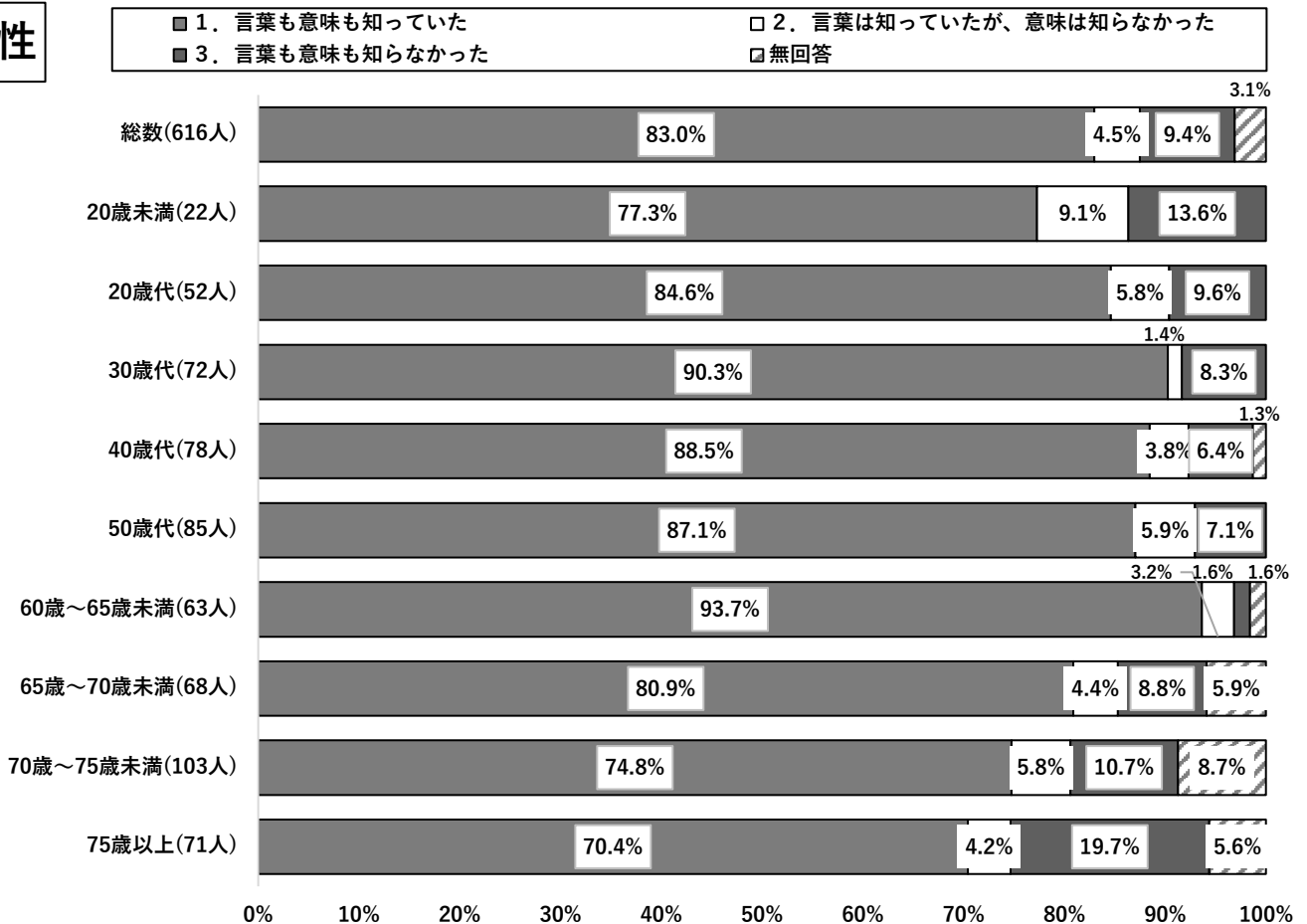
また、20歳未満の女性または70歳以上の女性では「言葉は知っていたが、意味は知らなかった」または「言葉も意味も知らなかった」と回答した人の割合が他の年代に比べ高くなっています。

受動喫煙の認知度（性別年齢層別）

男性

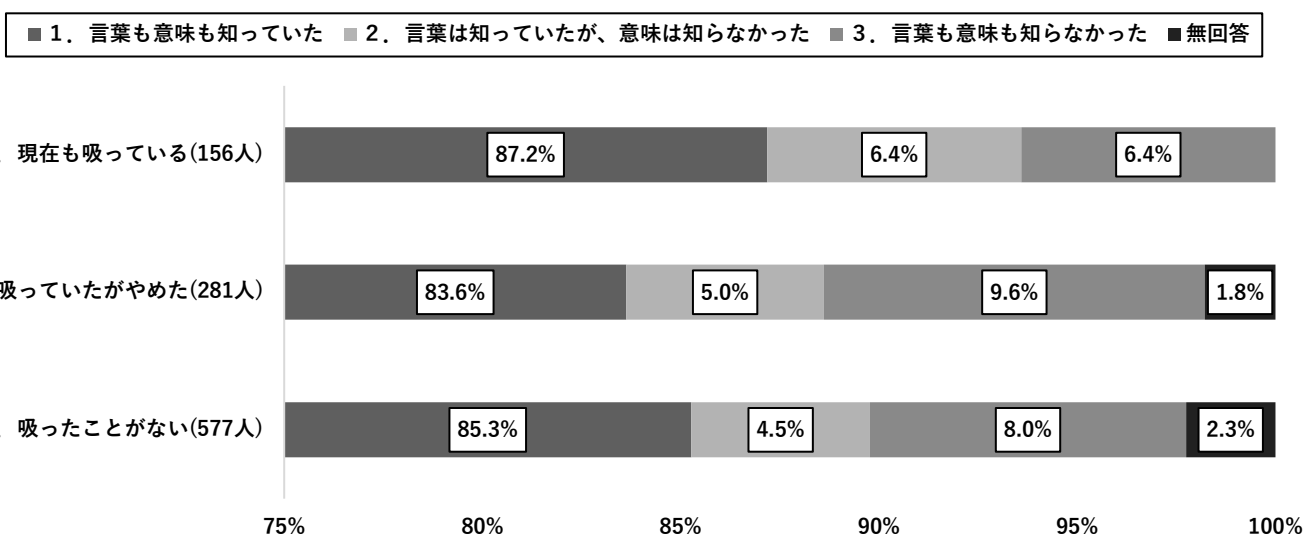


女性



喫煙習慣別の分析では、それぞれに大きな差はみられないものの、「現在も吸っている」と回答している人の方が、そうでない人に比べて、受動喫煙の認知度が高いという結果になっております。

受動喫煙の認知度（喫煙の有無別）



(5) 受動喫煙で気を付けていること（単一回答）

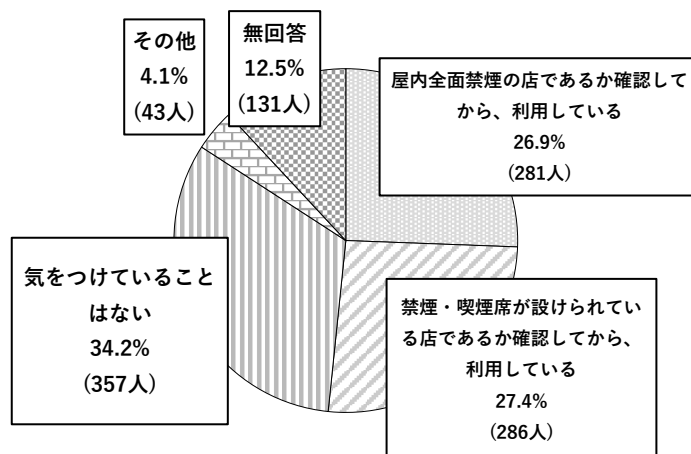
問 66. 飲食店を利用するとき、受動喫煙で気を付けていることは何ですか。

「気を付けていることはない」が 34.2%

受動喫煙で気を付けていることについては、「気を付けていることがない」が 34.2%と最も高く、次に「禁煙・喫煙席が設けられている店であるか確認してから、利用している」が 27.4%、「屋内全面禁煙の店であるか確認してから、利用している」が 26.9%となります。

「屋内全面禁煙の店であるか確認してから、利用している」と「禁煙・喫煙席が設けられている店であるか確認してから、利用している」を合計すると 54.3%となります。

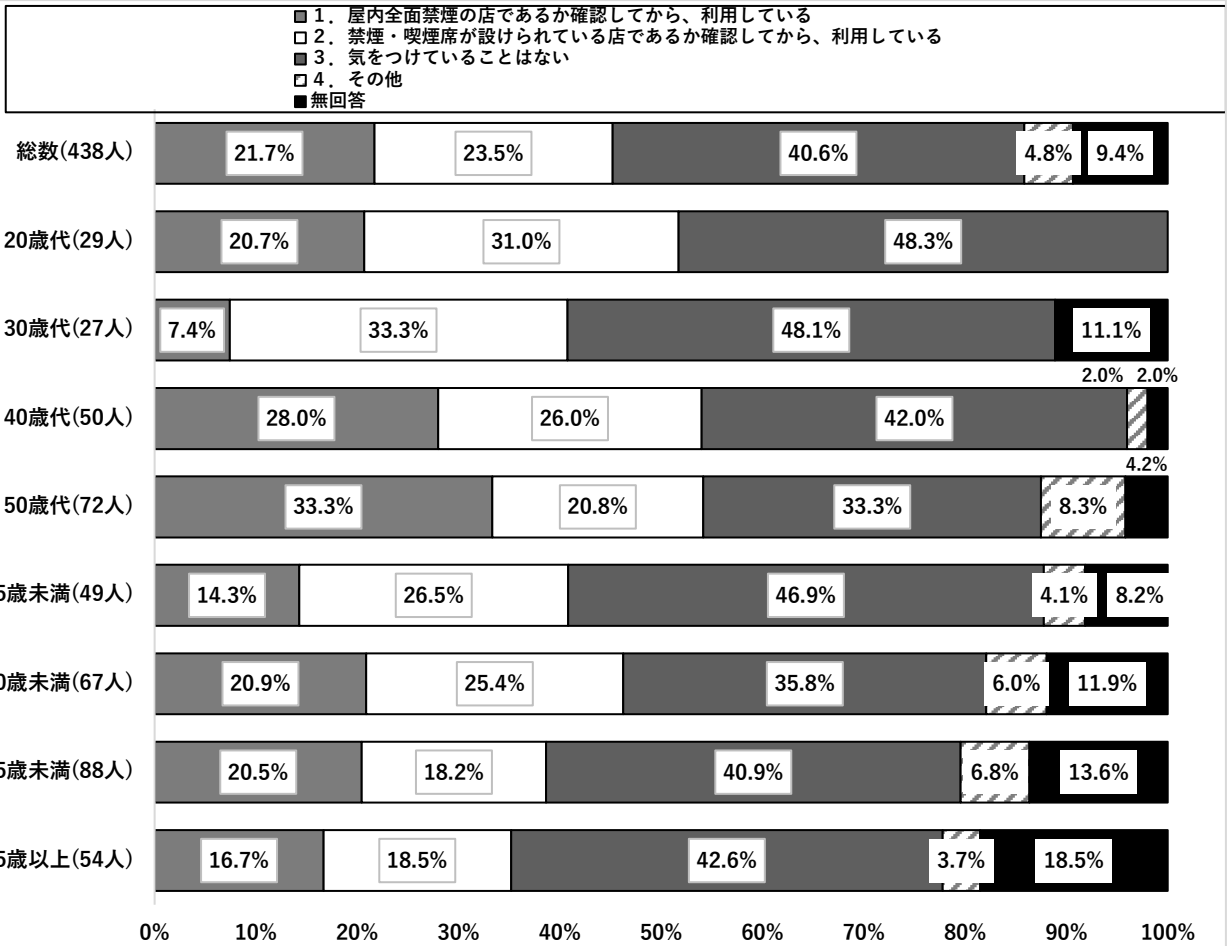
受動喫煙で気を付けていること (1,045人)



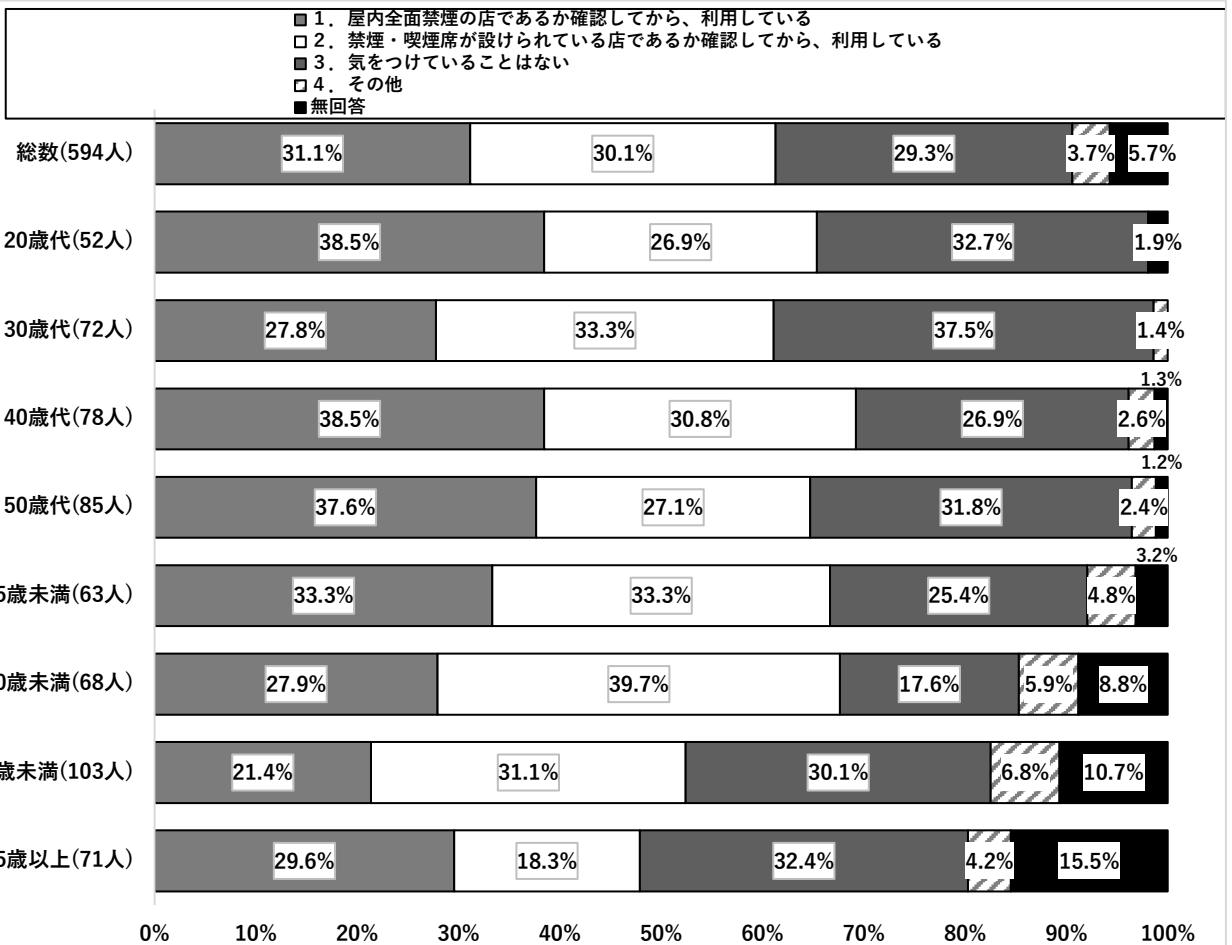
性別年齢層別の分析結果では、男性は女性に比べ「気を付けていることはない」と回答した人の割合が高く、いずれの年代においても4割前後となっています。無回答者を除いた場合、年代間に大きな差はみられません。

受動喫煙で気を付けていること（性別年齢層別）

男性



女性



(6) たばこが身体に与える影響（複数回答）

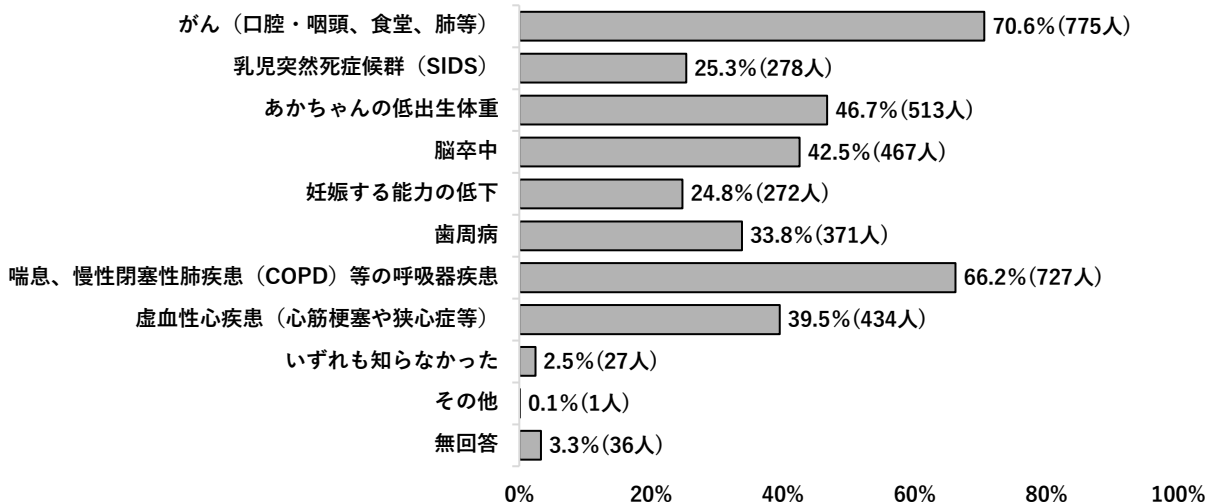
問 67. たばこが身体に与える影響として、次のうちあなたが知っているものはどれですか。

「がん（口腔・咽頭、食管、肺等）」が 70.6%

たばこが身体に与える影響として知っているものについては、「がん（口腔・咽頭、食管、肺等）」が 70.6%と最も高く、次に「喘息、慢性閉塞性肺疾患（COPD）等の呼吸器疾患」が 66.2%、「あかちゃんの低出生体重」が 46.7%となります。

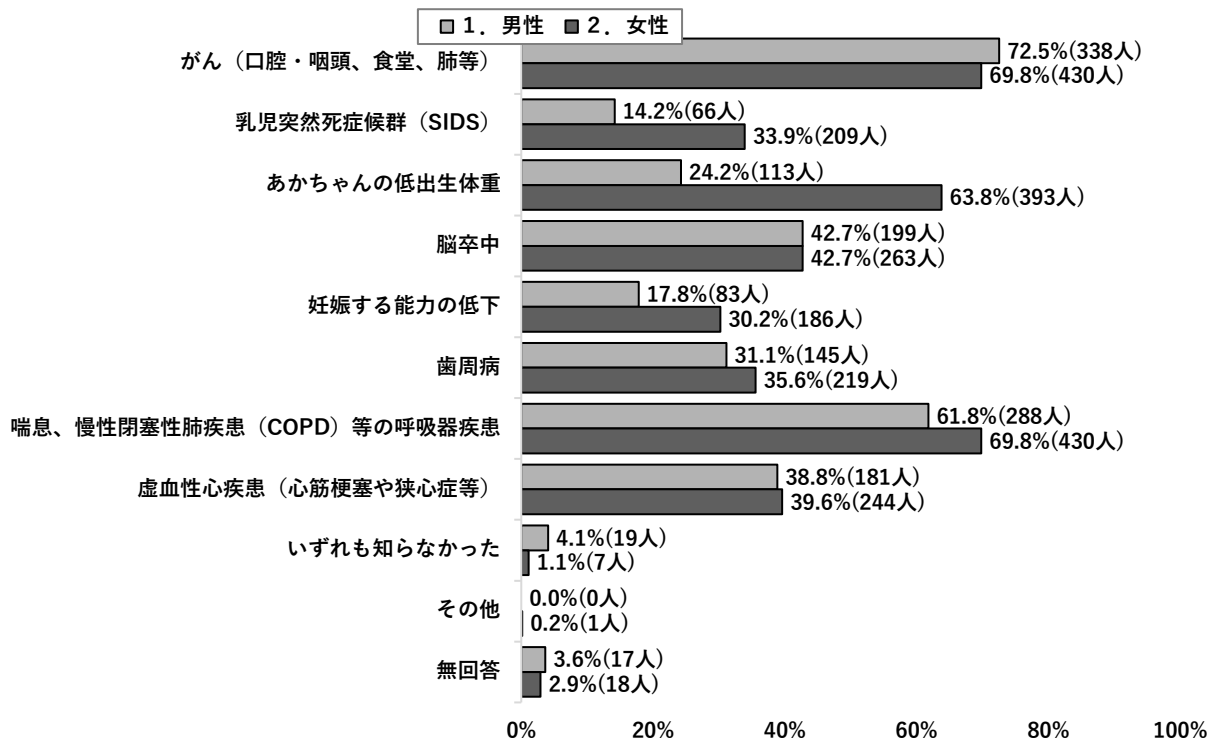
※複数回答につき、割合の合計が 100%を超える場合があります。

たばこが身体に与える影響（1,098 人）



性別にみると、「がん(口腔・咽頭、食管、肺等)」が、男女とも 7 割前後と最も高い割合となっています。そのほか、「脳卒中」については男女に差はありませんが、それ以外の知っていることでは、いずれも女性が高く、特に「あかちゃんの低出生体重」において顕著な差がみられます。

たばこが身体に与える影響（性別）



(7) たばこの健康への影響（複数回答）

問 68. たばこがあなたの健康に与える影響について、どう思いますか。

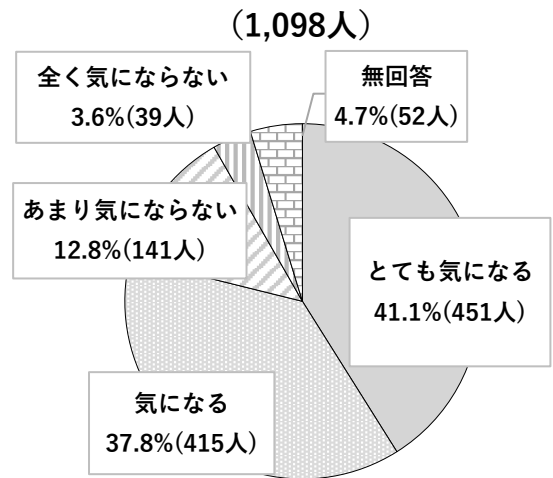
「とても気になる」が 41.1%

たばこの健康への影響については、「とても気になる」が 41.1%と最も高く、次に「気になる」が 37.8%、「あまり気にならない」が 12.8%となります。

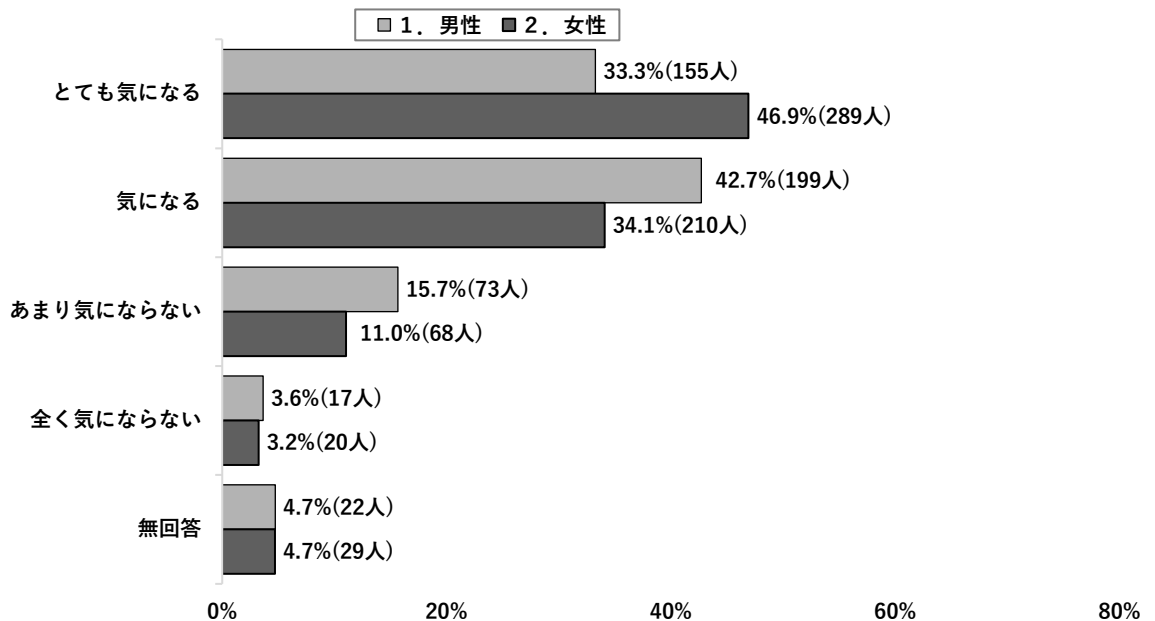
性別にみると、「とても気になる」は、「男性」が 33.3%、「女性」が 46.9%で、女性の割合が高く、「気になる」及び「あまり気にならない」と回答した人の割合は男性が高くなります。

「全く気にならない」と回答した人の割合については、男女で差はみられません。

たばこの健康への影響

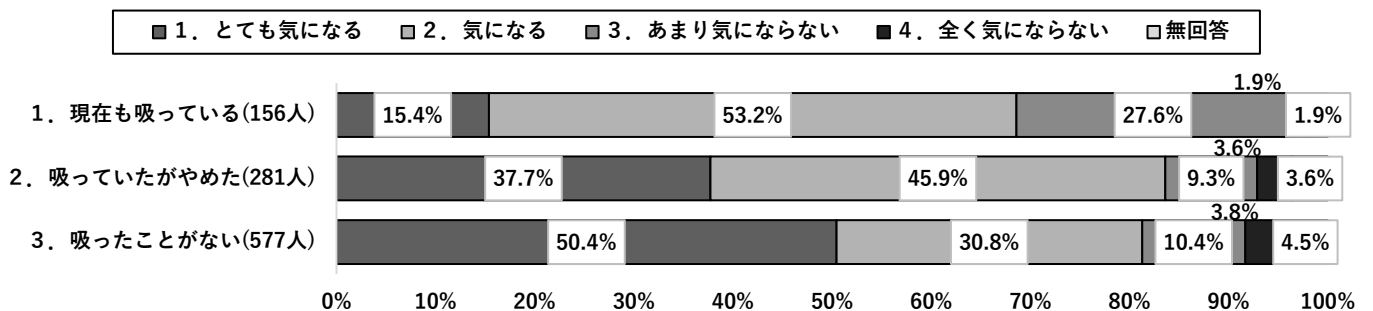


たばこの健康への影響（性別）



喫煙習慣別の分析では、たばこを「吸ったことがない」人ほどたばこの健康への影響について「とても気になる」「気になる」の割合が高くなり、「現在も吸っている」と回答している人ほどその割合が低くなります。

たばこの健康への影響（喫煙の有無別）



(8) たばこ対策として重要なこと（複数回答）

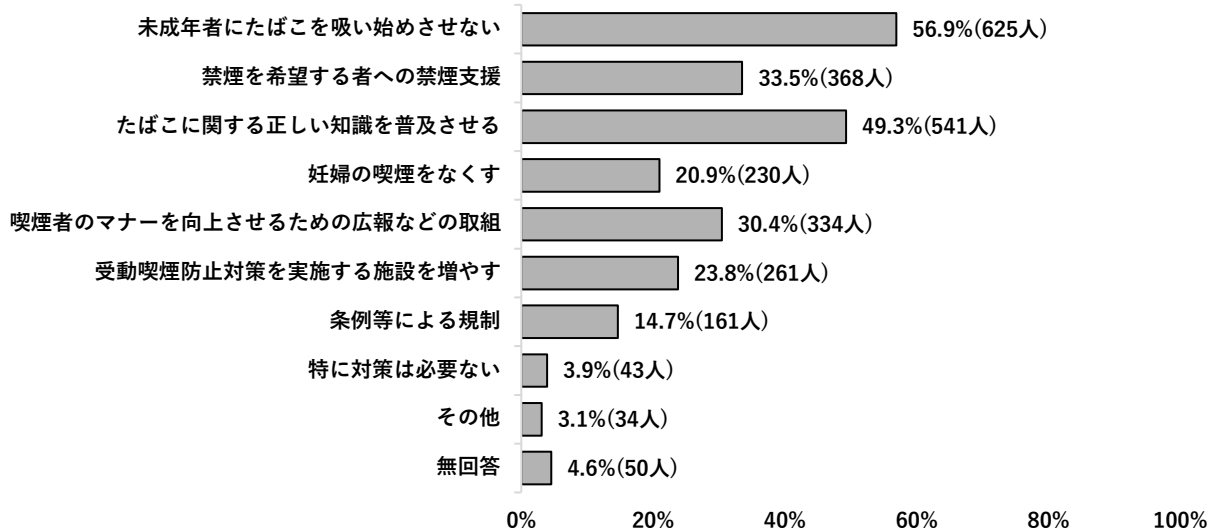
問 69. 今後どのようなたばこ対策が重要だと思いますか。

「未成年者にたばこを吸い始めさせない」が56.9%

たばこ対策として重要なことについては、「未成年者にたばこを吸い始めさせない」が56.9%と最も高く、次に「たばこに関する正しい知識を普及させる」が49.3%、「禁煙を希望する者への禁煙支援」が33.5%となります。

※複数回答につき、割合の合計が100%を超える場合があります。

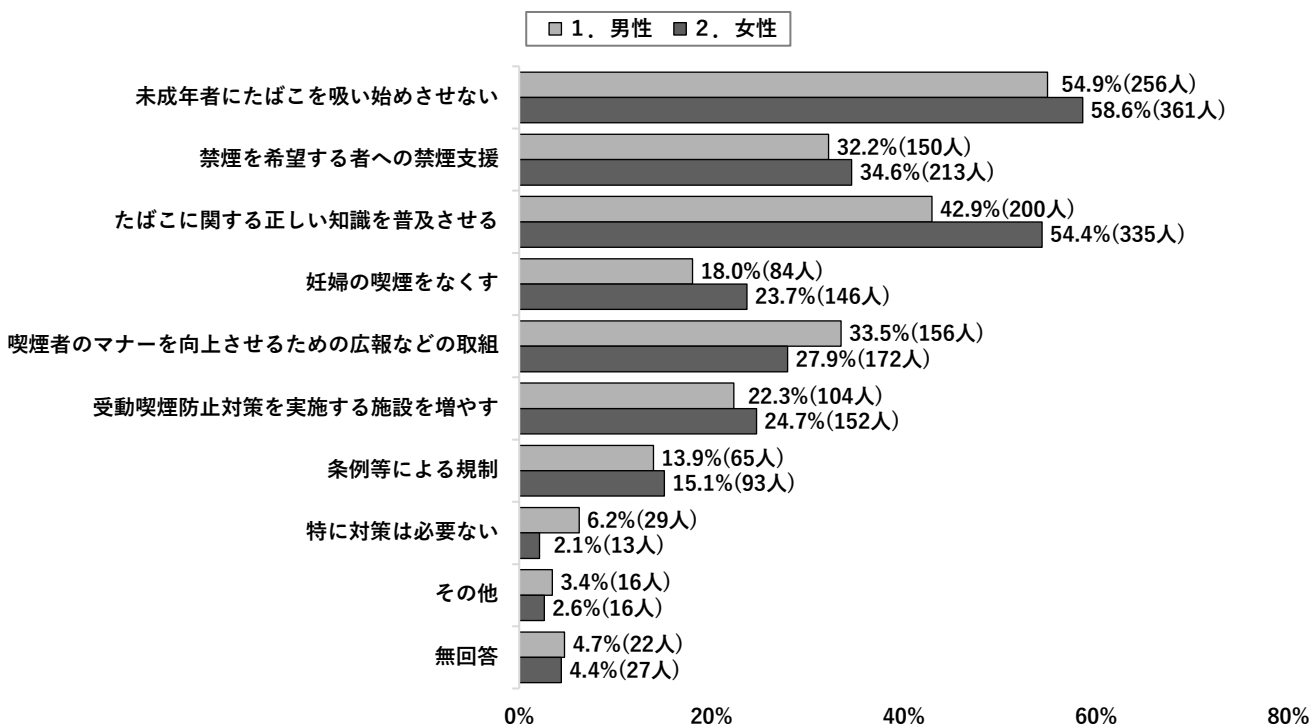
たばこ対策として重要なこと（1,098人）



性別にみると、「喫煙者のマナーを向上させるための広報などの取組」と「その他」の対策については、男性の割合が高くなりますが、そのほかの対策を回答した人の割合は、いずれも女性が高くなります。

特に「たばこに関する正しい知識を普及させる」の差が大きくなります。また、「特に対策は必要ない」と回答した人の割合は、男性が高くなります。

たばこ対策として重要なこと（性別）



11. デジタル技術の活用について

(1) デジタル技術の活用（複数回答）

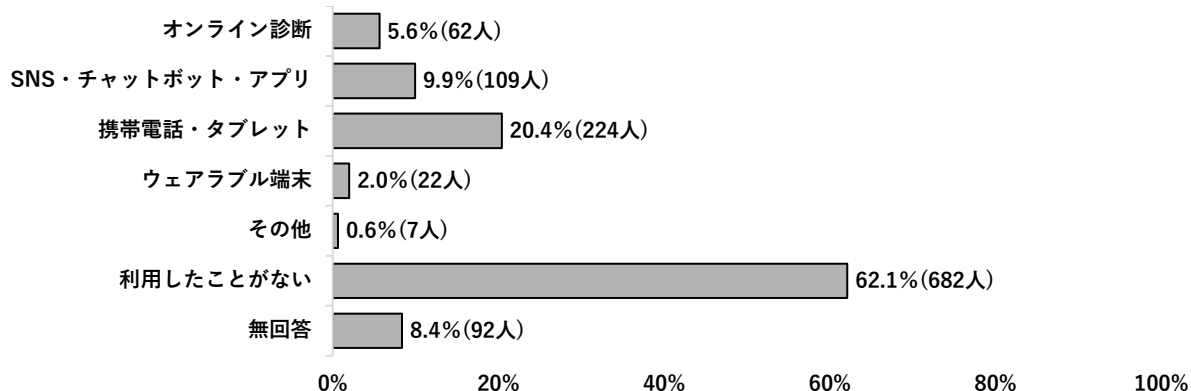
問 70. これまでに健康管理でどのようなデジタル技術を活用したことがありますか。

「利用したことがない」が 62.1%

デジタル技術については、「利用したことがない」が 62.1%と最も高く、次に「携帯電話・タブレット」が 20.4%、「SNS・チャットボット・アプリ」が 9.9%となります。

※複数回答につき、割合の合計が 100%を超える場合があります。

デジタル技術の活用（1,098 人）



性別年齢層別の分析結果では、男性・女性ともにいずれの年代においても「利用したことがない」と回答した人の割合が最も高く、特に上の年代になるほど割合が高い傾向にあります。

また、20 歳未満および 20 歳代の女性を除くと男女ともいずれの年代においても「携帯電話・タブレット」が 2 番目に高くなっていますが、20 歳未満および 20 歳代の女性は「SNS・チャットボット・アプリ」が 2 番目に高く（同率含む）、30 歳代においても男性の 2 倍以上となっています。

デジタル技術の活用（性別年齢層別）

【男性】	総数	20 歳未満	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳～65 歳未満	65 歳～70 歳未満	70 歳～75 歳未満	75 歳以上
総回答数	466	28	29	27	50	72	49	67	88	54
オンライン診断	5.4%	14.3%	0.0%	3.7%	10.0%	11.1%	4.1%	4.5%	1.1%	1.9%
SNS・チャットボット・アプリ	7.9%	3.6%	20.7%	11.1%	18.0%	12.5%	4.1%	0.0%	4.5%	5.6%
携帯電話・タブレット	18.7%	25.0%	31.0%	18.5%	24.0%	27.8%	24.5%	11.9%	11.4%	7.4%
ウェアラブル端末	1.5%	0.0%	3.4%	3.7%	2.0%	4.2%	0.0%	0.0%	0.0%	1.9%
その他	1.1%	0.0%	0.0%	0.0%	2.0%	0.0%	0.0%	1.5%	2.3%	1.9%
利用したことがない	63.5%	57.1%	62.1%	59.3%	58.0%	61.1%	63.3%	71.6%	64.8%	64.8%
無回答	10.3%	7.1%	0.0%	11.1%	2.0%	4.2%	4.1%	11.9%	20.5%	20.4%

【女性】	総数	20 歳未満	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳～65 歳未満	65 歳～70 歳未満	70 歳～75 歳未満	75 歳以上
総回答数	616	22	52	72	78	85	63	68	103	71
オンライン診断	5.8%	13.6%	13.5%	16.7%	7.7%	3.5%	3.2%	1.5%	1.0%	1.4%
SNS・チャットボット・アプリ	11.4%	18.2%	30.8%	23.6%	17.9%	16.5%	3.2%	2.9%	1.0%	0.0%
携帯電話・タブレット	21.4%	18.2%	25.0%	25.0%	24.4%	29.4%	27.0%	16.2%	18.4%	7.0%
ウェアラブル端末	2.3%	4.5%	5.8%	6.9%	1.3%	3.5%	1.6%	0.0%	0.0%	0.0%
その他	0.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.2%	0.0%	0.0%	1.0%	0.0%
利用したことがない	61.4%	63.6%	51.9%	50.0%	56.4%	56.5%	63.5%	72.1%	66.0%	71.8%
無回答	6.8%	0.0%	1.9%	0.0%	1.3%	2.4%	6.3%	8.8%	13.6%	19.7%

(2) 健康増進への効果（複数回答）

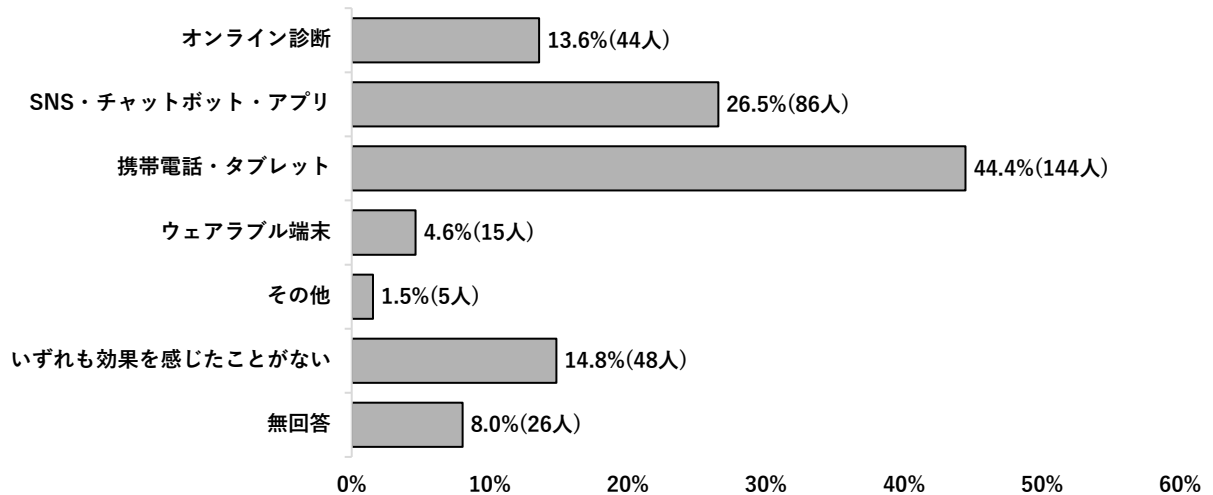
問 70-1. 自身の健康推進に効果を感じているものは何ですか。（問 70 で「1. ～5.」と答えた人）

「携帯電話・タブレット」が 44.4%

健康推進に効果を感じるものについては、「携帯電話・タブレット」が 44.4%と最も高く、次に「SNS・チャットボット・アプリ」が 26.5%、「いずれも効果を感じたことがない」は 14.8%となります。

※複数回答につき、割合の合計が 100%を超える場合があります。

健康増進への効果（324 人）



性別年齢層別の分析結果では、男性および 50 歳以上の女性において「携帯電話・タブレット」が最も高くなっているのに対し、40 歳代以下の女性においては「SNS・チャットボット・アプリ」が最も高くなっています（同率を含む）。

健康増進への効果（性別年齢層別）

【男性】	総数	20 歳未満	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳～65 歳未満	65 歳～70 歳未満	70 歳～75 歳未満	75 歳以上
総回答数	122	10	11	8	20	25	16	11	13	8
オンライン診断	13.1%	20.0%	0.0%	12.5%	10.0%	16.0%	6.3%	27.3%	7.7%	25.0%
SNS・チャットボット・アプリ	23.8%	20.0%	36.4%	25.0%	30.0%	36.0%	6.3%	0.0%	30.8%	12.5%
携帯電話・タブレット	53.3%	30.0%	63.6%	50.0%	50.0%	56.0%	68.8%	45.5%	61.5%	37.5%
ウェアラブル端末	4.1%	0.0%	9.1%	0.0%	5.0%	8.0%	0.0%	0.0%	0.0%	12.5%
その他	2.5%	0.0%	0.0%	0.0%	5.0%	4.0%	0.0%	0.0%	0.0%	12.5%
いずれも効果を感じたことがない	11.5%	30.0%	18.2%	25.0%	15.0%	8.0%	6.3%	0.0%	0.0%	12.5%
無回答	9.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	8.0%	12.5%	36.4%	15.4%	12.5%

【女性】	総数	20 歳未満	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳～65 歳未満	65 歳～70 歳未満	70 歳～75 歳未満	75 歳以上
総回答数	196	8	24	36	33	35	19	13	21	6
オンライン診断	14.3%	25.0%	20.8%	27.8%	15.2%	8.6%	10.5%	0.0%	0.0%	16.7%
SNS・チャットボット・アプリ	28.6%	37.5%	54.2%	36.1%	36.4%	34.3%	5.3%	7.7%	4.8%	0.0%
携帯電話・タブレット	37.8%	12.5%	16.7%	27.8%	36.4%	37.1%	68.4%	46.2%	52.4%	50.0%
ウェアラブル端末	4.6%	0.0%	4.2%	8.3%	3.0%	8.6%	5.3%	0.0%	0.0%	0.0%
その他	1.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	5.3%	0.0%	4.8%	0.0%
いずれも効果を感じたことがない	16.8%	25.0%	16.7%	19.4%	15.2%	17.1%	10.5%	23.1%	14.3%	16.7%
無回答	7.7%	12.5%	4.2%	0.0%	0.0%	8.6%	0.0%	23.1%	23.8%	33.3%